

# Endeavor

MR3100

ユーザーズマニュアル

Windows Vista

ご使用  
の前に

設置  
・  
準備

1

基本  
操作

2

装置の  
増設

3

BIOS  
設定

4

再  
インス  
トール

5

困った  
ときに

6

付録


### ご使用前に


- ご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。

## 安全にお使いいただくために


このマニュアルおよび製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
--	-------------------------------------











障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を必ず接地（アース）して使用することを示しています。

## ⚠ 警告

 	<p>煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。</p> <p>すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。</p> <p>お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。</p>
 	<p>マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。 けがや感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>交流100V以外では使用しないでください。 指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。</p>
 	<p>通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。</p>
 	<p>異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。</p> <p>すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。</p>
 	<p>破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。 電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードを加工しない。</li> <li>・無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。</li> <li>・電源コードの上に重いものを載せない。</li> <li>・発熱器具の近くに配線しない。</li> </ul> <p>電源コードが破損したら、カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。 カスタマーサービスセンターへの連絡方法は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。</p>
 	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱し、火災の原因となります。</p> <p>家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。</p>







## 警告

	<p>電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 取り扱いを誤ると、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。</li><li>・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。</li><li>・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。</li></ul> <p>電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。</p>
 	<p>電源プラグをコンセントに差したまま本体カバーを外して作業をしないでください。 感電・火傷の原因となります。</p>
 	<p>小さなお子様手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。 飲み込むと化学物質による被害の原因となります。 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。</p>
 	<p>雷が鳴りだしたら、電源プラグをさわらないでください。 感電の原因となります。</p>
	<p>電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。 接地しないで使用すると、感電の危険性があります。 アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。</p>
	<p>アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。 火災の原因となります。</p>
	<p>アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。 感電の危険があります。</p>

## ⚠ 注意

 	小さなお子様の手の届くところには設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
 	不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
 	湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。
 	本機の通風孔をふさがしないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 設置する際は、次の点を守ってください。 <ul style="list-style-type: none"><li>・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。</li><li>・じゅうたんや布団の上などに設置しない。</li><li>・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。</li></ul>
	連休や旅行などで長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 	各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。 配線を誤ると、火災の危険があります。
 	拡張ボードやメモリの交換・増設などは本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、本機の内部が十分冷めてから行ってください。
	本機を移動させる場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
 	ヘッドフォンやスピーカは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。 ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。
 	長時間あるいは不自然な姿勢でのコンピュータ操作は避けてください。 肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。
 	光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れ、挟まれないようにしてください。 けがの原因になります。

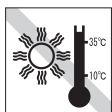
## 注意

 	光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。内部で飛び散って、故障したり、メディア取り出し時にけがをしたりする危険があります。
 	マウス底面にある光学式センサーの光を直接見つめないでください。強い光により、視覚障害の原因となります。
 	本機を廃棄する場合は、法律に従って正しい処理をしてください。

# 製品保護上の注意

## ▶使用・保管時の注意

本機（コンピュータ）は精密な機械です。故障や誤動作の原因となりますので、次の注意事項を必ず守って、本機を正しく取り扱ってください。



温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。また、急激な温度変化も避けてください。故障、誤動作の原因になります。適切な温度の目安は10℃～35℃です。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。本機の誤動作が生じたり、データが破損することがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。故障、誤動作の原因になります。また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。電源コードが抜けると、それまでの作業データがメモリ上から消えてしまいます。



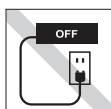
本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。汚れは、中性洗剤をしたたらない程度に染み込ませた柔らかい布で軽く拭き取ってください。



本機の上には重い物を載せないでください。重圧により、故障や誤動作の原因となることがあります。



遠隔地に輸送するときや保管するときには、裸のままで行わないでください。衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



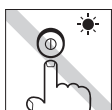
コンセントに電源プラグを接続したまま、本体カバーを外して作業しないでください。電源を切っても、本機内部に微少な電流が流れているため、ショートして故障の原因となります。



輸送や保管をするときは、付属物をセットしたままにしないでください。配線ケーブルはすべて取り外し、光ディスクメディアなどは取り出してください。



移動するときは、振動や衝撃を与えないようにしてください。内蔵の周辺機器（HDD、光ディスクドライブなど）も含めて、故障、誤動作の原因となります。



アクセスランプ点灯中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因になります。

## ▶記録メディア

以下のような取り扱いをすると、次の記録メディアに登録されたデータが破損するおそれがあります。記録メディアの種類は、次のとおりです。

**FD** FD

**CD** 光ディスクメディア

**MC** メモリカード

記録メディアの種類を指定していない場合は、すべての記録メディアに該当します。



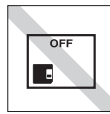
直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



アクセスランプ点滅中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



上に物を載せないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。



キズを付けないでください。



ゴミやホコリの多いところでは、使用したり保管したりしないでください。



クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



アクセスカバーを開けたり、磁性面あるいは金属端子に触れたりしないでください。

**FD MC**



磁性面あるいは金属端子にホコリや水を付けないでください。シンナーやアルコールなどの溶剤類を近づけないでください。

**FD MC**



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。

**FD MC**



何度も読み書きしたFDは使わないでください。磨耗したFDを使うと、読み書きでエラーが生じることがあります。

**FD**



信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。

**CD**





レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。

**CD**



レコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

**CD**



光ディスクドライブのデータ読み取りレンズをクリーニングするCDは使わないでください。

**CD**



シールを貼らないでください。

**CD**



信号面（文字などが印刷されていない面）に文字などを書き込まないでください。

**CD**



温度差の激しい場所に置かないでください。結露する可能性があります。

**CD**

## ▶マウス

マウスは精密な機械です。次の点に注意して操作してください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



持ち運びの際は、マウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



レンズ部分に触れないでください。

# 目次

製品保護上の注意 .....	7
使用・保管時の注意 .....	7
記録メディア .....	8
マウス .....	9

## はじめに

マニュアル中の表記について .....	14
本製品の仕様とカスタマイズについて .....	18

## 使い始めるまでの準備

ご使用の前に .....	20
コンピュータを使い始めるまでの手順 ...	20
ご使用前の確認事項 .....	21
本機の特長 .....	22
添付されているソフトウェア .....	23
各部の名称と働き .....	25
本体前面 .....	25
フロントドア内部 .....	26
本体背面 .....	27
コンピュータの設置 .....	29
電源の入れ方とWindowsのセットアップ .....	39
Windowsが使用できるようになるまでの作業 ...	39
電源を入れる前に .....	40
電源の入れ方とWindowsの起動 .....	41
Windowsのセットアップ .....	42
セットアップ終了後の作業 .....	45
Windows使用時の確認事項 .....	47
インフォメーションメニューを使う ....	47
Windowsの修復 .....	49
復元ポイントを作成する .....	49
セキュリティ対策を行う .....	49
音量の調節 .....	49
画面が消えたときは（省電力機能） .....	50
フォルダメニューの表示 .....	50
ユーザーアカウントを作る .....	51
ユーザーアカウント制御画面 .....	52
本機の終了方法 .....	53
通常の終了（スリープ） .....	53
電源を切る（シャットダウン） .....	54
再起動 .....	55
ハングアップしたときは .....	56

## コンピュータの基本操作

キーボードを使う .....	58
キーの種類と役割 .....	58
文字を入力するには .....	59
日本語を入力するには .....	59
キーロック表示ランプ .....	60
Fnキーと組み合わせて使うキー .....	60
ホットキーを使用する .....	61
Windowsキーとアプリケーションキー ...	62
マウスを使う .....	63
マウスの操作 .....	63
マウスの設定変更 .....	64
HDDを使う .....	65
データのバックアップ .....	65
購入時のHDD領域について .....	66
HDDを分割して使用する .....	67
HDDのフォーマット .....	67
RAID機能 .....	68
RAIDの構成・削除 .....	71
HDDが破損したら（RAID使用時） .....	74
光ディスク（CD/DVD）ドライブを使う .....	77
使用可能な光ディスクメディア .....	77
光ディスクメディアのセットと取り出し ...	78
CDメディアの読み込み・再生 .....	80
DVDメディアの読み込み・再生 .....	81
光ディスクメディアへの書き込み .....	82
Nero 7 Essentialsの使い方 .....	83
マルチカードリーダを使う .....	85
使用可能なメモリカード .....	85
マルチカードリーダ使用時の注意 .....	87
メモリカードのセットと取り出し .....	88
USB機器を使う .....	91
USB機器の接続と取り外し .....	91
画面表示機能を使う .....	93
表示できる解像度と表示色 .....	93
表示装置に関する設定 .....	95
サウンド機能を使う .....	96
外部オーディオ機器などの接続 .....	96
音量の調節 .....	98
音声の再生・録音 .....	98
ネットワーク機能を使う .....	99
ネットワークの構築 .....	99
インターネットへの接続 .....	99
主な機能について .....	100
ネットワークボードを使用する .....	100

インターネットに接続するには .....	101
接続するまでの流れ .....	101
接続方法の選択とプロバイダとの契約 ...	101
インターネットに接続する .....	102
インターネットを使う上での注意 .....	103
インターネットや電子メールを利用する ...	103
インターネットを使用する際のセキュリティ対策 ...	106
Windows Update .....	106
セキュリティソフトウェア .....	108
ファイアウォール .....	109
Windows Defender .....	110
フィッシング詐欺検出機能 .....	111
電源設定を行う（省電力機能を使う） .....	112
電源プランの設定 .....	112
本機を省電力状態にする .....	113
省電力状態に移行する方法 .....	116
そのほかの機能 .....	119
パラレルコネクタ .....	119
IEEE1394コネクタ .....	119
ハイパー・スレディング機能 .....	119
スピードステップ機能 .....	120
セキュリティロックスロット .....	120

## システムの拡張

拡張できる装置 .....	122
作業時の注意 .....	123
拡張時の準備作業 .....	124
本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け ...	124
メモリの増設 .....	128
メモリの仕様 .....	128
メモリ装着の組み合わせと順番 .....	129
メモリの取り付け・取り外し .....	129
メモリの増設・交換後の作業 .....	134
拡張ボードの装着 .....	135
拡張スロットの仕様 .....	135
拡張ボードの取り付け・取り外し .....	136
拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業 ...	138
ドライブ装置の接続 .....	139
ドライブ装置の接続例 .....	139
光ディスクドライブの接続 .....	140
HDDの接続 .....	141
ドライブベイへの装着 .....	142
光ディスクドライブの交換 .....	142
光ディスクドライブ交換後の作業 .....	145
HDDの取り付け・取り外し .....	146

HDDの取り付け・取り外し後の作業 ....	150
------------------------	-----

## BIOSの設定

BIOSの設定を始める前に .....	152
BIOS Setupユーティリティの操作 .....	153
起動方法 .....	153
操作方法 .....	154
設定値をもとに戻すには .....	157
Passwordの設定 .....	158
終了方法 .....	161
BIOS Setupユーティリティの設定項目 .....	162
Mainメニュー画面 .....	162
Advancedメニュー画面 .....	164
Power メニュー画面 .....	166
Bootメニュー画面 .....	168
Exitメニュー画面 .....	170
BIOSの設定値 .....	170

## ソフトウェアの再インストール

再インストールする前に必ずお読みください ....	174
再インストールが必要な場合 .....	174
重要事項 .....	174
ソフトウェアの再インストールを行う .....	176
必要なメディア .....	176
インストールの順番 .....	176
インストール作業における確認事項 ....	177
Windowsのインストール .....	178
Windowsをインストールする .....	179
本体ドライバのインストール .....	182
各種ドライバのインストール .....	182
Adobe Readerのインストール .....	183
セキュリティソフトウェアのインストール ...	184
WinDVDのインストール .....	184
Nero 7 Essentialsのインストール ....	184
JWord Pluginのインストール .....	185
gooスティックのインストール .....	185
そのほかの作業 .....	186

## こんなときは

トラブルが発生したら .....	188
困ったときに .....	189
コンピュータが起動できない場合 .....	190
システム診断ツール .....	192

コンピュータ本体の不具合 (CPU、メインボード) .....	193
インストール時の不具合 .....	198
省電力機能に関する不具合 .....	199
キーボードの不具合 .....	200
マウスの不具合 .....	201
ディスプレイ機能の不具合 .....	201
HDDの不具合 .....	203
光ディスクドライブの不具合 .....	205
ネットワークの不具合 .....	208
ソフトウェアの不具合 .....	208
メモリの不具合 .....	211
マルチカードリーダーの不具合 .....	212
拡張ボード、周辺機器の増設に関する不具合 ...	212
スピーカ (サウンド) の不具合 .....	213
セキュリティチップ (TPM) の セキュリティ機能の不具合 .....	213
トラブル時に役立つ機能 .....	214
セーフモードでの起動 .....	214
システムの復元 .....	214
Windows回復環境 (Windows RE) を使う ..	216
警告メッセージが表示されたら .....	219

## 付録

お手入れ .....	222
本機のお手入れ .....	222
データのバックアップ .....	223
バックアップ方法 .....	223
電子マニュアルのダウンロード .....	224
ダウンロードできるそのほかのデータ ...	224
セキュリティチップ (TPM) によるデータの暗号化 ...	225
HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成 .....	226
HDD領域を分割して使用する (概要) ...	226
Cドライブを分割・変更する .....	227
Cドライブ以外のドライブを作成・変更する ...	230
Cドライブ以外のドライブを削除する ...	233
リチウム電池の交換 .....	234
CMOS RAMの初期化 .....	237
コンピュータ内部のケーブル接続 .....	239
コンピュータを廃棄するときは .....	240
HDDのデータを消去する .....	240
機能仕様一覧 .....	242
索引 .....	243

# はじめに

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項について説明します。

「マニュアル中の表記について」 .....	14
「本製品の仕様とカスタマイズについて」 .....	18

# マニュアル中の表記について

本書では次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 一般情報に関する記号



制限事項です。  
機能または操作上の制限事項を記載しています。



参考事項です。  
覚えておくと便利なことを記載しています。



本書とは別のマニュアルを示します。  
例) 『梱包品の確認』: 本機に添付の『梱包品の確認』を示します。




参照先を示します。



**1 2**



操作手順です。  
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。



 で困んだマークはキーボード上のキーを表します。



 はEnterキーを表します。また、 は $N_{み}$ のことで、このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。

＋の前のキーを押したまま＋の後のキーを押します。  
この例では、 を押したまま  を押します。

## 名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

HDD	ハードディスクドライブ
FD	フロッピーディスク
FDD	フロッピーディスクドライブ
光ディスクメディア	CDメディア、DVDメディア、Blue-ray Discメディアなど
光ディスクドライブ	光ディスクメディアを使用するためのドライブの総称
メモリカード	メモリスティック、マルチメディアカード、 SDメモリカード、スマートメディア、 コンパクトフラッシュの総称

## オペレーティングシステム（OS）に関する記述

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

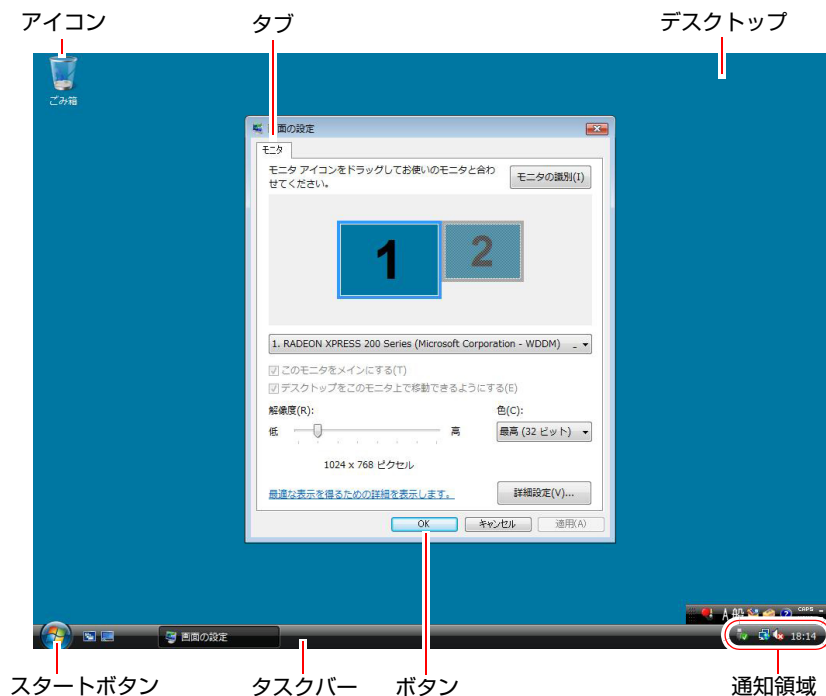
Windows Vista	Windows Vista™ Ultimate
	Windows Vista™ Business
	Windows Vista™ Home Premium
	Windows Vista™ Home Basic

## HDD 容量の記述

本書では、HDD 容量を1KByte=1000Byte として記載しています。

## Windows Vistaの画面表示に関する記載方法

本書では、Windows Vistaの画面に表示される各箇所を次のように記載します。



### ボタンの記載方法

ボタンは [ ] で囲んで記載します。

例)  : [OK]

### スタートメニューの記載方法

スタートメニューのボタン類は、次のように記載します。





## Windows Vistaの画面操作に関する記載方法

本書では、Windows Vistaの画面上で行う操作手順を次のように記載します。

- 記載例

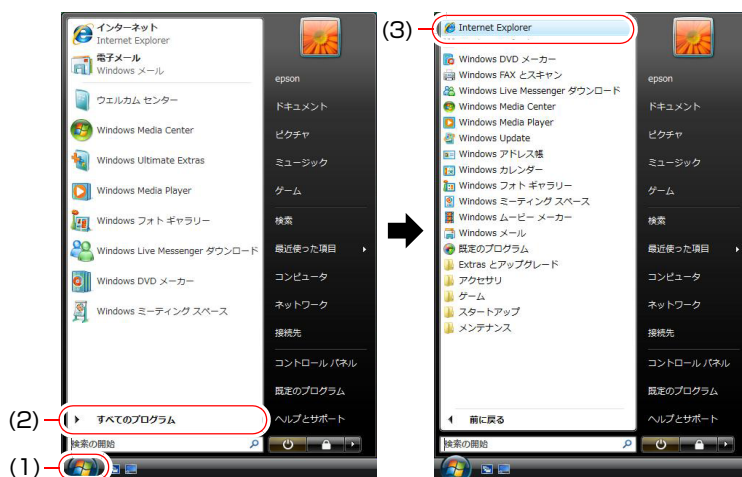
[スタート] – [すべてのプログラム] – [Internet Explorer] をクリックします。

- 実際の操作

(1) [スタート] をクリックします。

(2) 表示されたメニューから [すべてのプログラム] をクリックします。

(3) 表示されたメニューから [Internet Explorer] をクリックします。



※表示される項目は、システム構成によって異なります。

# 本製品の仕様とカスタマイズについて

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。CPUの種類・メモリ容量・ビデオボード・光ディスクドライブなど、選択された仕様にあわせて、お客様 オリジナルのコンピュータとして組み立て、納品されています。

## 本書で記載しているコンピュータの製品仕様

本書では特に記載がない限り、下記の製品仕様で説明を行っています。お客様が購入された製品の仕様が下記と異なる場合、それらの使用方法やドライバのインストール方法などは、購入時に選択された各装置に添付のマニュアルを参照してください。

メモリ	: 1セット (2枚)
HDD	: 1台
マルチカードリーダー	: 1台
光ディスクドライブ	: 1台
ディスプレイ機能	: メインボードの機能を使用
ネットワーク機能	: メインボードの機能を使用
サウンド機能	: メインボードの機能を使用
Faxモデム機能	: なし
キーボード	: 106 PS/2コンパクトキーボード (ホットキー付)
マウス	: ホイール付USBオプティカルマウス

## 仕様によって必要なマニュアルについて

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、ユーザーズマニュアル（本書）とは別に添付されている場合があります。お使いになる仕様によって、必要なマニュアルは下記のとおり、別冊や電子マニュアルなどの形式で添付されています。ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- CD-ROMなどに登録されている電子マニュアル（PDFファイルなど）
- コンピュータに登録されている電子マニュアル（「マニュアルびゅーわ」から閲覧）

# 第1章 使い始めるまでの準備

本機の接続方法、電源の入れ方や切り方、Windowsのセットアップについて説明します。

「ご使用前に」 .....	20
「各部の名称と働き」 .....	25
「コンピュータの設置」 .....	29
「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」 .....	39
「Windows使用時の確認事項」 .....	47
「本機の終了方法」 .....	53


# ご使用前に

## ▶コンピュータを使い始めるまでの手順

購入後にはじめて本機を使用する場合は、次の手順で作業を行ってください。

### 梱包品の確認

まず、梱包品に不足や不良がないかを確認します。


 『梱包品の確認』




### 安全にお使いいただくために・製品保護上の注意

本機を正しく安全にお使いいただくための情報を確認します。

必ずお読みください。


 p.2 「安全にお使いいただくために」

 p.7 「製品保護上の注意」



### マニュアル中の表記について


本書で使用している記号や用語の表記方法について確認します。

 p.14 「マニュアル中の表記について」



### 本製品の仕様とカスタマイズについて


本機の仕様とカスタマイズについて確認します。

 p.18 「本製品の仕様とカスタマイズについて」



### ご使用前に


本機を使用する前に必要な情報を確認します。

 p.20 「ご使用前に」



### 各部の名称と働き


各部の名称と働きを確認します。

 p.25 「各部の名称と働き」



### コンピュータの設置


各機器の接続を行い、本機を使用可能な状態にします。

 p.29 「コンピュータの設置」



### 電源の入れ方とWindowsのセットアップ

電源を入れ、Windowsをはじめて起動したときに実行されるWindowsのセットアップを行います。

 p.39 「電源の入れ方とWindowsのセットアップ」

## ▶ご使用前の確認事項

### 貼付ラベルの確認

本機には、製品情報が記載された次のラベルが貼られています。本機をご使用前の前に、ラベルが貼られていることを確認してください。ラベルは絶対にはがさないでください。

- お問い合わせ情報シール

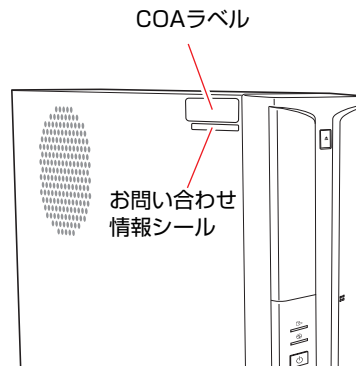
お問い合わせ情報シールには、型番や製造番号が記載されています。当社にサポート・サービスに関するお問い合わせをいただく際には、これらの番号が必要です。

お問い合わせ情報シールに記載されている製造番号は、『サポート・サービスのご案内』の表紙に書き写しておいてください。

- COAラベル

COAラベル（Windows Certificate of Authenticityラベル）は、正規のWindows商品を購入されたことを証明するラベルです。

万一、COAラベルを紛失された場合、再発行はできません。



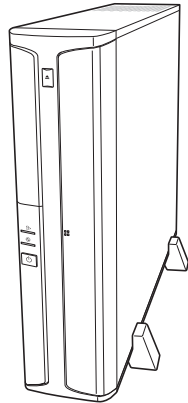
### サポート・サービスのご案内

別冊子『サポート・サービスのご案内』には、当社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。

困ったときや、万一の場合に備えてお読みいただくことをおすすめします。

## ▶本機の特長

本機の特長は、次のとおりです。



- CPU

インテルCore 2 Duo、Pentium Dual Core、Pentium D、Pentium 4、Celeron、Celeron Dのいずれかのプロセッサを搭載しています。

Core 2 Duo、Pentium Dual Core、Pentium Dはデュアルコアプロセッサです。2つのコアを持っているため、異なる2つの命令を同時に実行することができます。

- チップセット

Intel G965 Express + ICH8Rチップセットを搭載しています。

- メモリ容量

PC2-5300 (DDR2-667 SDRAM) を使用して、最大3GBまで増設が可能です。

- ドライブベイ

次のドライブベイを装備しています。

- 5.25型ドライブベイ×1
- HDDベイ×2

- 拡張スロット

次の拡張スロットを装備しています。

- PCI Express x16 スロット×1本、PCI Express x4スロット×1本
- PCI スロット×2本

- オペレーティングシステム

Windows Vistaをインストール済みです。

- サウンド機能

インテル ハイ・デフィニション・オーディオのサウンド機能をメインボード上に搭載しています。

- ネットワーク機能

- 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T対応のLANコネクタを装備しています。



- そのほか

- マルチカードリーダーを搭載しています。
- データの暗号化ができるセキュリティチップ (TPM) を搭載しています。

## ▶ 添付されているソフトウェア


本機に添付されているソフトウェアは、次のとおりです。購入時に選択された仕様によっては、この他にも添付されているソフトウェアがあります。

### 表中記号の見方

	購入時には、HDDにインストールされています。
	購入時には、HDDにインストールされていません。Windowsのセットアップ後に必要に応じてインストールしてください。









### Windows VistaリカバリDVDに登録されているソフトウェア






Windows VistaリカバリDVDは、Windowsの再インストール時に使用します。

Windows VistaリカバリDVDに登録されているソフトウェア	購入時の状態
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Windows Vista 本機のおペレーティングシステム (OS) です。</li> </ul>	

### ドライバCDに登録されているソフトウェア



ドライバCDは、本体ドライバやソフトウェアの再インストール時に使用します。

ドライバCDに登録されているソフトウェア	購入時の状態
<ul style="list-style-type: none"> <li>● インテル G965 Expressチップセット用ドライバ メインボード上のデバイスを使用するためのドライバです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Intel Matrix Storage Manager Windows上でRAIDの状態を確認するためのユーティリティです。RAID構成時にのみインストールされます。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビデオドライバ メインボード上のディスプレイ機能を使用するためのドライバです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● サウンドドライバ メインボード上のサウンド機能を使用するためのドライバです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティチップユーティリティ セキュリティチップのセキュリティ機能を使用するためのユーティリティです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Norton Internet Security 90日版 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能、スパムメール (迷惑メール) 防止機能などを備えたセキュリティソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● インフォメーションメニュー 「マニュアルびゅーわ」や「とらぶる解決ナビ」などのマニュアル・サポートツールの一覧を表示するユーティリティです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マニュアルびゅーわ 本機に添付されているマニュアルやお知らせを見るためのソフトウェアです。</li> </ul>	

ドライバCDに登録されているソフトウェア	購入時の状態
<ul style="list-style-type: none"> <li>● システム診断ツール コンピュータの調子が悪いときに、CDから起動してシステム診断を行うためのツールです。HDDのデータを消去することもできます。</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>● キーボードユーティリティ 106PS/2コンパクトキーボードのホットキーを使用するためのユーティリティです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Java2 Runtime Environment Javaアプリケーションを実行するためのプログラムです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● JWord Plugin Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索できるソフトウェアです。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● gooスティック Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するソフトウェアです。</li> </ul>	

### その他の添付CDに登録されているソフトウェア

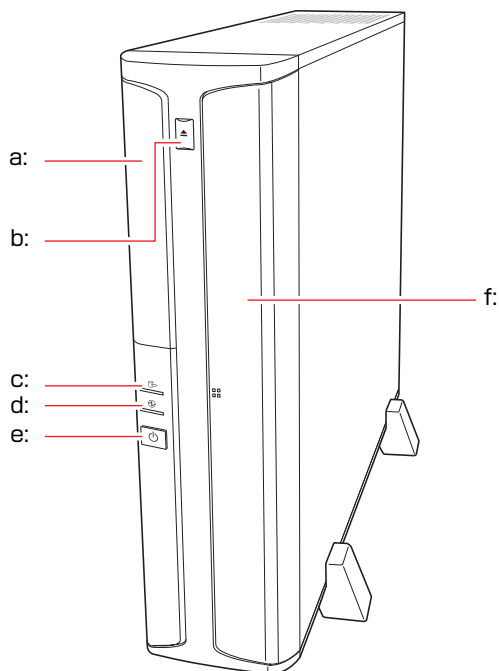
その他の添付CDは、各種ソフトウェアの再インストール時に使用します。購入時に選択された仕様によっては、この他にも添付されているCDがあります。

その他の添付CDに登録されているソフトウェア	購入時の状態
<ul style="list-style-type: none"> <li>● WinDVD DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。 CD名：「WinDVD CD-ROM」</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● Nero 7 Essentials (書き込み機能のある光ディスクドライブ選択時のみ) 光ディスクドライブの書き込み機能を使用するためのソフトウェアです。光ディスクメディアにデータ、音楽、画像などを書き込むことができます。 CD名：「Nero 7 Essentials CD-ROM」</li> </ul>	



# 各部の名称と働き

## ▶ 本体前面



### a: 光ディスクドライブ

光ディスクメディアの読み込み、書き込みを行います（お使いの光ディスクドライブにより使用できるメディア、機能は異なります）。

### b: 光ディスクドライブイジェクトボタン ▲

ディスクトレイの開閉を行います。

### c: アクセスランプ

HDD、光ディスクメディアへのアクセス中に点灯・点滅します。

### d: 電源ランプ①


電源を入れると点灯します。スリープ状態では点滅します。

### e: 電源スイッチ

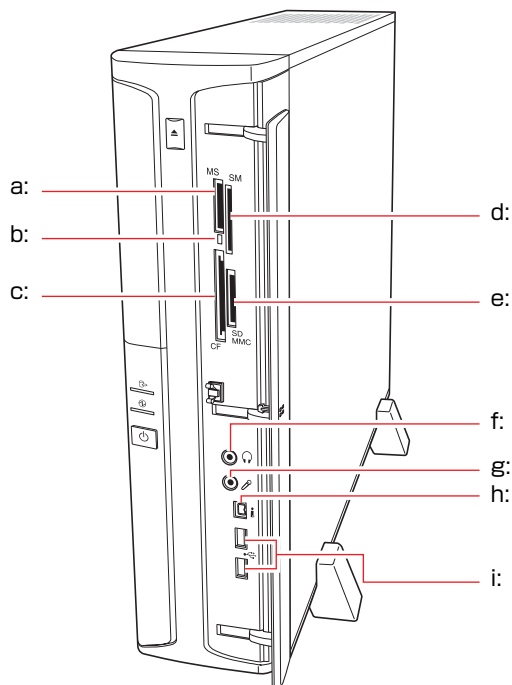
本機の電源を入れたり、本機を終了（シャットダウン）したりします。スリープ状態や休止状態からの復帰にも使用します。

### f: フロントドア

ドアの中央部を押すと、開きます。中にはマルチカードリーダーなどが装備されています。





 p.26 「フロントドア内部」

## ▶フロントドア内部

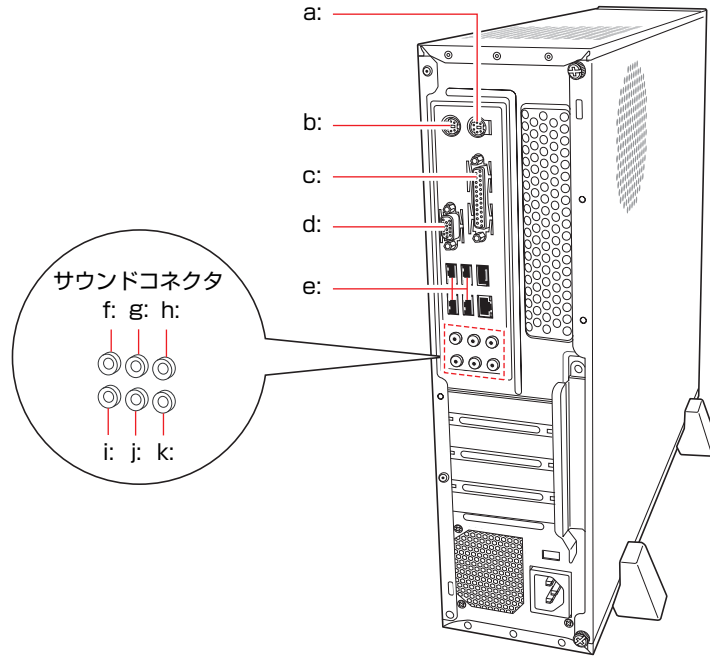



### マルチカードリーダー (a:~e:)


- a: メモリスティックスロット MS  
メモリスティックをセットします。
- b: マルチカードリーダーアクセスランプ  
ランプの点灯・点滅で、状態を表示します。  
点灯：メモ리카ードセット時  
点滅：メモ리카ードアクセス時
- c: コンパクトフラッシュスロット CF  
コンパクトフラッシュをセットします。
- d: スマートメディアスロット SM  
スマートメディアをセットします。

- e: SDカードスロット <sup>SD</sup>/<sub>MMC</sub>  
SDメモリーカード、またはマルチメディアカードをセットします。
- f: ヘッドフォン出力コネクタ   
ヘッドフォンやスピーカーと接続して音声を出力します。
- g: マイク入力コネクタ   
マイクを接続して音声を入力します。
- h: IEEE1394コネクタ   
IEEE1394対応の周辺機器を接続します。(4ピン)
- i: USB2.0コネクタ   
USB2.0対応の周辺機器を接続します。


## ▶ 本体背面

a: マウスコネクタ (PS/2) 


PS/2対応のマウスを接続します。

b: キーボードコネクタ (PS/2) 


キーボードを接続します。

c: パラレルコネクタ 


プリンタや、スキャナなどパラレルコネクタに対応した装置を接続します。

d: VGAコネクタ 


ディスプレイと、VGAケーブルで接続します。

e: USB2.0コネクタ 


USB2.0対応の周辺機器を接続します。

f: サイドスピーカ出力コネクタ 


サイドスピーカと接続して音声を出力します。

g: リアスピーカ出力コネクタ 


リアスピーカと接続して音声を出力します。

h: センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ 


センタースピーカ、サブウーファと接続して音声を出力します。

i: マイク入力コネクタ 

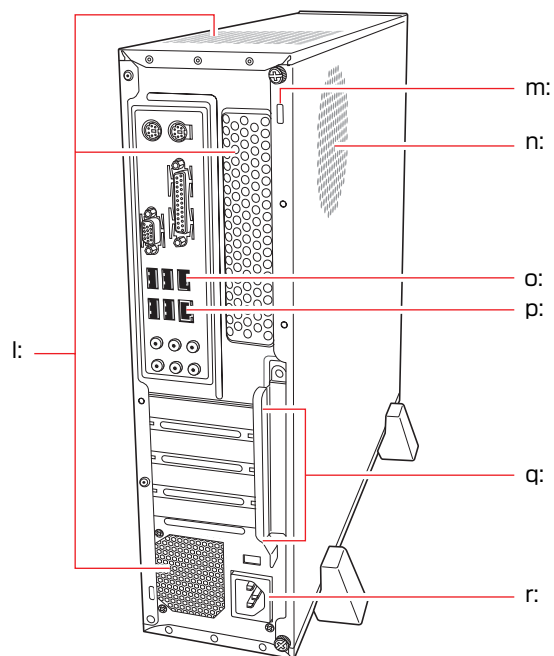
マイクと接続して音声を入力します。

j: フロントスピーカ/ライン出力コネクタ 

フロントスピーカやヘッドフォンなどと接続して音声を出力します。通常、スピーカはこのコネクタに接続します。

k: ライン入力コネクタ 

オーディオ機器と接続して音声を入力します。



**l: 通風孔**

本機内部で発生する熱を逃がします。

**m: セキュリティロックスロット**


市販の盗難抑止用ケーブル（ワイヤー）を取り付けます。

**n: 通風孔**

本機内部に外気を取り入れます。

**o: IEEE1394コネクタ 1394**

IEEE1394対応の周辺機器を接続します。（6ピン）

**p: LANコネクタ **

LANケーブルを接続します。

**q: 拡張スロット**

拡張ボードを装着します。購入時のシステム構成によっては、あらかじめ拡張ボードが装着されています。

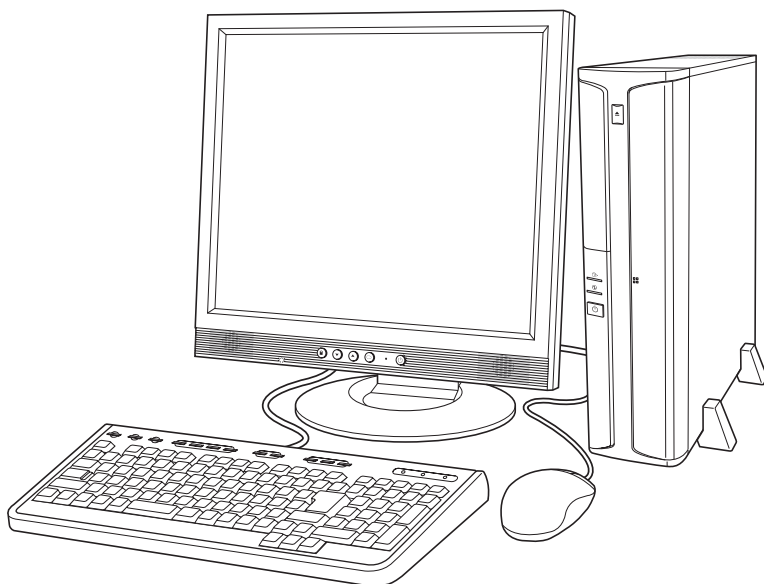
**r: 電源コネクタ**

添付の電源コードを接続して電気を供給します。

# コンピュータの設置

本機を安全な場所に設置し、キーボードやマウス、電源コードなどを接続して使用できる状態にする手順を説明します。

ここでの説明は標準的なシステム構成で行っています。プリンタなどの周辺機器は、Windowsのセットアップ終了後に、周辺機器に添付のマニュアルを参照して接続してください。



1

## 設置における注意



注意

- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。設置する際は、次の点を守ってください。
  - ・ 押し入れや本箱などの風通しの悪いところに設置しない。
  - ・ じゅうたんや布団の上に設置しない。
  - ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

故障や誤動作を防ぐため、p.7「製品保護上の注意」にある注意事項を守って設置場所を決めてください。

## 各種コード（ケーブル）接続時の注意



- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。家庭用電源コンセント（交流100V）から電源を直接取ってください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
  - ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。



- 各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしてしないでください。配線を誤ると、火災の危険があります。
- ヘッドフォンやスピーカーを使用するときは、ボリュームを最小にしてから接続し、接続後に音量を調節してください。ボリュームが大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

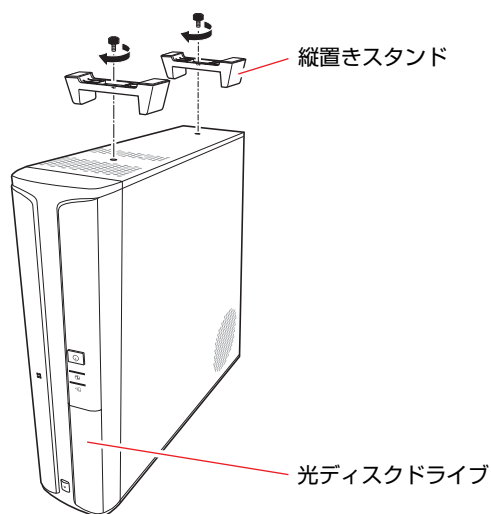
## 設置

- 1 設置場所に応じて、本機を縦置きまたは横置きのどちらにするか決め、設置準備を行います。

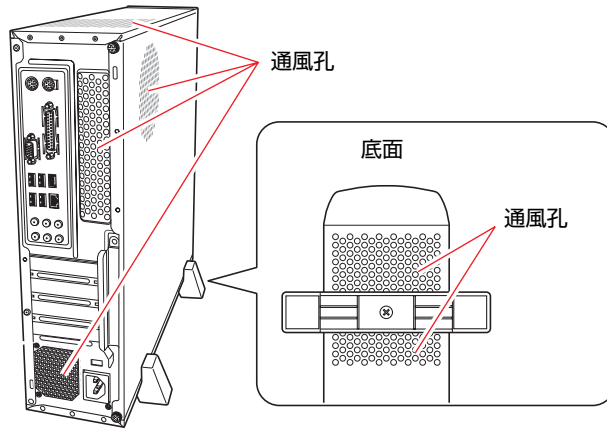
### 縦置きにする場合

転倒防止のため、必ず縦置きスタンドをセットしてください。

- (1) 光ディスクドライブ側を下にして置き、縦置きスタンド2個を添付のネジで留めます。

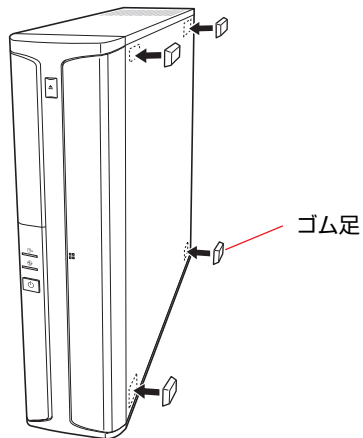


- (2) 縦置きスタンドを下にして置きます。設置した際に、通風孔をふさがないようにしてください。

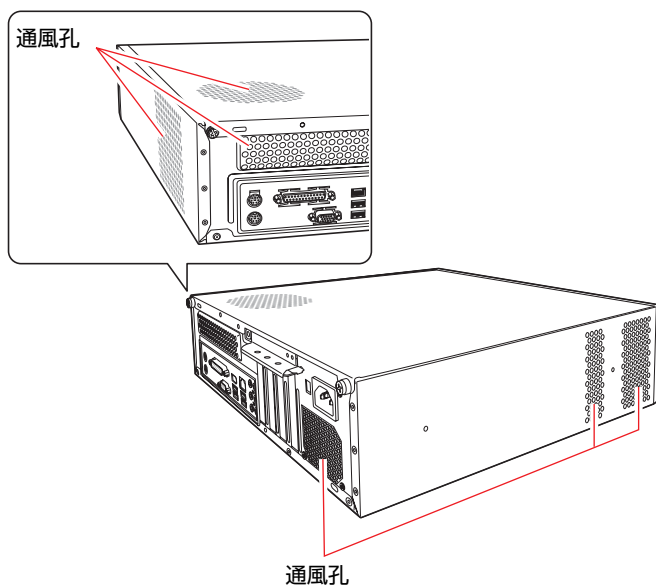


#### 横置きにする場合

- (1) 添付のゴム足（4個）を通風孔のない面の4隅に付けます。

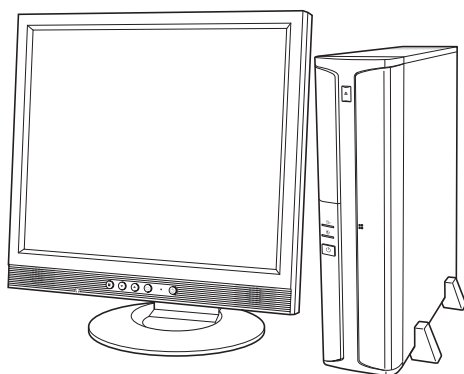


- (2) ゴム足を付けた面を底にして、横置きにします。設置した際に、通風孔をふさがないようにしてください。



本機の上に乗せられるディスプレイの重さは、18kg までです。  
18kg より重いディスプレイは載せないでください。

- 2** 本機とディスプレイを設置場所（丈夫で水平な台の上など）に置きます。



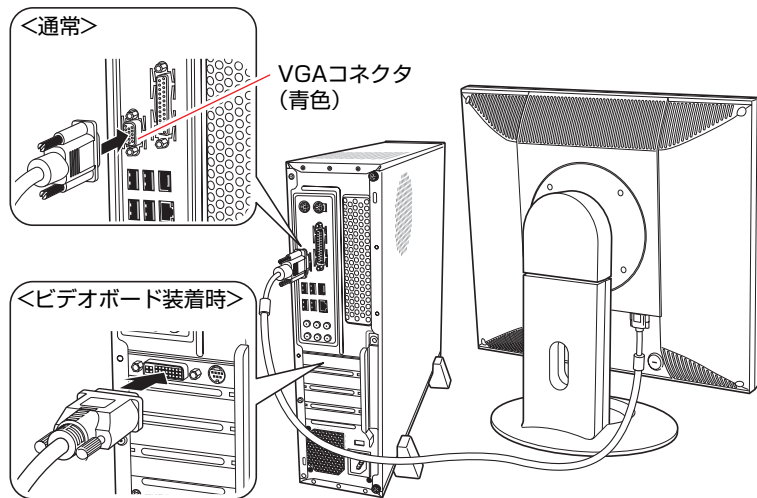


## ディスプレイの接続

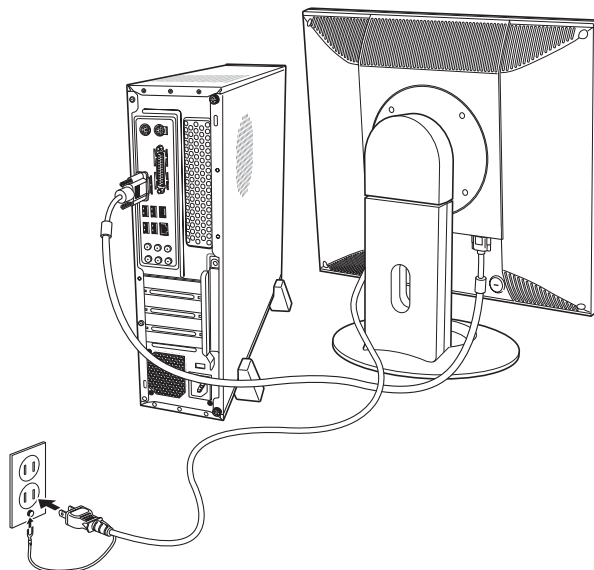
接続方法は、お使いになるディスプレイにより多少異なります。ディスプレイの取り扱い上の注意や詳しい使用方法は、お使いになるディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

### 3 ディ스플레이のVGAケーブルを、本機背面のVGAコネクタ（青色）に接続します。

ビデオボードを装着している場合は、ディスプレイのケーブルをビデオボードのコネクタに接続します。



### 4 ディ스플레이の電源コードを、家庭用電源コンセントに接続します。



## スピーカの接続

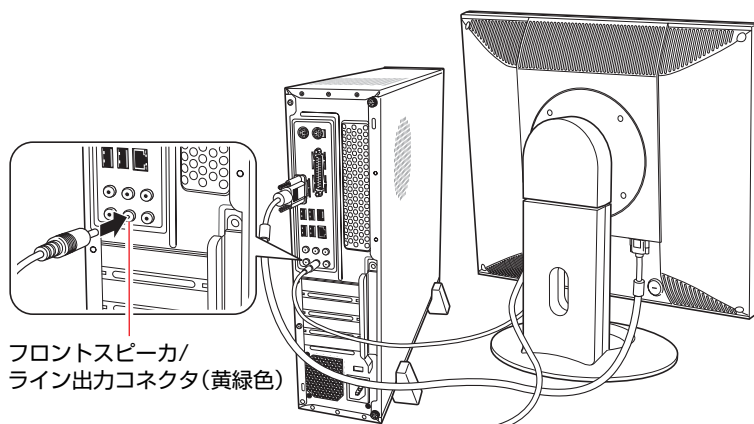
本機にはスピーカが内蔵されていません。音声を出力したい場合は、スピーカやスピーカが搭載されているディスプレイなどを接続してください。

ここでは一般的な接続方法を説明します。

詳しくはスピーカやディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

### 5 ディスプレイやスピーカのオーディオケーブルを本機背面のサウンドコネクタに接続します。

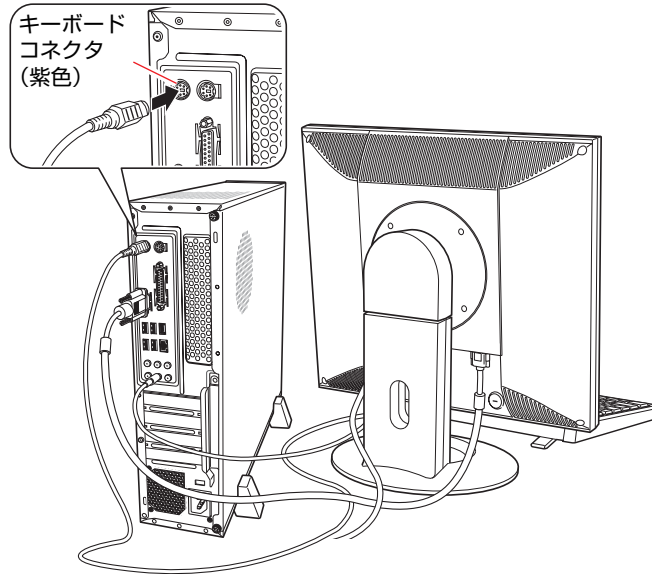
オーディオケーブルが1本の場合は、フロントスピーカ/ライン出力コネクタ(黄緑色)に接続します。スピーカにより、接続するケーブルの数は異なります。



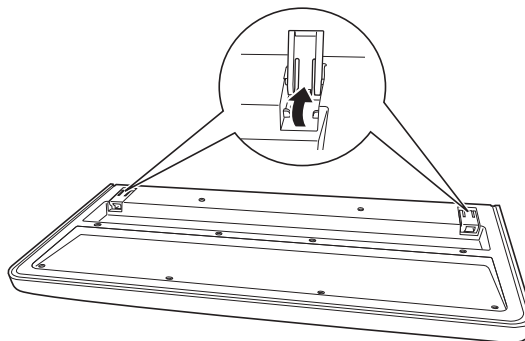
## キーボードの接続

- 6** キーボードケーブルのPS/2コネクタを本機背面のキーボードコネクタ（紫色）に差し込みます。

日本語対応106 PS/2コンパクトキーボード以外を選択された場合、接続方法はキーボードに添付のマニュアルをご覧ください。



キーボードは操作しやすい位置に置き、傾斜させるときは、両端の脚を起こします。




## マウスの接続

### 7 マウスケーブルのコネクタを本機背面のコネクタに接続します。

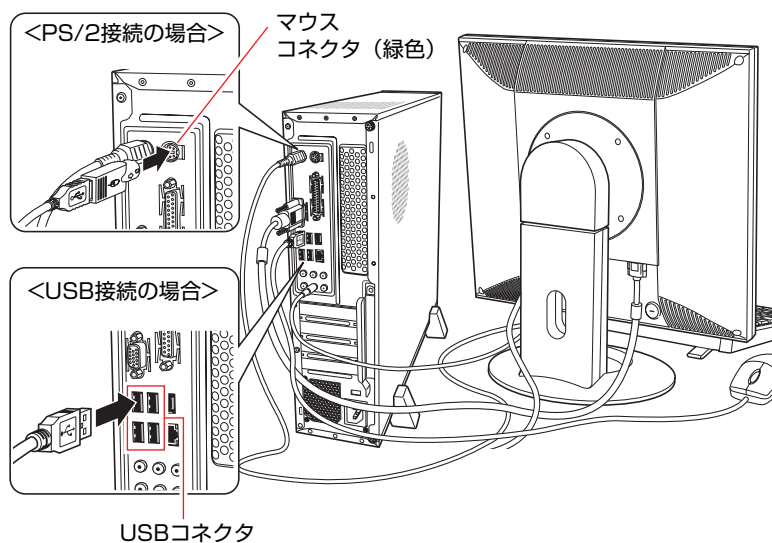
ホイール付USBオプティカルマウスは、USB接続またはPS/2接続（PS/2ポートアダプタ利用時）で使用できます。

マウスを左利き用で使用する場合は、Windowsのセットアップ終了後に設定してください。

 p.64 「マウスの設定変更」

#### <PS/2接続の場合>

PS/2接続で使用する場合は、マウスケーブルのコネクタにPS/2ポートアダプタを取り付けた状態で、マウスコネクタ（緑色）に接続します。

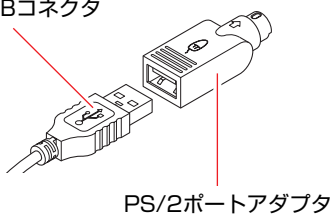


#### <USB接続の場合>

USB接続で使用する場合は、マウスケーブルのコネクタからPS/2ポートアダプタを取り外してください。

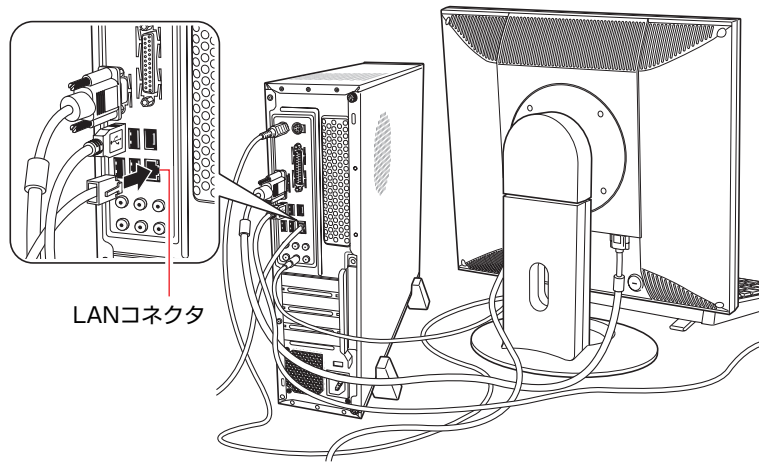
USBコネクタへの接続は、本機の電源が入っている状態でも行うことができます。

#### マウスのUSBコネクタ



## ネットワークへの接続

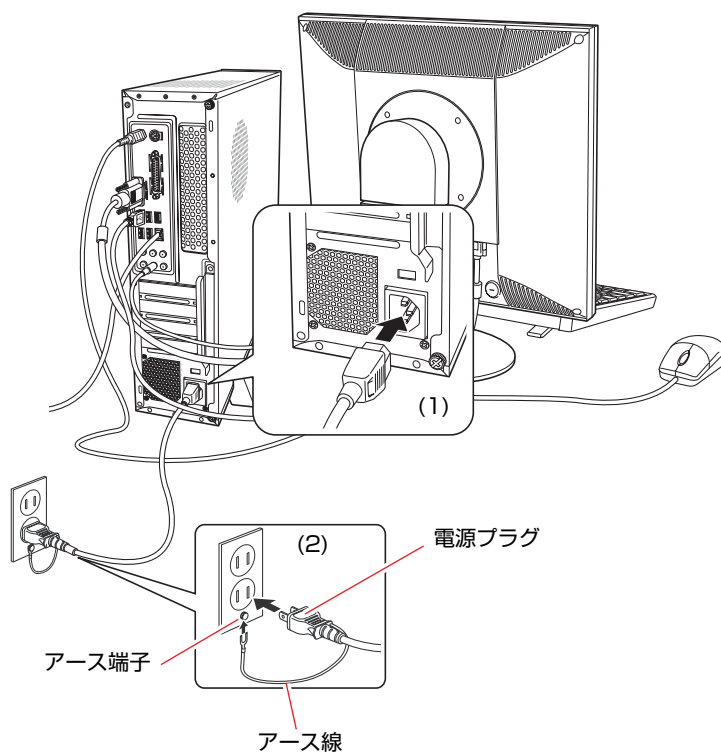
- 8** ネットワークに接続できる環境で、メインボード上のネットワーク機能を使用する場合は、市販のLANケーブルをLANコネクタに接続します。  
ネットワークボード使用時は、ネットワークボード上のLANコネクタに接続します。  
インターネットに接続する場合は、通信サービス会社やプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。



## 電源コードの接続

### 9 電源コードを接続します。

- (1) 電源コードを本機の電源コネクタに接続します。
- (2) 電源プラグを、家庭用電源コンセントに差し込みます。  
アース線は、必ずコンセントのアース端子に接続してください。



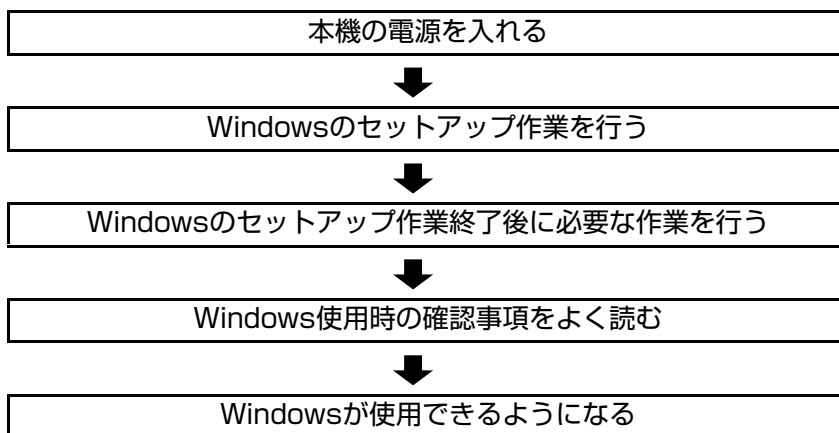
これでコンピュータの設置は終了です。  
続いてWindowsのセットアップを行います。

# 電源の入れ方とWindowsのセットアップ

ここでは、本機購入後にはじめて電源を入れてから、Windowsを使用できる状態にするまでの作業について説明します。

## ▶Windowsが使用できるようになるまでの作業

作業の流れは、次のとおりです。詳細は、p.40 「電源を入れる前に」以降の手順に従って作業を行ってください。



## ▶電源を入れる前に

### Windowsのセットアップ

「Windowsのセットアップ」は、本機に初めて電源を入れたときにユーザー情報などを設定するプログラムです。画面に表示されるメッセージに従って、セットアップを簡単に行うことができます。

### マウスの使い方

Windowsのセットアップは、マウスを使用して行います。セットアップに必要なマウスの基本操作は、次のとおりです。

- マウスポインタを動かす

マウスを前後左右に動かすと、Windows画面に表示されているマウスポインタがマウスを動かした方向に動きます。



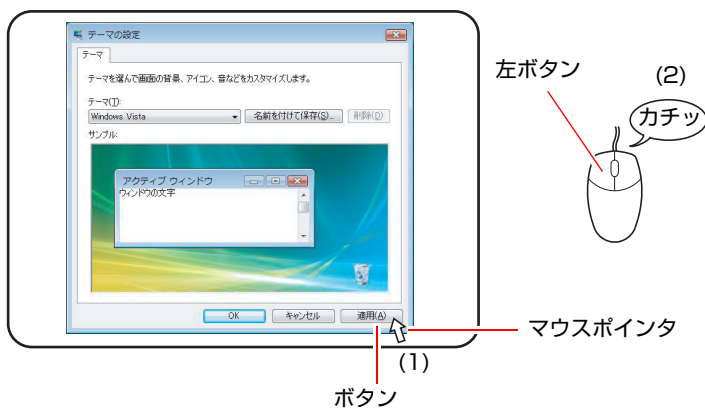
- ボタンをクリックする

(1) マウスを動かして、マウスポインタを画面のボタンの上に重ねます。

(2) マウスの左ボタンを、1回「カチッ」と押して離します。

この動作を「クリック」と言います。



ボタンをクリックすると、ボタンに表示されている操作が実行されます。

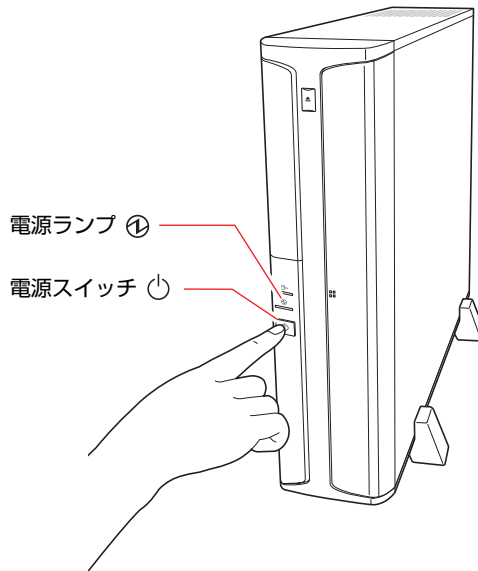




## ▶電源の入れ方とWindowsの起動

本機の電源の入れ方は、次のとおりです。

- 1 ディスプレイやスピーカなど周辺機器の電源を入れます。
- 2 本機の電源スイッチ（）を押します。  
電源ランプ（）が点灯します。




- 3 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、しばらくするとWindowsが起動します。

電源を入れたときに、次のような現象が発生した場合は、下記の内容を確認してください。

- 電源ランプが点灯しない場合  
電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- 画面に何も表示されない場合  
ディスプレイが正しく接続されているか、ディスプレイの電源が入っているか確認してください。

続けてWindowsのセットアップを行います。

 p.42 「Windowsのセットアップ」

## ▶Windowsのセットアップ

---

---

### セットアップ中に入力する項目について

Windowsのセットアップ中に入力する項目の中で、特に注意が必要な項目について記載しています。入力の際に参考にしてください。

- ユーザー名

セットアップ中に入力するユーザー名(アカウント)は、管理者(Administrator)となります。

- パスワード

パスワードを設定すると、設定したユーザー名(アカウント)でログオン時にパスワードの入力が要求されます。

パスワードを設定した場合は、絶対に忘れないようにしてください。

- コンピュータ名

「コンピュータ名」は、本機をネットワーク(家庭内LANや社内LAN)に接続して使用する場合に必要です。セットアップ時は、すでに任意のコンピュータ名が入力されています。

- ネットワークに接続しない場合

セットアップ時にコンピュータ名を変更する必要はありません。

- ネットワークに接続する場合

ネットワーク上にあるほかのコンピュータ名と重複しないように、コンピュータ名を変更します。



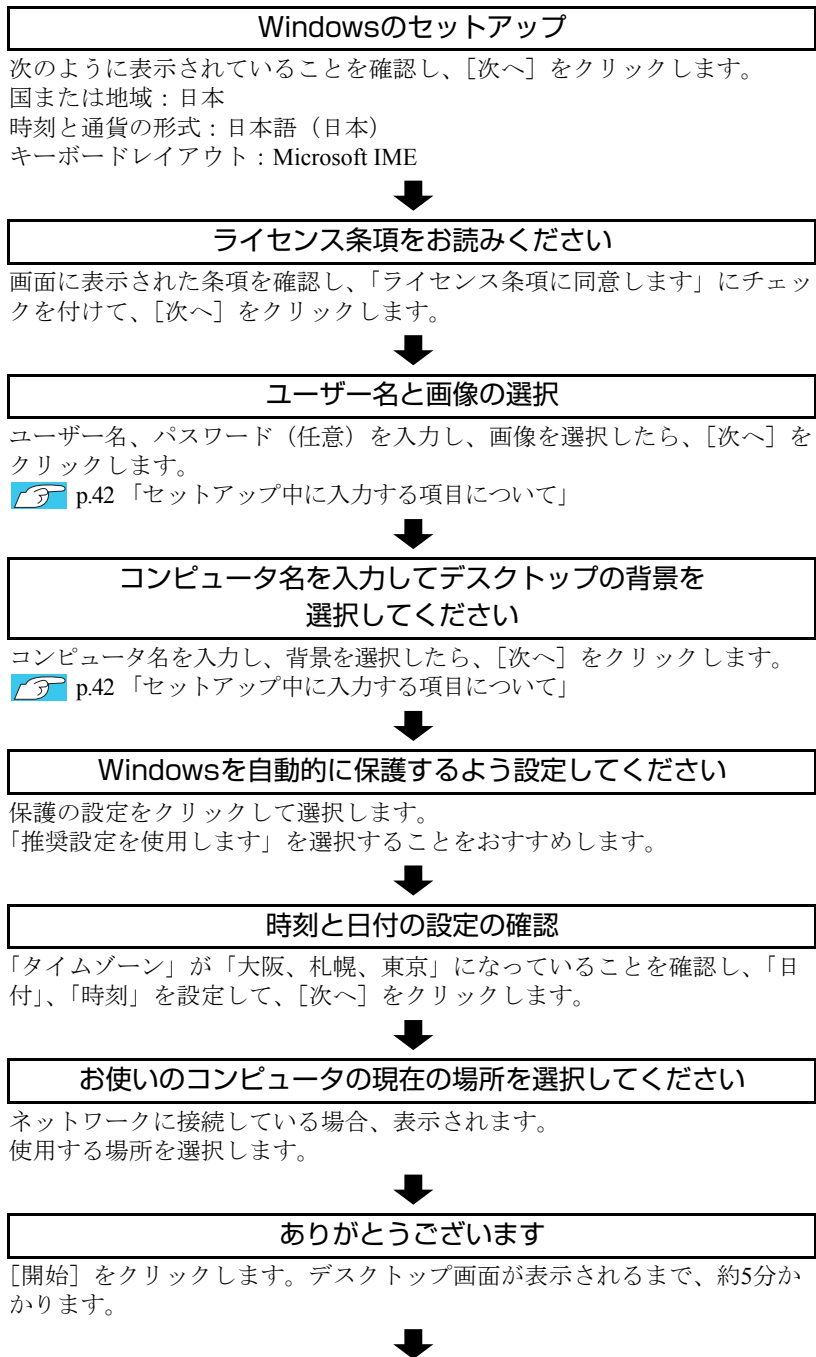
#### 管理者(Administrator)について

管理者(Administrator)のアカウントでログオンすると、すべての機能にアクセスすることができます。本機の設定を変更するときやWindowsを再インストールする場合などには、管理者(Administrator)のアカウントでログオンし、作業を行います。

---

## Windows Vistaのセットアップ

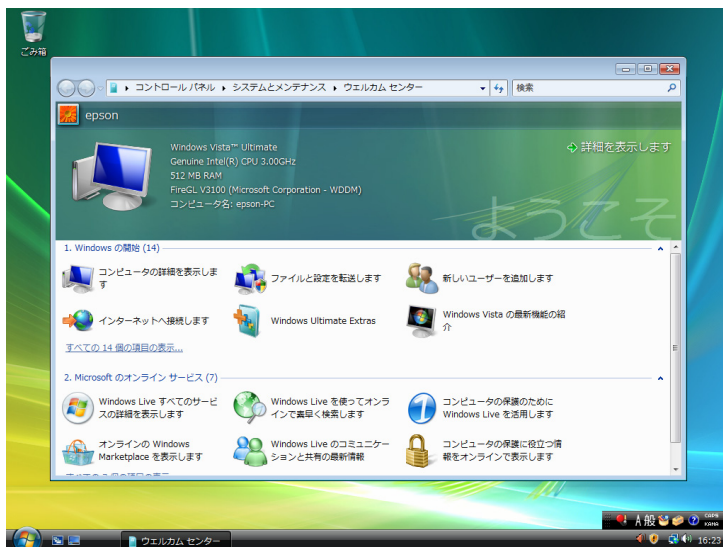
電源を入れた後、しばらくすると自動的に「Windows Vistaセットアップ」画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。セットアップの流れは、次のとおりです。



## デスクトップ画面の表示


Windows Vistaのデスクトップ画面が表示されます。

パスワードを設定した場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、デスクトップ画面が表示されます。



<壁紙は予告なく変更する場合があります>

これでWindows Vistaのセットアップは完了です。

続けて、 p.45 「セットアップ終了後の作業」を行います。

### 参考

#### ライセンス認証について

購入時に本機にインストールされているWindows Vista、および「Windows Vista リカバリDVD」より再インストールを行ったWindows Vistaは、ライセンス認証を行う必要はありません。

## ▶セッティング終了後の作業

Windowsのセッティングが終了したら、次の作業を行います。

### 初期設定ツール

Windowsのセッティングが終了すると、「初期設定ツール」が自動的に起動します。「初期設定ツール」は、本機を使用する前に必要な設定を行うためのツールです。画面に従って設定を行ってください。

### セキュリティソフトウェアのインストール

購入時、本機にセキュリティソフトウェアはインストールされていません。セキュリティソフトウェアは、「初期設定ツール」の「セキュリティ設定」画面の指示に従ってインストールしてください。

#### <通常の場合>

通常は、本機に標準添付の「Norton Internet Security 90日版」をインストールします。インストール方法は、本機に添付の『セキュリティソフトウェアをご使用前に』をご覧ください。


#### <セキュリティソフトウェアをオプション購入された場合>

本機購入時にオプション選択でセキュリティソフトウェアの製品版を購入された場合は、「セキュリティ設定」画面で製品版を選択してインストールしてください。

セキュリティソフトウェアによっては、「初期設定ツール」からインストールができない場合があります。初期設定ツールの終了後、セキュリティソフトウェアのCDからインストールを行ってください。


### ネットワークに接続する

ネットワークへの接続を行う際には、ネットワークに関する情報が必要です。お使いになるネットワーク機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。

 p.99 「ネットワーク機能を使う」

### マニュアルびゅうわのバックアップ

「マニュアルびゅうわ」とは、本機に添付されているマニュアルやお知らせをコンピュータの画面上で見ることができるソフトウェアです。「マニュアルびゅうわ」は、インフォメーションメニューから起動することができます。

 p.47 「インフォメーションメニューを使う」

「マニュアルびゅうわ」は、Windowsを再インストールすると削除されてしまいます。「マニュアルびゅうわ」のデータは、Cドライブの「お知らせ」フォルダに入っています。あらかじめバックアップを取っておいてください。

 p.175 「マニュアルびゅうわのバックアップ」

## そのほかの設定

購入時にFAXモデムボードなどを選択している場合は、設定や接続を行います。  
詳しくは各機器に添付のマニュアルをご覧ください。

# Windows使用時の確認事項

「セットアップ終了後の作業」が終わると、Windowsを使用できます。ご使用の前に次の事項を確認してください。

Windowsの使用方法は、「Windowsのヘルプ」をご覧ください。


## ▶インフォメーションメニューを使う

本機には、本機に添付されている電子マニュアルを見たり、サポートページに簡単にリンクしたりすることができる「インフォメーションメニュー」が搭載されています。

### 起動方法

「インフォメーションメニュー」は、次の方法で起動します。

- キーボードのInformationキー (  ) を押す。

 p.58 「キーボードを使う」

- デスクトップ上の次のアイコンをダブルクリックする。



「インフォメーションメニュー」が起動すると次の画面が表示されます。




## インフォメーションメニューの項目

「インフォメーションメニュー」の各項目の内容は次のとおりです。

- マニュアルびゅーわ

本機に添付されている電子マニュアルを閲覧するためのツールです。ユーザーズマニュアル（本書）のHTMLマニュアルや光ディスクドライブの取扱説明書、本機に添付されているソフトウェアのPDFマニュアルなどを画面上で見ることができます。

「マニュアルびゅーわ」は、Windowsを再インストールすると削除されてしまいます。Windowsの再インストールを行う際は、必ずマニュアルびゅーわのバックアップを行ってください。

 p.223 「データのバックアップ」



### 「警告」が表示された場合は

電子マニュアルを閲覧しようとする時、情報バーと呼ばれるInternet Explorerのアドレスバーの下方に「セキュリティ保護のため、このコンピュータにアクセスする可能性のあるスクリプトやActiveXコントロールを実行しないよう・・・」と警告が表示される場合があります。

この場合は、情報バーをクリックし、「ブロックされているコンテンツを許可」をクリックしてください。

---

- PCお役立ち情報

コンピュータに関するちょっと便利で役立つ情報や用語集を掲載しています。マニュアルとあわせてご覧になり、コンピュータを使用する際の参考にしてください。

- とらぶる解決ナビ

技術的な情報やトラブルの解決方法を収録しています。本機の調子が悪い場合に、本書の「困ったときに」とあわせてご覧ください。

 p.188 「トラブルが発生したら」

- ユーザーサポートページ (Web)

技術的な情報やトラブルの解決方法、保証サービスなどについてご案内しています。マニュアルやドライバ、BIOSの最新バージョンもダウンロードできます。

「ユーザーサポートページ」を閲覧するには、インターネットへの接続が必要です。



- サポート情報検索 (Web)

「とらぶる解決ナビ」に収録されていない最新のサポート情報を掲載しています。「とらぶる解決ナビ」で本機の不具合が解決できなかった場合にご覧ください。

「サポート情報検索」を閲覧するには、インターネットへの接続が必要です。

- トラブルが解決しなかったら


技術的なご質問や修理依頼などの問い合わせ先、メールサポートの方法などを掲載しています。マニュアルや当社のユーザーサポートページを参照しても、トラブルが解決しない場合にご覧ください。

## ▶ Windowsの修復

---

本機のHDDには「Windows回復環境」が設定されています。これは、Windowsが起動できないなどの不具合を修復する機能です。

Windowsが起動できないときなどに実行してみてください。


 p.216 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

## ▶ 復元ポイントを作成する

---

「システムの復元」機能で「復元ポイント」を作成しておく、本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」機能を使用して、作成しておいた「復元ポイント」までシステムの状態を戻すことができます。

「復元ポイント」は通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に自動的に作成されますが、手動で作成しておくこともできます。「復元ポイント」の作成方法は次をご覧ください。


 p.215 「復元ポイントを手動で作成する」

## ▶ セキュリティ対策を行う

---

コンピュータを外部と接続することで高まる危険から、コンピュータを守るための設定や確認を行います。

インターネットなどに接続する場合は、セキュリティ対策を行ってください。

 p.106 「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」

## ▶ 音量の調節

---

スピーカを接続していて、Windows起動時に音が鳴らなかつたり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合には、音量を調節します。

 p.98 「音量の調節」

## ▶画面が消えたときは（省電力機能）

本機は、一定時間マウスやキーボードの操作をしないと、省電力機能が働いて画面表示が消えるように設定されています。画面表示が消えて、本機の電源ランプが点滅している場合は、「スリープ状態」になっています（購入時の設定）。この場合は、電源スイッチを押すか、キーボード上のPowerキーを押すと元に戻ります。

 p.118 「省電力状態からの復帰方法」

## ▶フォルダメニューの表示

Windows Vistaでは、「ファイル」や「ツール」などのフォルダメニューが標準では表示されません。

フォルダメニューを表示したい場合は、**[Alt]**を押します。もう一度**[Alt]**を押すと、フォルダメニューは表示されなくなります。



### 常にフォルダメニューを表示する

常にフォルダメニューが表示されるようにしたい場合は、次の設定をしてください。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」  
- 「フォルダオプション」 - 「表示」タブ - 「常にメニューを表示する」に  
チェックを付ける

## ▶ユーザーアカウントを作る

本機を何人かで共同で使用する場合は、ユーザーアカウントを作成します。ユーザーアカウントをいくつか作成すると、Windowsをユーザーごとに切り替えて、各ユーザーの構成で本機を使用することができます。

### ユーザーアカウントの作成

ユーザーアカウントの作成は、次の場所で行います。

【スタート】－【コントロールパネル】－【ユーザーアカウント】－【ユーザーアカウント】－【別のアカウントの管理】－【新しいアカウントの作成】

アカウント権限は、ユーザーに応じて設定してください。

### ユーザーアカウントの種類

ユーザーアカウントの種類には、次の2つがあります。

- **管理者**

すべてのシステム項目にアクセスし、設定を変更したり、ドライバ、ソフトウェアのインストールをすることができます。


購入時やリカバリ時のWindowsのセットアップで入力したユーザー名（アカウント）は、「管理者」になります。

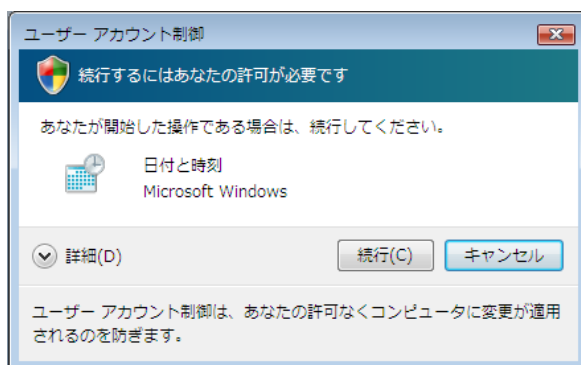
- **標準ユーザー**

一部のシステム項目の変更や、ドライバ、ソフトウェアのインストールは行うことができません。管理者のパスワードを入力すれば、変更やインストールが可能になります。

## ▶ユーザーアカウント制御画面

---

が表示されているシステム項目にアクセスしようとしたり、ドライバやソフトウェアのインストールをしようとする時、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。これは、項目にアクセス制限がかけられているためです。




表示される「ユーザーアカウント制御」画面は、アカウント（管理者または標準ユーザー）により異なります。本書の手順は、管理者アカウントでログオンした状態を前提に記載しています。

# 本機の終了方法


ここでは、本機の終了方法や再起動方法について説明します。  
本機の終了方法には次の2つがあります。

## ● 通常の終了（スリープ）

通常は、本機を「スリープ状態」にして終了します。

 p.53 「通常の終了（スリープ）」

スリープ状態にすると、作業内容がメモリとHDDに一時的に保存され、画面表示が消えて本機は低電力の状態になります。スリープ状態からは、数秒で通常の状態に復帰することができます。

スリープ状態についての詳しい説明は、 p.114 「省電力状態の種類」をご覧ください。

## ● 電源を切る（シャットダウン）

次のような場合は、本機の電源を切って終了します。

 p.54 「電源を切る（シャットダウン）」


- 完全に電源を切りたいとき
- 数日使用しないとき
- 周辺機器の取り付け、取り外しをするとき

## ▶ 通常の終了（スリープ）

本機をスリープ状態にして終了する方法、スリープ状態から復帰させる方法について説明します。

### 終了方法

本機をスリープ状態にして終了する方法は、次のとおりです。


**[スタート] (  ) - [⏻] をクリックします。**

本機が「スリープ状態」になります。画面表示が消え、電源ランプが点滅します。

### 参考

ほかの方法でスリープ状態にする

次の方法でも、本機をスリープ状態にすることができます。

- [スタート] - [▶] - 「スリープ」をクリックする
- キーボードのSleepキー (  ) を押す

## 復帰方法

本機をスリープ状態から復帰させる方法は、次のとおりです。



復帰の際、周辺機器はスリープ状態に入る前と同じ状態にしてください。スリープ中に周辺機器を取り外すなどして状態が異なると、正常に復帰できない場合があります。

電源スイッチ (⏻)、またはキーボードのPowerキー (⏻) を押します。  
本機が通常状態に復帰します。  
マウスがUSB接続の場合、マウスを操作しても復帰できます。

## ▶電源を切る (シャットダウン)

本機の電源の切り方、入れ方について説明します。

### 電源の切り方

本機の電源を切る (シャットダウンする) 方法は、次のとおりです。



- 電源を切って、もう一度入れなおす場合には、電源を入れるときに電気回路に与える電気的な負荷を減らし、HDDなどの動作を安定させるために、20秒程度の間隔を空けてください。
- HDDなどのアクセスランプ点灯中に本機の電源を切ると、HDDに登録されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機の電源を切っても、電源プラグがコンセントに接続されていると、微少な電流が流れています。本機の電源を完全に切るには、コンセントから電源プラグを抜いてください。

- 1 [スタート] - [▶] - 「シャットダウン」をクリックします。  
Windowsが終了し、自動的に本機の電源が切れます。
- 2 接続している周辺機器の電源を切ります。

### キーボードで電源を切る

106 PS/2コンパクトキーボードでは、PowerキーでWindowsを終了させることもできます。

- 1 キーボードのPowerキー (⏻) を押します。  
Windowsが終了し、自動的に本機の電源が切れます。
- 2 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を切ります。

## シャットダウン時の注意

Windowsを複数のユーザーが使用している状態で電源を切ろうとすると、「ほかの人がこのコンピュータにログオンしています。…」と表示されます。この場合は [いいえ] をクリックし、ログオンしているすべてのユーザーの画面に切り替えて、それぞれログオフを行ってからシャットダウンをしてください。

## 電源の入れ方

シャットダウン状態から本機の電源を入れる方法は、次のとおりです。



- 周辺機器の電源をいつ入れるか周辺機器に添付のマニュアルで確認してください。  
電源を入れるタイミングがコンピュータより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- メモリカードは、取り出した状態で電源を入れてください。  
セットした状態で電源を入れると、Windowsが起動しないことがあります。
- USBフラッシュメモリやUSB HDDなどのUSB記憶装置を接続している場合は、外した状態で電源を入れてください。  
接続した状態で電源を入れると、Windowsが起動しないことがあります。
- 電源を入れなおすときは、20秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。  
電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、HDDなどの動作を安定させます。

電源スイッチ (⏻)、またはキーボードのPowerキー (⏻) を押します。  
本機の電源が入り、Windowsが起動します。

## ▶再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」といいます。  
次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- 使用しているソフトウェアで指示があった場合
- Windowsの動作が不安定になった場合

## 再起動方法

本機の再起動方法は、次のとおりです。

【スタート】 - 【▶】 - 「再起動」をクリックします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れなおしてみてください。

## ▶ハングアップしたときは

---

アプリケーションやWindowsがキーボードやマウスからの入力を受け付けず、何も反応しなくなった状態をハングアップといいます。  
ハングアップした場合は、アプリケーションの強制終了を行います。アプリケーションの強制終了をしても状態が改善されない場合は、強制的に本機の電源を切ります。

### アプリケーションの強制終了

アプリケーションの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1** **Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押します。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャの起動」をクリックします。  
「Windowsタスクマネージャ」が起動します。
- 3** 「アプリケーション」タブからハングアップしているアプリケーションを選択して「タスクの終了」をクリックします。
- 4** 「プログラムの終了」画面が表示されたら、「すぐに終了」をクリックします。

### 強制的に電源を切る

**Ctrl** + **Alt** + **Delete** を押しても反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

コンピュータの電源スイッチ (⏻) を5秒以上押し続けます。  
本機の電源が切れます。



# 第2章 コンピュータの基本操作

キーボードやマウス、光ディスクドライブの使い方など、本機の基本  
的な操作方法について説明します。

「キーボードを使う」 .....	58
「マウスを使う」 .....	63
「HDDを使う」 .....	65
「RAID機能」 .....	68
「光ディスク（CD/DVD）ドライブを使う」 .....	77
「マルチカードリーダーを使う」 .....	85
「USB機器を使う」 .....	91
「画面表示機能を使う」 .....	93
「サウンド機能を使う」 .....	96
「ネットワーク機能を使う」 .....	99
「インターネットに接続するには」 .....	101
「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」 .....	106
「電源設定を行う（省電力機能を使う）」 .....	112
「そのほかの機能」 .....	119

# キーボードを使う

ここでは、12個のホットキーを搭載した日本語対応106 PS/2 コンパクトキーボードを例に、キーボードの基本的な使い方を説明します。

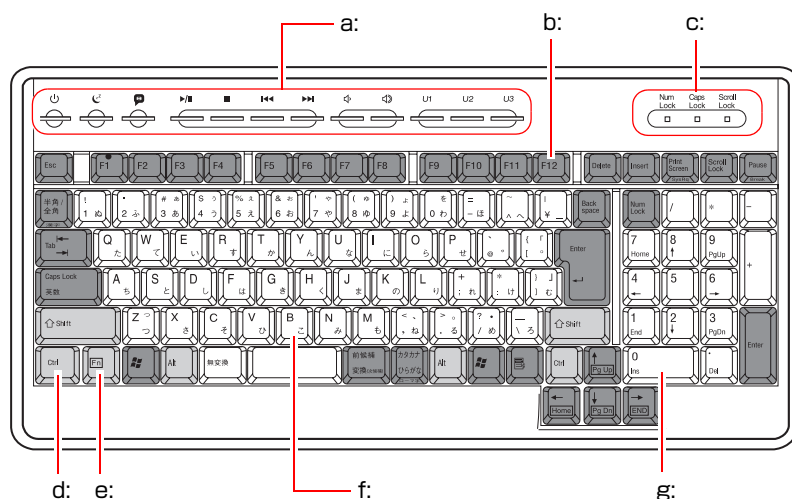
キーボードの接続方法は、p.29 「コンピュータの設置」をご覧ください。

このほかのキーボードを選択され、別冊でキーボードのマニュアルが添付されている場合は、本書と合わせて別冊のマニュアルで使用方法などをご確認ください。


## ▶キーの種類と役割

キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。

### 入力キー




#### a: ホットキー

 p.61 「ホットキーを使用する」

#### b: 機能キー

文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。機能キーの役割は、ソフトウェアによって異なります。

#### c: キーロック表示ランプ


 p.60 「キーロック表示ランプ」

#### d: 制御キー

文字キーや機能キーの働きを変化させます。単独では機能しません。

#### e: Fnキー

制御キーの1つです。


 p.60 「Fnキーと組み合わせて使うキー」

#### f: 文字キー

英数字や記号の入力、日本語入力システムを利用して漢字やひらがななどの日本語を入力します。

#### g: 数値キー

数字、演算子などを入力します。


 の状態によりキーの機能が変わります。

## ▶文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。入力モードによって入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがななどに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

### 入力モードの切り替え

を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。

日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は、日本語入力システムで行います。

## ▶日本語を入力するには

ひらがなや、漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

### MS-IMEの使い方

MS-IMEパネルの主要なボタンの名称と働きは、次のとおりです。ボタンをクリックして各設定を行ったり、ヘルプを参照したりします。



#### a: 入力モード

入力モード（ひらがな、カタカナ、英数字など）を選択します。

#### b: ヘルプ

MS-IMEの詳細な説明を見ることができます。

#### c: かなキーロック

日本語入力モードの切り替えを行います。








ボタンが押されていない状態：ローマ字入力

ボタンが押されている状態：かな入力


MS-IME以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムに添付されているマニュアルをご覧ください。













## ▶キーロック表示ランプ

キーボード右上の3つのランプは、キーボードの入力状態を表示しています。

Num Lock	役割	数値キーの状態を切り替え
	切り替え方	 を押す
	点灯時	数値を入力
	消灯時	カーソルの位置を制御 数値キーの    などが使えます。
Caps Lock	役割	アルファベットの太文字/小文字の切り替え
	切り替え方	 +  を押す
	点灯時	大文字を入力
	消灯時	小文字を入力
Scroll Lock	役割	ソフトウェアによって異なります。
	切り替え方	 を押す

## ▶Fnキーと組み合わせて使うキー

次のキーは、 と組み合わせると、次のように使用することができます。














 + 	 (Page Up) の役割をします。
 + 	 (ページの先頭へ移動) の役割をします。
 + 	 (Page Down) の役割をします。
 + 	 (ページの最後へ移動) の役割をします。

## ▶ホットキーを使用する

各ホットキーには、Windowsの終了、インフォメーションメニューの起動などの機能が割り当てられており、ホットキーを押すだけで、割り当てられた機能を実行することができます。

### ホットキーの機能

各ホットキーに割り当てられた機能は、次のとおりです。

ホットキー	機能
Powerキー 	Windowsの起動/終了を行います。スリープや休止状態で押すと、復帰します。  p.114 「省電力状態の種類」
Sleepキー 	本機をスリープ状態にします。  p.116 「省電力状態に移行する方法」
Informationキー 	インフォメーションメニューが起動します。  p.47 「インフォメーションメニューを使う」
Play/Pauseキー 	光ディスクの停止中に押すと再生、再生中に押すと再生を一時的に停止します。
Stopキー 	光ディスクの再生中に押すと、再生を停止します。
Previous Trackキー 	前のトラックへ戻ります。
Next Trackキー 	次のトラックへ進みます。
Volume Downキー 	音量を小さくします。
Volume Upキー 	音量を大きくします。
U1キー	割り当てたアプリケーションを起動します。  p.61 「ホットキー (U1、U2、U3) の設定」
U2キー	
U3キー	

### ホットキー (U1、U2、U3) の設定

ホットキーのU1、U2、U3キーには、Internet ExplorerやWindowsメールなど、好きなアプリケーションを割り当てることができます。

ここでは、Internet Explorerを例にして、アプリケーションの割り当て方法を説明します。

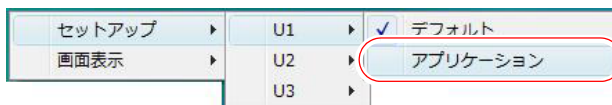
- 1 通知領域の「キーボードユーティリティ」アイコンを右クリックします。



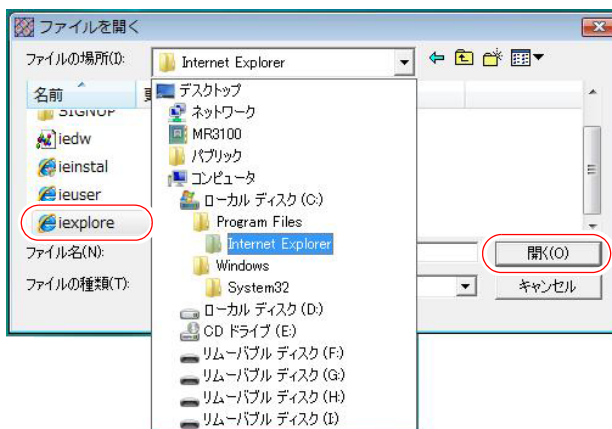
- 2 画面中央に表示されたメニューから「セットアップ」を選択します。



- 3 「セットアップ」のサブメニューから、割り当てるホットキーを選択し、「アプリケーション」をクリックします。



- 4 「ファイルを開く」画面が表示されたら、Internet Explorerを選択し、[開く]をクリックします。





これでInternet Explorerの割り当ては完了です。割り当てたホットキーを押すと、Internet Explorerが起動します。

そのほかのアプリケーションの場合も同様に割り当てることができます。

## ▶ Windowsキーとアプリケーションキー

Windowsキー、アプリケーションキーを使うことにより、Windowsをより効率的に使用することができます。

キー	機能
 (Windowsキー)	画面左下の [スタート] をクリックするのと同じ働きをします。
 (アプリケーションキー)	マウスの右クリックと同じ働きをします。(ソフトウェアによっては、機能が異なる場合があります。)

# マウスを使う

ここでは、ホイール付USBオプティカルマウスを例に、マウスの基本的な使い方を説明します。

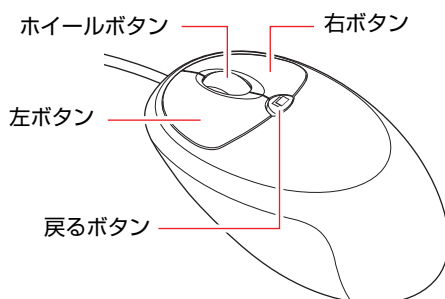
マウスの接続方法は、p.29 「コンピュータの設置」をご覧ください。

このほかのマウスを選択され、別冊でマウスのマニュアルが添付されている場合は、別冊のマニュアルで使用方法をご確認ください。

## ▶マウスの操作



- 表面が反射する場所やざらざらした場所、複雑なイラスト入りのマウスパッド上で使用しないでください。マウスの動きがコンピュータに伝わりません。
- アプリケーションソフトによっては、ホイールボタン、戻るボタンが使用できない場合があります。



マウスの基本的な操作は、次のとおりです。

操作名	操作方法と用途
クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを1回カチッと押します。メニューの選択や選択したボタン操作の実行ができます。
ダブルクリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを2回続けてカチカチッと押します。プログラムを起動したり、ファイルやフォルダを開いたりできます。
右クリック	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、右ボタンを1回カチッと押します。操作可能なメニューの表示ができます。
ドラッグ アンド ドロップ	マウスカーソルを画面上の対象に合わせて、左ボタンを押したままの状態でもうすを移動し、離します。ファイルやフォルダの場所を移動することができます。
スクロール	ホイールボタンを指先で前後に動かします。ページを上下に移動する縦スクロールができます。ホイールボタンをクリックすると、マウスを動かした方向にページを移動するオートスクロールもできます。
戻る	戻るボタンを押すと、Internet Explorerやエクスプローラなどで「戻る」の操作を行うことができます。

## ▶マウスの設定変更

---

マウスボタンの設定や使用環境を変更するときは、[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「マウス」をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で設定変更します。詳しくは、ヘルプをご覧ください。



# HDDを使う

HDD（ハードディスクドライブ）は、大容量のデータを高速に記録する記憶装置です。

本機には、Serial ATA（以降、S-ATA）仕様のHDDが内蔵されています。



制限


- 本機ではUltra ATA仕様のHDDは使用できません。
- 誤った操作で重要なデータが破損しないように次の点に注意してください。
  - ・ HDDを分解しないでください。
  - ・ HDD アクセスランプ点灯中に、コンピュータの電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点灯中は、コンピュータがHDDに対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDDに保存されているデータが破損するおそれがあります。
- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えるとHDDが破損するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。
- HDDが故障した場合、HDDのデータを修復することはできません。

2

## ▶データのバックアップ

HDDに記録されている重要なデータは、光ディスクメディアや外付けHDDなどにバックアップしておくことをおすすめします。万一HDDの故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの方法は、次の場所で紹介しています。

 p.223 「データのバックアップ」

## ▶購入時のHDD領域について

購入時のHDD領域は、お客様の選択により、次のようになっています。

<通常>

HDDの台数	ドライブ	領域の容量
1台	消去禁止領域	約700MB
	C	1台すべて
2台	消去禁止領域	約700MB
	C	1台目すべて
	D	2台目すべて
2台 (RAIDモデル)	消去禁止領域	約700MB
	C	RAID内すべて

<HDD設定変更サービスを選択した場合>

HDDの台数		ドライブ	領域の容量
1台		消去禁止領域	約700MB
		C	購入時に選択された容量
		D	残り
2台	1台目	消去禁止領域	約700MB
		C	購入時に選択された容量
		D	残り
	2台目	E	すべて
2台 (RAIDモデル)	RAID内	消去禁止領域	約700MB
		C	購入時に選択された容量
		D	残り

すべてのドライブはNTFSファイルシステムでフォーマットされています。




### HDD設定変更サービス

HDD設定変更サービスとは、1台目のHDD領域をCドライブ、Dドライブに分割した状態で本機をお届けするサービスのことです。

### 消去禁止領域とは

「消去禁止領域」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。

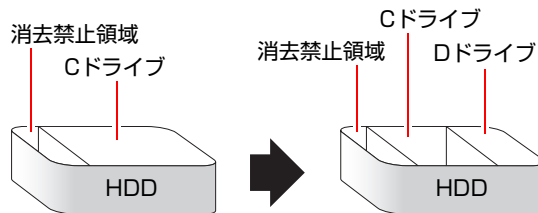
 p.216 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

## ▶HDDを分割して使用する

1台のHDDは、いくつかに分割してそれぞれ別々のドライブとして使用することができます。

<1台のHDDを分割する>


例：HDD領域（Cドライブ）を2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割することができます。



Cドライブを分割する場合は、Windowsの再インストールが必要です。詳しくは、p.229 「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

## ▶HDDのフォーマット

HDDを増設・交換するなどして初めて使用する場合には、そのHDDの領域作成とフォーマットが必要です。また、HDDに登録されているデータをすべて消去する場合にもフォーマットを行います。

 p.230 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」

購入時に内蔵されているHDDは、フォーマットの必要はありません。また、RAIDを構成する場合も、増設・交換したHDDのフォーマットは不要です。



すでにデータが登録されているHDDをフォーマットすると、そのHDDに登録されていたすべてのデータが消失します。フォーマットする前に、重要なデータが登録されていないことを確認してください。

# RAID機能

本機ではRAID機能を使用することができます。RAIDとは、複数のHDDを組み合わせて使用するシステムのことです。

ここでは、RAIDの種類やRAIDの構成・削除方法などについて説明します。  
本機購入時にRAIDモデルを選択された場合は、搭載のHDDであらかじめRAIDが構成されています。

## RAIDの種類

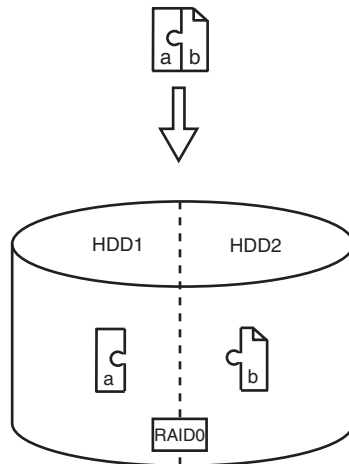
本機で使用できるRAIDは、RAID0、RAID1の2種類です。

種類	別名	HDD 必要台数	特徴
RAID0	ストライピング	2台	2台のHDDを1つに結合して使用。 大容量のデータを高速に書き込んだり、読み込んだりすることができる。
RAID1	ミラーリング	2台	一方のHDDに書き込んだデータがもう一方のHDDにも書き込まれる。 一方のHDDが破損しても、もう一方のHDDからデータを復旧することができる。

## RAID0 (ストライピング)

RAID0は、複数のHDDを1つに結合し、高速かつ大容量な1台のHDDとして使用するシステムです。ストライピングともいいます。

たとえば500GBのHDD2台でRAID0を作成すると、500GBのHDD2台を約1TB(1000GB)のHDD1台として使用することができます。このHDDにデータを書き込むと、データは2台のHDDに分散して書き込まれます。そのため、容量の大きいデータでも高速に書き込みが可能です。



HDD1とHDD2にデータを分散して記録する

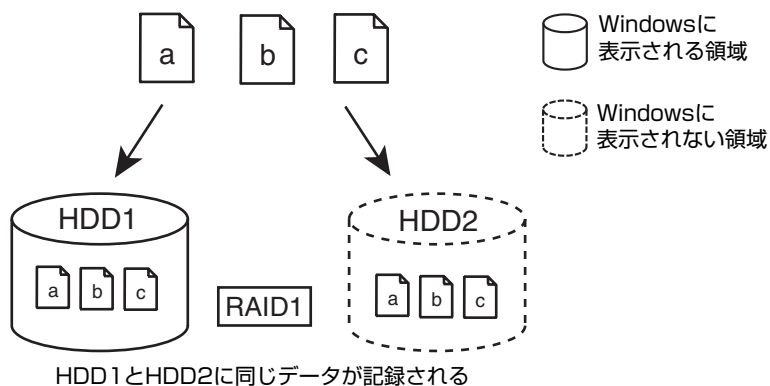
### HDDが破損した場合

RAID0では、結合したHDDのうちどれか1台が破損すると、そのほかのHDDに保存されているデータも破損してしまい、データの復旧は不可能となります。万一の場合に備え、HDDのデータは光ディスクメディアなどのほかのメディアに定期的にバックアップしておくことをおすすめします。

## RAID1 (ミラーリング)

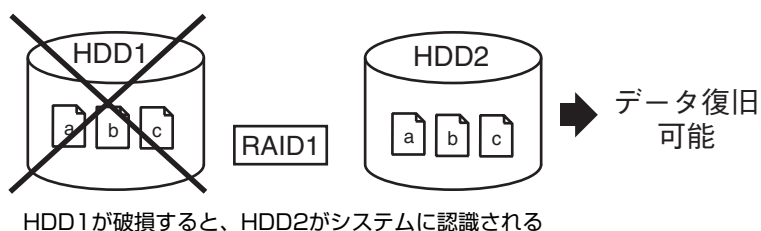
RAID1は、2台のHDDを使用します。片方のHDD (HDD1) にデータを書き込むと、同時にもう片方のHDD (HDD2) にも同じデータが書き込まれるシステムです。ミラーリングともいいます。

データが2台のHDDに保存されるため、片方のHDDが破損しても、もう片方のHDDからデータを復旧することができます。RAID1では2台のHDDのうち1台 (HDD1) だけがWindowsに表示されます。



### HDDが破損した場合

RAID1では、Windowsに表示されているHDDが破損すると、Windowsで表示されていなかったもう1台のHDDが自動的にWindowsに表示され、データを復旧することができます。



HDD2が破損した場合は、HDD1のみにデータが書き込まれることとなります。2台のHDDが同時に破損しないかぎり、データの復旧は可能です。

## ▶RAIDの構成・削除

RAIDの構成・削除方法を説明します。

RAIDの構成や削除は、「RAID Configuration Utility」を使用して行います。



制限

- RAIDを構成・削除すると、HDDに登録されているデータはすべて消失します。  
RAIDを構成・削除する前に、重要なデータはバックアップしてください。
- RAID構成時、HDDアクセス制限は使用できません。
- RAIDの作成・削除をすると、「消去禁止領域」は消失し、復元することはできません。「消去禁止領域」には、Windows回復環境 (Windows RE) が設定されています。RAID作成・削除後にWindows REを使用したい場合は、「Windows VistaリカバリDVD」から使用することができます。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。



p.216 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」

## BIOSの設定

RAIDを構成する場合は、BIOSの設定値を次のように変更してください。

「Main」メニュー画面－「SATA Configuration」－「Configure SATA as」を「RAID」に設定する。



p.162 「Mainメニュー画面」－「SATA Configuration」

RAIDモデルの場合は、購入時にあらかじめ「RAID」に設定されています。

## RAID Configuration Utilityの起動と終了

「RAID Configuration Utility」はメインボード上にROMとして搭載されています。

「RAID Configuration Utility」の起動、終了方法は次のとおりです。

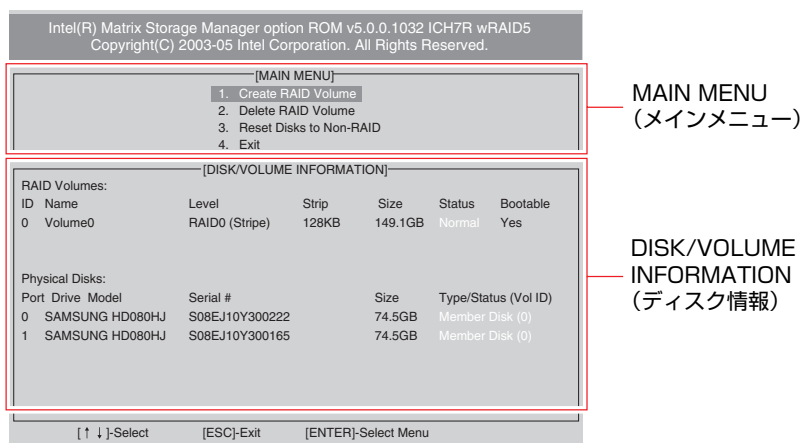
### 起動

- 1** キーボードの **Tab**、**Ctrl**、**I** の位置を確認します。  
手順3では **Tab** を、手順4では **Ctrl**+**I** を、すばやく押す必要があります。
- 2** 本機の電源を入れます。  
すでにWindowsが起動している場合は、再起動します。
- 3** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに **Tab** を押します。  
Windowsが起動した場合は、再起動してやりなおしてください。

- 4** 黒い画面の中央に、「Press <CTRL-I> to enter Configuration…」と表示されたら、すぐに **Ctrl** + **I** を押します。

「RAID Configuration Utility」が起動します。

Windowsが起動した場合は、再起動して手順3からやりなおしてください。



<画面はイメージです>

- 5** 必要に応じて、RAIDの状態を確認したり、RAIDの構成や削除を行います。

項目の移動は **↑** **↓** で行います。

p.72 「RAIDを構成する」

p.74 「RAIDを削除する」

終了

- 1** 「MAIN MENU」項目で「4.Exit」を選択し、**←**を押します。

項目の移動は **↑** **↓** で行います。

- 2** 次の確認メッセージが表示されたら、**Y**を押します。

Are you sure you want to exit ? (Y/N)

「RAID Configuration Utility」が終了します。

## RAIDを構成する

本機で構成できるRAIDはRAID0、RAID1です。

RAIDを構成する手順は、次のとおりです。



RAIDを構成すると、HDDに登録されているデータはすべて消失します。RAIDを構成する前に、重要なデータはバックアップしてください。



- 1** 「RAID Configuration Utility」を起動します。  
 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 2** 「MAIN MENU」項目で「1.Create RAID Volume」を選択し、を押します。
- 3** 「CREATE VOLUME MENU」画面が表示されたら、[Name]に任意の名前を入力し、を押します。  
入力した名前は「BIOS Setupユーティリティ」で表示されます。  
RAIDの名前を変更しない場合は、そのままを押します。
- 4** 「RAID Level」で「RAID0 (Stripe)」、「RAID1 (Mirror)」のいずれかを選択し、を押します。
- 5** 「Strip Size」でを押します。  
RAIDの種類によっては、この手順はありません。
- 6** 「Capacity」でを押します。
- 7** 「Create Volume」が選択されている状態でを押します。
- 8** 次の確認メッセージが表示されたら、を押します。  
Are you sure you want to create this volume? (Y/N)  
RAIDが構成され、「MAIN MENU」画面が表示されます。構成したRAIDの情報を「DISK/VOLUME INFORMATION」で確認することができます。
- 9** 「RAID Configuration Utility」を終了します。  
 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 10** [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックして、「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。  
 p.153 「BIOS Setupユーティリティの操作」
- 11** 「BIOS Setup ユーティリティ」が表示されたら、「Boot」メニュー画面 - 「Boot Device Priority」で、「Boot Device」の1つが「RAID: Intel XXXX\*」になっていることを確認します。  
\* XXXXは、手順3で設定した名前です。
- 12** を押し、「Exit」メニュー画面 - 「Exit & Save Changes」で「Ok」を選択し、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。  
これでRAIDの構成は完了です。  
続けてWindowsのインストール、または、HDD領域の作成を行います。  
 p.178 「Windowsのインストール」  
 p.230 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」

## RAIDを削除する

RAIDを構成しないうちの場合や、RAID機能を使用しない場合は、RAIDを削除します。

RAIDを削除する手順は、次のとおりです。




RAID を削除すると、HDD に登録されているデータはすべて消失します。RAID を削除する前に、重要なデータはバックアップしてください。

- 1 「RAID Configuration Utility」を起動します。  
 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 2 「MAIN MENU」項目で「2.Delete RAID Volume」を選択し、 を押します。
- 3 「DELETE VOLUME MENU」画面で、削除したいRAIDを選択し、 を押します。
- 4 次の確認メッセージが表示されたら、 を押します。  
Are you sure you want to delete volume "XXXX" ? (Y/N)  
RAIDが削除され、「MAIN MENU」画面が表示されます。「DISK/VOLUME INFORMATION」の「RAID Volumes:」でRAIDが削除されたことを確認します。
- 5 「RAID Configuration Utility」を終了します。  
 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」  
これで、RAIDの削除は終了です。

RAIDの削除後、RAID機能を使用しない場合は、BIOSの設定値を次のように変更してください。

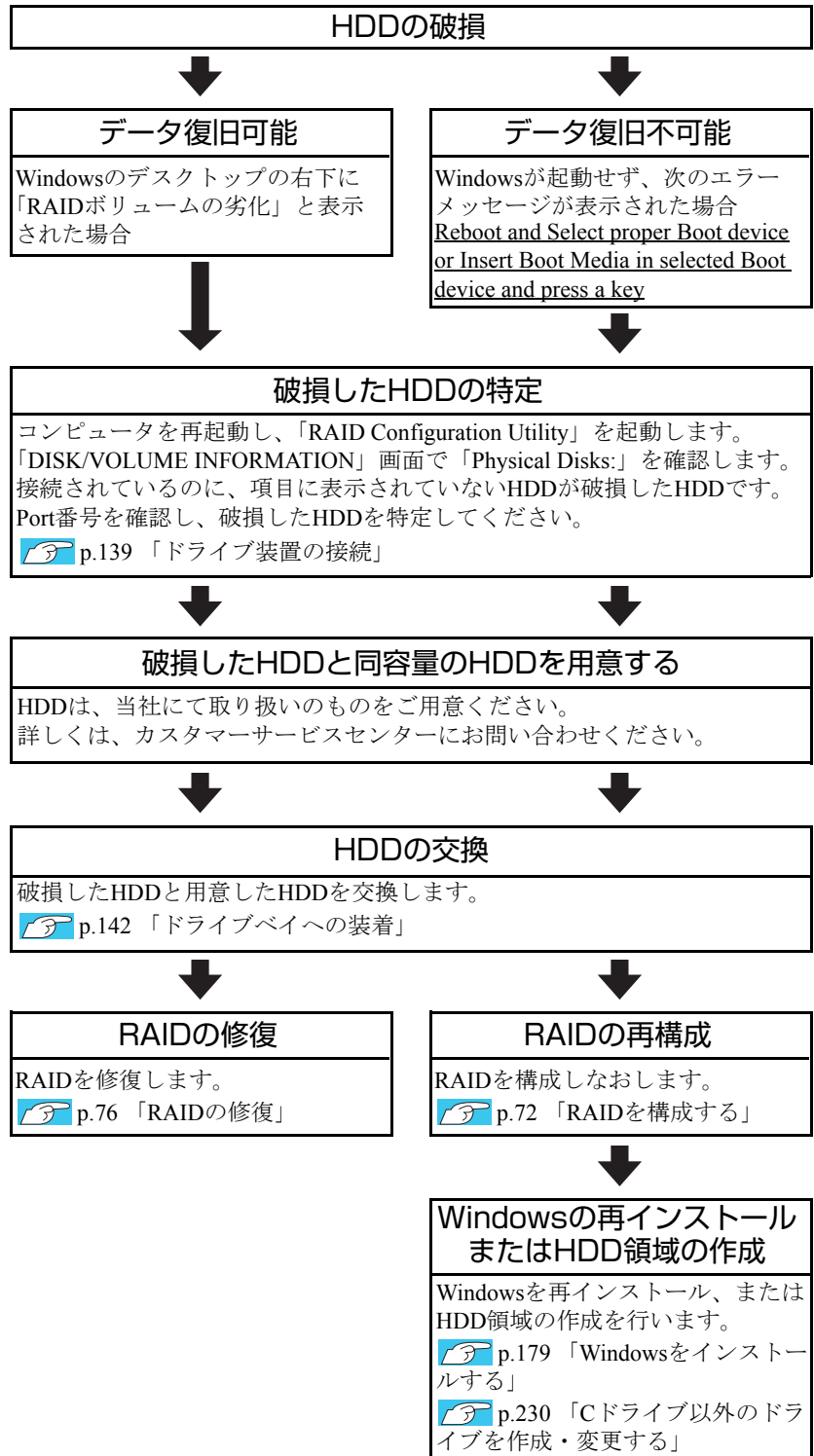
「Main」メニュー画面－「SATA Configuration」－「Configure SATA as」を「Standard IDE」に設定する。

 p.162 「Mainメニュー画面」－「SATA Configuration」

## ▶HDDが破損したら（RAID使用時）




RAID機能使用時にHDDが破損した場合は、データの復旧状態によってRAIDの修復、または再構成が必要です。

次の流れに従って、RAIDを修復、または再構成してください。



## RAIDの修復

RAIDの修復は、「RAID Configuration Utility」で行います。RAIDの修復方法は、次のとおりです。

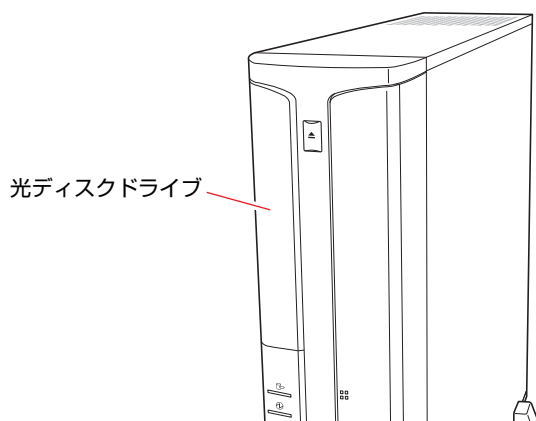
- 1** 「RAID Configuration Utility」を起動します。  
 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」
- 2** 「DEGRADED VOLUME DETECTED」画面が表示されたら、新しく接続したHDDを選択し、を押します。
- 3** 「DISK/VOLUME INFORMATION」項目で、「RAID Volumes :」の「Status」項目が「Rebuild」になっていることを確認します。
- 4** 「RAID Configuration Utility」を終了します。  
 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」

これでRAIDの修復は完了です。Windowsが起動すると、画面右下に「RAIDボリュームの復元」と表示されます。

# 光ディスク (CD/DVD) ドライブを使う

光ディスクドライブは、光ディスクメディアを再生したり、光ディスクメディアに書き込みを行ったりするための機器です。購入時に選択された光ディスクドライブにより、機能や使用できるメディアは異なります。

ここでは、光ディスクドライブの基本的な使い方について説明します。



2




- 光ディスクドライブのディスクトレイに手を入れないでください。はさまれると、けがの原因になります。
- 光ディスクドライブで、ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。内部で飛び散って故障したり、メディア取り出し時にけがをしたりする危険があります。



本機では、CD (コンパクトディスク) の規格に準拠しない「コピーコントロール CD」などの特殊ディスクについては、動作保証していません。本機にて動作しない特殊ディスクについては、製造元または販売元にお問い合わせください。

## ▶使用可能な光ディスクメディア

選択された光ディスクドライブで使用できるメディアは、次のマニュアルでご確認ください。

 「マニュアルびゅーわ」 - 『光ディスクドライブ取扱説明書』

光ディスクメディアの簡単な説明は、「インフォメーションメニュー」 - 「PC お役立ち情報」をご覧ください。

## ▶光ディスクメディアのセットと取り出し

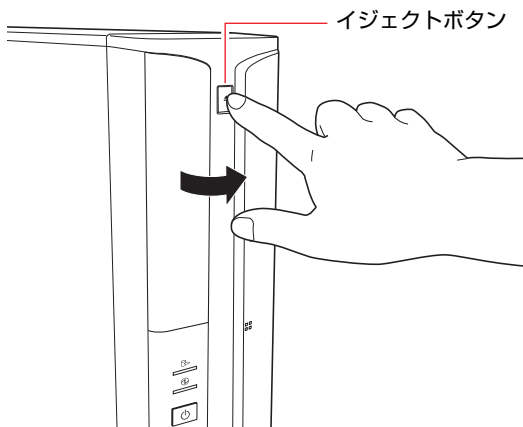
光ディスクメディアのセットと取り出し方法について説明します。



- アクセスランプ点灯中にメディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。
- メディアの出し入れのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- 結露した状態のメディアを使用しないでください。メディアを寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）します。使用すると、誤動作や故障の原因になります。
- 本機を縦置きで使用している場合、8cmのメディアは使用できません。また、縦置き横置きに関係なく、楕円などの通常と異なった形状のメディアは使用できません。

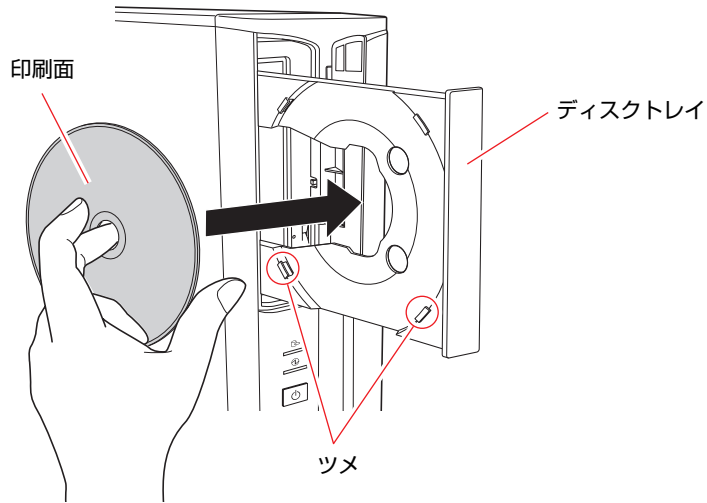
### セット方法

- 1 イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。



- 2** メディアの印刷面を本体の左側に向け、ディスクトレイにある落下防止用のツメ（下側2箇所）にセットします。

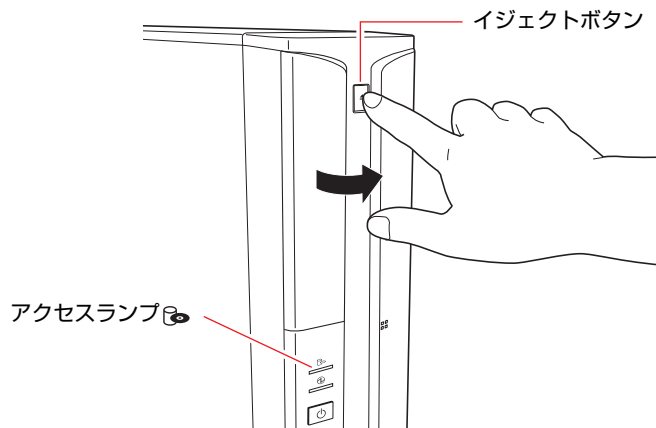
本機が横置きの場合は、メディアの印刷面を上側に向けてセットします。



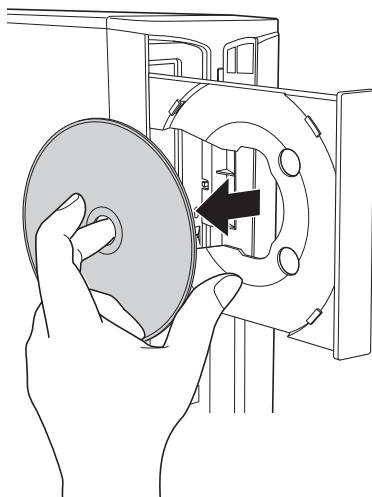
- 3** ディスクトレイを閉じるには、イジェクトボタンを押すか、ディスクトレイを軽く押します。

## 取り出し方法

- 1** アクセスランプが点灯・点滅していないことを確認し、イジェクトボタンを押して、ディスクトレイを開きます。



**2** メディアをディスクトレイから取り出します。



**3** ディスクトレイを閉じるには、イジェクトボタンを押すか、ディスクトレイを軽く押します。

**参考**

イジェクトボタンを押してもメディアが取り出せない場合

セットした光ディスクメディアをソフトウェアで使用した場合、ソフトウェアによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくはお使いのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

---

## ▶CDメディアの読み込み・再生

---

光ディスクドライブでは、データCDを読み込めるほかに、音楽CDやビデオCD、フォトCDなどの再生を行うことができます。これらのメディアの中には、再生時に別途専用ソフトウェアが必要なものもあります。

**参考**

メディアの再生

本機に装着されている光ディスクドライブは、メディアの認識に時間がかかることがあります。不具合ではありません。

また、メディアの種類によっては、再生中に振動することがありますが、故障ではありません。

---



## ▶DVDメディアの読み込み・再生

光ディスクドライブでは、データが登録されたDVDメディアを読み込めるほかに、ビデオ編集ソフトで作成したDVDなどの再生ができます。再生には、DVD VIDEO再生のためのソフトウェアが必要です。

### DVD VIDEO再生ソフト

DVD VIDEOの再生には、「WinDVD」を使用します。

WinDVDは、次の場所から起動します。

【スタート】 - 【すべてのプログラム】 - 【InterVideo WinDVD】 -  
【InterVideo WinDVD for EPSON】

WinDVDの詳しい使用方法は、WinDVDのヘルプをご覧ください。

### DVD VIDEO再生時の不具合

「WinDVD」でDVD VIDEOの再生をすると、次のような不具合が発生する場合があります。

- 解像度や色数、リフレッシュレートの設定により、DVD VIDEOの再生ができないことがあります。

DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度や色数、リフレッシュレートを調節してみてください。



p.95 「表示装置に関する設定」



p.95 「リフレッシュレートの設定」

- ディスプレイを2台接続して、クローン表示またはミラー表示をしていると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断されます。このような場合は、クローン表示またはミラー表示を無効にしてください。

## ▶光ディスクメディアへの書き込み

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

書き込み機能のある光ディスクドライブでは、データ、音楽、画像などを光ディスクメディアに書き込むことができます。書き込み可能なメディアは、選択された光ディスクドライブにより異なります。お使いの光ディスクドライブで書き込み可能なメディアについては、次のマニュアルをご覧ください。


 「マニュアルびゅーわ」 – 『光ディスクドライブ取扱説明書』



作成した DVD VIDEO は、市販の DVD プレイヤーで再生できますが、一部の DVD プレイヤーでは再生できない場合があります。

### ライティングソフト

光ディスクメディアに書き込みを行う場合は、専用のライティングソフトが必要です。書き込み機能のある光ディスクドライブを選択された場合、本機にはライティングソフト「Nero 7 Essentials」がインストールされています。

 p.83 「Nero 7 Essentialsの使い方」


### 書き込み時の注意

書き込みを行う場合は、次の点に注意してください。

- 省電力機能を無効にする

メディアへの書き込み時に、Windowsが省電力状態に切り替わると、データ転送エラーが起き、書き込みに失敗して、メディアに記録したデータが失われたり、メディアが使用できなくなる可能性があります。

書き込みを始める前に、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.116 「省電力状態に移行する方法」

省電力状態に移行する場合は、必ず光ディスクドライブからメディアを取り出してから行ってください。

- 速度に対応した光ディスクメディアを選ぶ

書き込みを行う場合は、お使いの光ディスクドライブの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。

光ディスクドライブの書き込み速度は、次のマニュアルをご覧ください。

 「マニュアルびゅーわ」 – 『光ディスクドライブ取扱説明書』

## ▶ Nero 7 Essentialsの使い方

<書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時>

ライティングソフト「Nero 7 Essentials」を使用すると、CDメディアやDVDメディアにデータや音楽、画像などのファイルを書き込むことができます。



制限

「Nero 7 Essentials」と Windows Vista 標準の書き込み機能を同時に使用しないでください。

2

### 使い方

Nero 7 Essentialsの起動方法は次のとおりです。

- 1 デスクトップ上の次の「Nero」アイコンをダブルクリックします。



- 2 「Nero 7 Essentials」画面が表示されます。



Nero 7 Essentialsの詳しい使い方は、「マニュアルびゅーわ」に登録されている『Nero ユーザーガイド』をご覧ください。

## InCD

メディアをパケットライトソフト「InCD」でフォーマットすると、ドラッグアンドドロップするだけでデータの書き込みを行うことができます。

パケットライトでメディアに書き込むには、「InCD」でメディアをフォーマットする必要があります。

「InCD」の詳しい使い方は、「マニュアルびゅう」に登録されている『InCD ユーザーマニュアル』をご覧ください。



- 「InCD」で使用できる光ディスクメディアは、CD-RW、DVD±RW、DVD-RAMのみです。
- 「InCD」でフォーマットしたメディアは「Nero 7 Essentials」で書き込みを行うことはできません。書き込みを行う場合は、「Nero 7 Essentials」で「ディスクの消去」を行ってください。

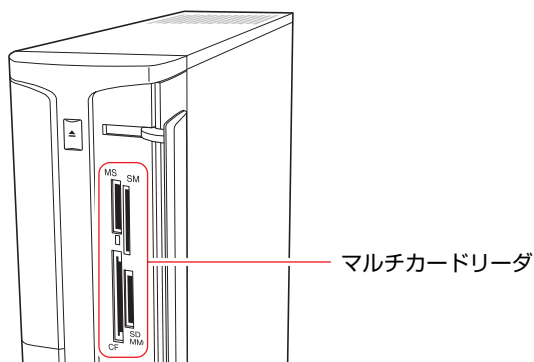
## 有償アップデートについて

本機にインストールされている「Nero 7 Essentials」は、Nero製品版「Nero 7 Premium」に特別優待価格でアップグレードすることができます。アップグレードをご希望の方は、デスクトップの「Neroオンラインアップグレード」から申し込みを行ってください。



# マルチカードリーダーを使う

本機前面のフロントドアを開くと、マルチカードリーダーが装備されています。本機のマルチカードリーダーでは、5種類のメモ리카ードを使用することができます。

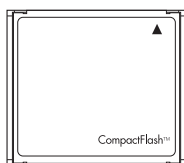


2

## ▶使用可能なメモ리카ード

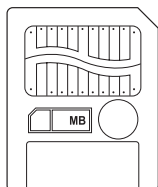
本機で使用できるメモ리카ードは次の5種類です。イラストはイメージです。

- コンパクトフラッシュ (Compact Flash)



モデム、LAN、PHS カードなどのI/Oカードは使用できません。

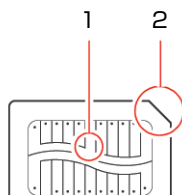
- スマートメディア (Smart Media)



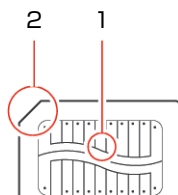
3.3Vタイプ (3Vと表示されているのも可) のみサポートしています。5Vタイプのカードは使用できません。

### 使用できるスマートメディアの見分け方

- 1 端子の様様に、一部切れているところがある。
- 2 切り欠きが右にある。



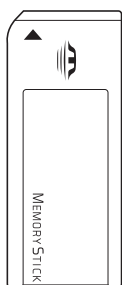
<使用できるメディア>



<使用不可の5Vタイプ>

- スマートメディアの端子部が汚れていると、読み取りエラーが発生する原因になります。端子部を指で触れたりしないようにしてください。
- ID付きのスマートメディアも使用できますが、ID機能には対応していないため、著作権保護機能のある音楽データなどは読み書きできません。
- ROMカードには対応していません。

### ●メモリスティック (Memory Stick)



- マジックゲート付きのカード (白色) も使用できますが、マジックゲート機能には対応していないため、著作権保護機能のある音楽データなどは読み書きできません。
- メモリ以外のI/Oカード (GPS用など) は使用できません。

### ●SDメモリーカード (SD Memory Card)



- Secure Digital 機能には対応していないため、著作権保護機能のある音楽データなどは読み書きできません。
- SD I/OカードおよびSD Comboカードは使用できません。
- SDHCメモリーカードは使用できません。

- マルチメディアカード (Multi Media Card)




- Keitaide-Music対応カードも使用できますが、Keitaide-Music機能 (UDAC-MBプロトコル) には対応していないため、著作権保護機能のある音楽データなどは読み書きできません。
- マルチメディアカードは、読み取り速度や書き込み速度が、ほかのカードに比べて遅くなります。これはカードの規格による制限です。

## ▶マルチカードリーダー使用時の注意

マルチカードリーダーを使用する場合は、次の点に注意して正しく使用してください。

- マルチカードリーダーのアクセスランプ点滅中にメモリカードを取り出したり、コンピュータ本体の電源を切ったり、再起動したりしないでください。メモリカード内のデータが破損する恐れがあります。コンピュータの電源を切る場合やコンピュータを再起動する場合は、必ずメモリカードを取り出してから行ってください。
- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のソフトウェアが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。
- データをメモリカードに書き込み途中で、コンピュータが省電力状態に移行するなどして電源の供給が停止すると、メモリカードに不具合が発生する可能性があります。メモリカードを使用するときは、省電力機能に移行しないように設定してください。

 p.116 「省電力状態に移行する方法」

## メモ리카ードのフォーマット

メモ리카ードのフォーマットは、必ずメモ리카ードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモ리카ードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

## ▶メモ리카ードのセットと取り出し

メモ리카ードのセットと取り出し方法、割り当てられるドライブについて説明します。

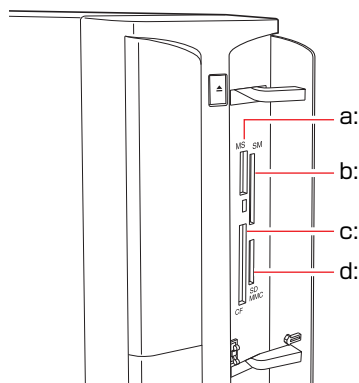


- 本機にメモ리카ードをセットした状態で電源を入れたり、再起動したりすると、Windows が起動しないことがあります。メモ리카ードはWindows 起動後にセットしてください。
- Windowsが起動した状態でのメモ리카ードの取り出しは、[スタート] – 「コンピュータ」から行ってください。通知領域の「取り外し」アイコンから停止処理を行うと、Windowsを再起動するまでマルチカードリーダーが認識されなくなります。

### セット方法

メモ리카ードのセット方法は次のとおりです。

#### 1 使用するメモ리카ードのスロット位置を確認します。



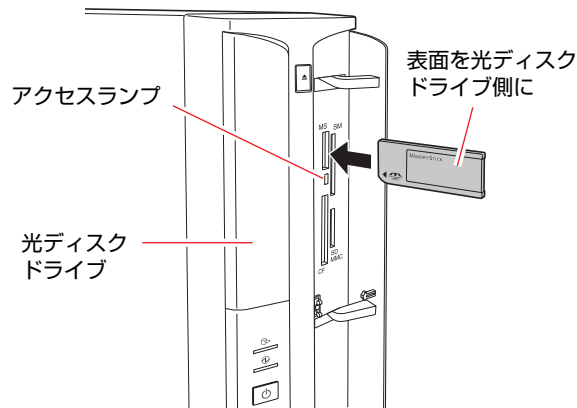
- a: メモリースティックスロット MS
- b: スマートメディアスロット SM
- c: コンパクトフラッシュスロット CF
- d: SDカードスロット  $\begin{matrix} \text{SD} \\ \text{MMC} \end{matrix}$   
SDメモリーカードとマルチメディアカード用スロットです。



## 2 メモリカードの表面を光ディスクドライブ側に向け、対応するスロットにカードが止まるまで押し込みます。

メモリカードの表面は、p.85 「使用可能なメモリカード」で確認してください。

正しくセットされるとアクセスランプが点灯します。



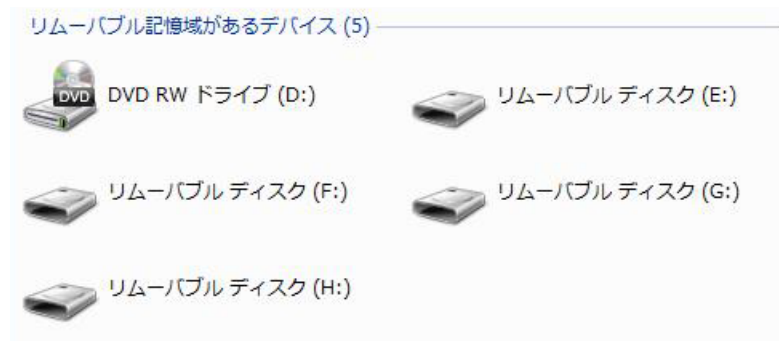
メモリカードによっては、カードの一部がスロットから数cm出たままのものもあります。

### メモリカードのドライブ

メモリカードの各ドライブは、光ディスクドライブがDドライブの場合、E~Hドライブに割り当てられます。

- Eドライブ：コンパクトフラッシュ
- Fドライブ：スマートメディア
- Gドライブ：メモリースティック
- Hドライブ：SDメモリーカード/マルチメディアカード

[スタート] - 「コンピュータ」には、次のように表示されます。



メモリカードによっては、「リムーバブルディスク」ではなく、カードの名称が表示されます。

## 取り出し方法

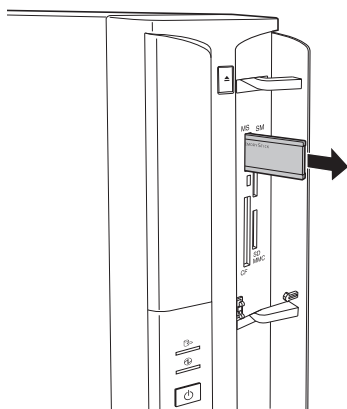
メモ리카ードの取り出し方法は、次のとおりです。

- 1 **【スタート】 - 「コンピュータ」 - 「リムーバブルディスク」を右クリックし、「取り出し」をクリックします。**

マルチカードリーダーのアクセスランプが点滅していないことを確認し、メモ리카ードを取り出します。



- 2 **メモ리카ードを引き抜きます。**



# USB機器を使う

本機には、USB2.0に対応したUSBコネクタが、前面に2個、背面に4個用意されています。USBコネクタにはUSB対応の機器を接続します。6個のUSBコネクタは同じ機能ですので、どのコネクタを使用してもかまいません。

## USB2.0の転送速度

USB2.0のデータの転送速度は、最大480Mbpsです。USB2.0コントローラは、USB2.0コネクタに接続するすべての周辺機器で共用します。そのため、転送速度は接続する周辺機器が増えると低下します。

## ▶USB機器の接続と取り外し

USB機器の接続、取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

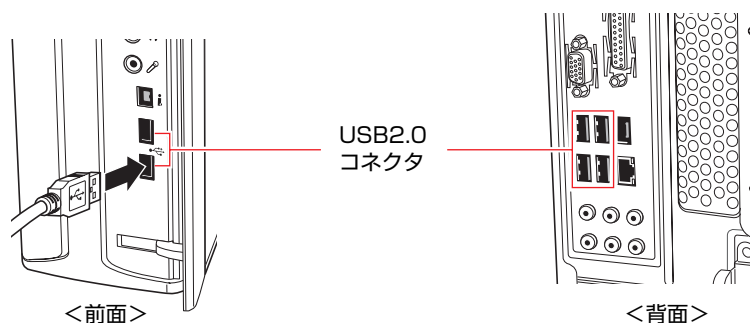


USB フラッシュメモリや USB HDD などの USB 記憶装置を接続した状態で本機の電源を入れると、Windows が起動しないことがあります。USB 記憶装置は、Windows 起動後に接続してください。

## 接続

USB機器は、次のように接続します。

- 1 USB機器のUSBコネクタを、本機のUSB2.0コネクタに接続します。



本機では、通知領域に「取り外し」アイコンが常に表示されています。



<取り外しアイコン>

## 取り外し

USB機器の取り外しには、一般的に次の2つの方法があります。

- 通知領域に「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った後、USB機器を取り外す。
- 通知領域に「取り外し」アイコンが表示されている場合に、Windows上でUSB機器の終了処理をした後、取り外す。

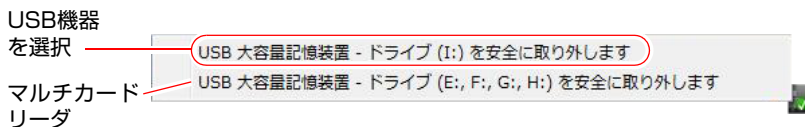
USB機器の終了処理は、次の手順で行います。

- 1** 開いているファイルを閉じます。  
ファイルを閉じないと、終了処理できません。
- 2** 通知領域の「取り外し」アイコンをクリックします。



<取り外しアイコン>

- 3** 表示されたメニューから「(取り外したいUSB機器) - . . . を安全に取り外します」を選択します。



誤ってマルチカードリーダーを停止させないように注意してください。

- 4** 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、[OK] をクリックし、USB機器を本機から取り外します。

# 画面表示機能を使う

本機のメインボード上には画面表示機能が搭載されています。

ここでは、メインボード上の画面表示機能に関する各種設定方法について説明します。

オプションでADD2ボードやビデオボードを購入された場合は、ボードに添付のマニュアルをご覧ください。

## ▶表示できる解像度と表示色

本機のディスプレイ機能で表示可能な解像度と表示色は、次のとおりです。



- 接続しているディスプレイによっては正常に表示できない解像度や表示色もあります。
- 解像度や、表示色が高いと、動画ソフトなどを再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を下げてください。
- ワイドディスプレイをお使いの場合は、画面の解像度を1280×768ピクセルに設定してください。ワイドディスプレイは画面の縦横比が通常のディスプレイと異なるため、1280×768ピクセル以外の解像度に設定すると、画像が正常に表示されません。
- 本機では、次の解像度以外の解像度を選択することもできますが、それらの設定に関しては保証していません。

### 解像度 (ピクセル)

- 800×600
- 1024×768
- 1280×768 (ワイドディスプレイ接続時のみ)
- 1280×1024
- 1600×1200 (アナログディスプレイ接続時のみ)

### 表示色


- 中 (16ビット)
- 最高 (32ビット)

## 解像度や表示色の変更方法

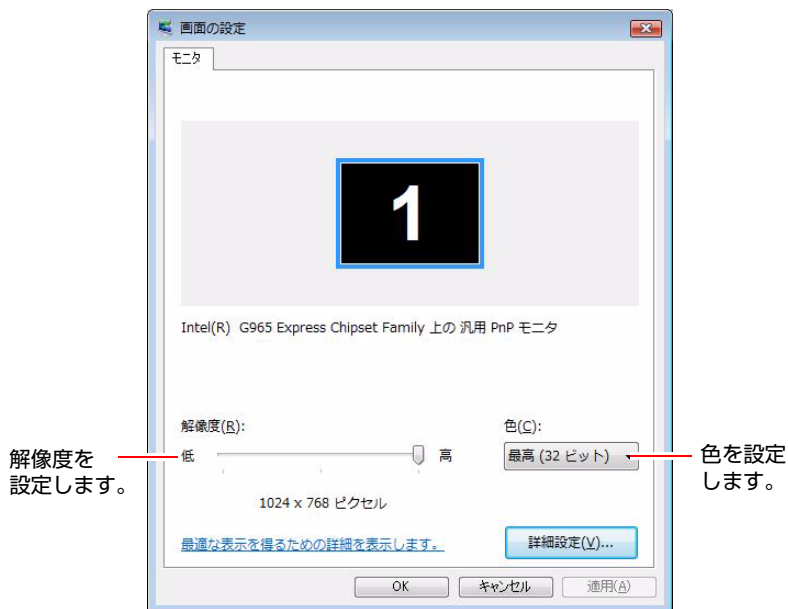


### セーフモードでの起動

接続しているディスプレイの設定が正しくない場合や、本機のディスプレイ機能では表示できない解像度を選択した場合、Windowsが再起動したときに画面が乱れる、何も表示されないなどの現象が起こることがあります。このような場合は、セーフモードで再起動して再設定を行ってください。

 p.214 「セーフモードでの起動」

- 1 [スタート] - 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「個人設定」 - 「画面の設定」をクリックします。
- 2 「画面の設定」画面が表示されたら、「解像度」や「色」などの項目を設定したい内容に変更します。

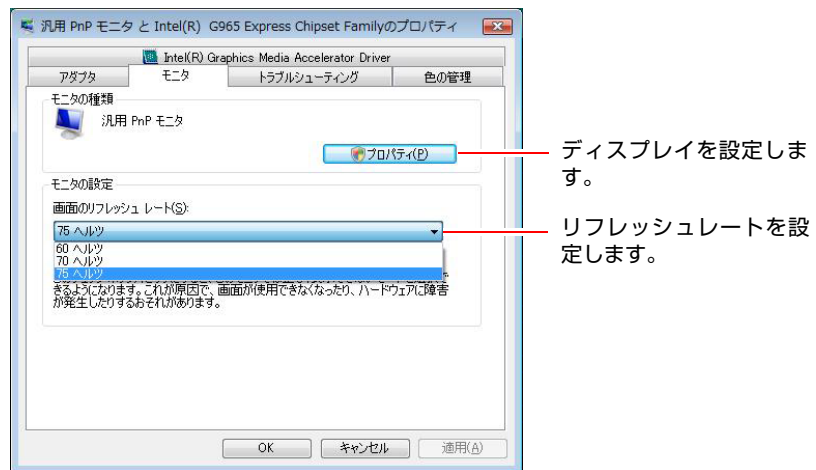


- 3 項目を変更したら、[適用] をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

## ▶表示装置に関する設定

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「デスクトップのカスタマイズ」 - 「個人設定」 - 「画面の設定」をクリックすると、「画面の設定」画面が表示されます。

「画面の設定」画面で [詳細設定] をクリックして表示された画面の「モニタ」タブで、次の設定を行うことができます。



### ディスプレイの設定

通常、接続しているディスプレイは自動的に検出されて設定されますが、接続しているディスプレイによっては正しく設定されない場合があります。その場合は [プロパティ] をクリックして設定を行ってください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

### リフレッシュレートの設定

画面がちらつく、文字がにじむといった現象が起こるときは、リフレッシュレートの設定を変更できるディスプレイの場合、リフレッシュレートを調節すると問題が解決することがあります。

詳しくは、「Windowsヘルプとサポート」の「モニタの表示を最適にする」をご覧ください。

# サウンド機能を使う

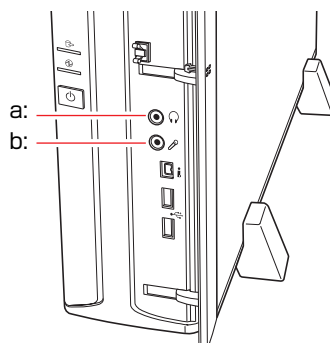
本機のメインボード上には、7.1chサラウンド対応のサウンド機能が搭載されています。7.1chに対応したスピーカを接続すると、臨場感のあるサウンドを楽しむことができます。


本機にスピーカは内蔵されていません。本機からの音声を出力するには、スピーカを接続する必要があります。


## ▶外部オーディオ機器などの接続

本機には、スピーカやマイクなどのオーディオ機器を接続するためのサウンドコネクタが装備されています。各コネクタの位置は、次のとおりです。オーディオ機器の接続方法については、オーディオ機器に添付されているマニュアルをご覧ください。

### 前面側

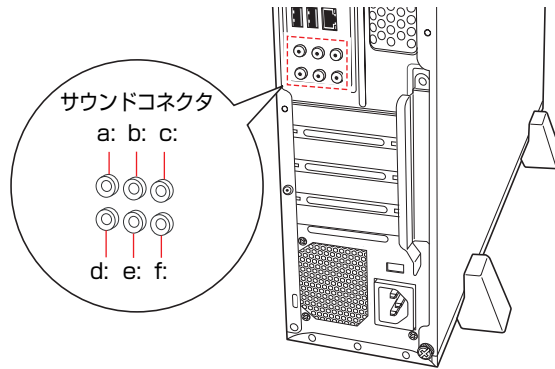


a: ヘッドフォン出力コネクタ   
スピーカやヘッドフォンと接続して音声を出力します。

b: マイク入力コネクタ   
マイクを接続して音声を入力します。



## 背面側

**a: サイドスピーカ出力コネクタ**

サイドスピーカと接続して音声を出力します。

**b: リアスピーカ出力コネクタ**

リアスピーカと接続して音声を出力します。

**c: センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ**

センタースピーカやサブウーファスピーカと接続して音声を出力します。

**d: マイク入力コネクタ**

マイクと接続して音声を入力します。

**e: フロントスピーカ/ライン出力コネクタ**

フロントスピーカやヘッドホンなどと接続して音声を出力します。通常のスピーカは、このコネクタに接続します。

**f: ライン入力コネクタ**

オーディオ機器と接続して音声を入力します。

**参考**
**使用できるマイク**

マイク入力コネクタに接続して使用できるマイクは、電源を必要とするコンデンサーマイクです。

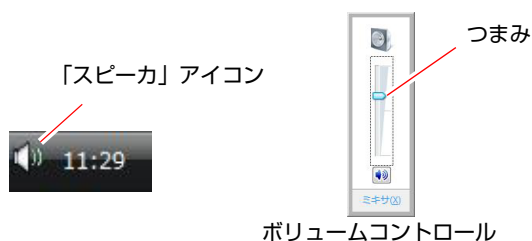
コンデンサーマイクには、次の2種類があります。

- コンセントなどから、電源供給するタイプ
- 乾電池やコンピュータから、電源供給するタイプ

## ▶音量の調節

---

スピーカを接続していて、Windows起動時に音が鳴らなかったり、音が小さすぎたり、大きすぎたりする場合は、次の方法で音量を調節します。画面右下の通知領域に表示されている「スピーカ」アイコンをクリックすると、「ボリュームコントロール」が表示されます。つまみを上下にドラッグして調節します。



## ▶音声の再生・録音

---

Windows標準のサウンドユーティリティを使うと、音声の再生・録音をすることができます。

### 音声の再生

音声の再生は、「Windows Media Player」を使用します。「Windows Media Player」は、次の場所から起動します。

[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「Windows Media Player」

### 音声の録音

音声の録音は、「サウンドレコーダー」を使用します。「サウンドレコーダー」は、次の場所から起動します。

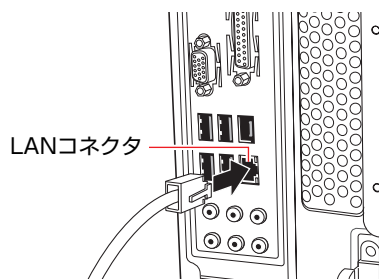
[スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「サウンドレコーダー」

# ネットワーク機能を使う

本機のメインボード上には、1000Base-T/100Base-TX/10Base-Tに対応したネットワーク機能（有線LAN）が搭載されています。

ネットワーク機能を使用すると、ネットワークを構築したり、インターネットに接続したりすることができます。

ネットワーク機能を使用する場合は、本機背面のLANコネクタに市販のLANケーブルを接続します。



2


## ▶ネットワークの構築

ネットワークを構築するには、ほかのコンピュータと接続するために、LANケーブルやハブ（サーバ）などが必要です。そのほかに、Windows上でネットワーク接続を行うためには、プロトコルの設定などにも必要になります。

ネットワークの構築方法は、お使いになるネットワーク機器に添付のマニュアルなどをご覧ください。




制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態になると、省電力状態からの復帰時にサーバから切断されてしまうことがあります。このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
  - ・ 再起動する。
  - ・ 省電力状態に移行しないように設定する。  
 p.116 「省電力状態に移行する方法」
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態へ復帰できない場合があります。

## ▶インターネットへの接続

インターネットへ接続する場合は、次をご覧ください。

 p.101 「インターネットに接続するには」

## ▶主な機能について

---

本機では、ネットワークを構築して接続環境を整えると、Wakeup On LANやリモートブートなどの機能を使用できます。

### Wakeup On LAN

Wakeup On LANとは、電源切断時にネットワークからの信号により本機を復帰させることができる機能です。この機能は、Windowsを正常にシャットダウンした場合にのみ使用可能です。

### リモートブート

リモートブートを使用すると、コンピュータ側のHDDにWindowsがインストールされていなくても、ネットワークを介して、サーバ上からWindowsを起動することができます。


RAID構成時は、リモートブートを使用できません。

## ▶ネットワークボードを使用する

---

本機のメインボード上のネットワーク機能ではなく、ネットワークボードを装着して使用することができます。ネットワークボードを使用する場合は、「BIOS Setupユーティリティ」でメインボード上のネットワーク機能を「Disabled」（無効）に設定してください。

ネットワークボードを本機と同時購入された場合は、あらかじめ「Disabled」（無効）に設定されています。

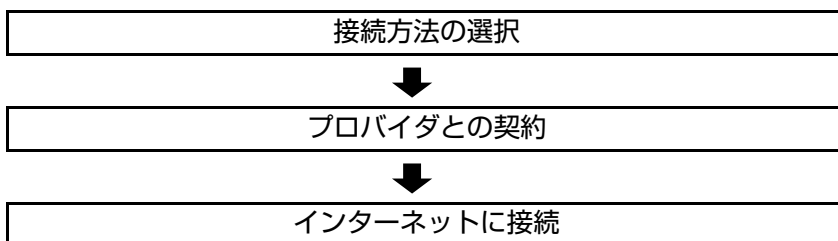
 p.164 「Advancedメニュー画面」－「Onboard Devices Configuration」－「Onboard PCIE GbE LAN」

# インターネットに接続するには

ホームページを見たり、電子メールをやり取りしたりするためには、インターネットへの接続が必要です。ここではインターネットへの接続方法やインターネットを利用する上での注意事項について説明します。

## ▶接続するまでの流れ

インターネットに接続するまでの流れは、次のとおりです。



2

## ▶接続方法の選択とプロバイダとの契約

インターネットに接続するには、接続方法を決め、その接続サービスを提供しているプロバイダ（インターネットサービスプロバイダ、ISP）と契約します。接続方法は、目的や使い方に合わせて選択しましょう。また、同じような接続方法でも、通信速度や料金、サポート内容はプロバイダによって異なります。詳細は、各プロバイダに確認してください。

### 接続方法の種類

高速なインターネット接続をブロードバンドと呼び、光ファイバー、ADSL、CATVなどでの接続がそれにあたります。また、アナログ電話回線、ISDNなどでの低速な接続をナローバンドと呼びます。

接続方法	接続環境	インターネットでの通信速度イメージ
光ファイバー	ブロードバンド	
ADSL		
CATV		
ISDN	ナローバンド	
PHS		
携帯		
アナログ		

遅い 速い

インターネットへの主な接続方法は、次のとおりです。

- **光ファイバー**

ほかのブロードバンド接続と比べても、数段に速く安定しているため、映像などの大量のデータ転送も無理なくできます。また、インターネットと合わせてテレビや電話も利用することができます。

ただし、非対応の地域があります。

- **ADSL**

電話回線を利用します。インターネットをストレスなく使えます。通信速度は、プロバイダのプランから使い方に合わせて選ぶことができます。

利用電話局からの距離が遠くなるにつれ速度が遅くなってしまいますので、事前に速さの確認をする必要があります。

- **CATV**

ケーブルテレビのケーブルを利用します。インターネットをストレスなく使えます。

- **そのほかの接続方法（ナローバンド）**

アナログ電話回線やISDN回線を使った低速な接続方法があります。

---



### ダイヤルアップ接続

ブロードバンドは常時接続が一般的ですが、ナローバンドでは、必要時に電話回線を通じてインターネットに接続します。この作業をダイヤルアップ接続と呼びます。

---

## 必要な機器

インターネット接続に必要な機器は、接続方法によって異なります。詳しくは、各プロバイダにお問い合わせください。

---

## ▶インターネットに接続する

---

プロバイダとの契約を完了すると、メールアドレスやパスワードなどのインターネット接続に必要な情報と、接続手順を記載した説明書がプロバイダより提供されます。説明書に従って接続作業を行ってください。

---



### 再インストール後のインターネット接続

Windowsを再インストールした場合は、インターネットへの接続作業が再度必要になります。プロバイダからの情報や説明書は、失くさないように大切に保管してください。

---

## ▶インターネットを使う上での注意

インターネットを利用すると、簡単に情報を得ることができたり、手軽にメッセージを送ったりすることができますが、その反面注意しなければならないことがあります。

次の点に気をつけてインターネットを使用してください。

- 電子メールは、途中経路の障害などにより、届かない場合もあります。
- 電子メールは、世界中の多くのコンピュータを経由して届けられるため、第三者に内容を見られる可能性があります。
- インターネット上の情報は、必ずしも正しいとは限りません。正しい情報であるかを充分に見極めて、有効に活用する必要があります。
- 安易に個人情報をホームページに掲載したり、電子メールで送ったりすると、悪用されることがあります。また、他人の個人情報を断りなくホームページに掲載したり、電子メールで送ったりすると法律で罰せられます。
- ホームページからダウンロードするデータによっては、コンピュータが障害を被ることがあります。
- コンピュータウイルスに感染すると、コンピュータが障害を被る可能性があります。また、無許可のユーザーにインターネットを介して本機にアクセスされる可能性もあります。

ウイルスに感染する主な原因は次のとおりです。

- ・ ウイルスが添付されたメールを受信する
- ・ 悪質なプログラムが起動するホームページを閲覧する

ウイルス感染から本機を守る方法については、p.106 「インターネットを使用する際のセキュリティ対策」をご覧ください。

## ▶インターネットや電子メールを利用する

本機では、次のソフトウェアを使用してインターネットや、電子メールを利用します。

- ホームページの閲覧：Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）
- 電子メールの利用：Windowsメール

各ソフトウェアの使用方法は、次をご覧ください。



「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」

## Windowsメールの初期設定

Windowsメールをはじめて起動した際は、初期設定を行います。

初期設定では、メールアドレスなどの接続に必要な情報を入力します。これらの情報は、プロバイダから提供された説明書をご覧ください。

初期設定方法は次のとおりです。

- 1** 「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「Windowsメール」をクリックします。
- 2** 「名前」と表示されたら、名前を入力して「次へ」をクリックします。
- 3** 「インターネット電子メールアドレス」と表示されたら、プロバイダから取得したメールアドレスを入力して「次へ」をクリックします。
- 4** 「電子メールサーバーのセットアップ」と表示されたら、プロバイダから指定されている受信メールサーバと送信メールサーバを入力して「次へ」をクリックします。
- 5** 「インターネットメールログオン」と表示されたら、プロバイダから指定されているユーザー名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。
- 6** 「設定完了」と表示されたら、「完了」をクリックします。



### 参考

設定を変更する

一度行った設定は、次の場所から変更することができます。

「ツール」メニュー - 「アカウント」 - 「追加」 - 「電子メールアカウント」

---



## Internet Explorerで情報バーが表示されたら

購入時のInternet Explorerは、セキュリティ強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう設定されています。Internet Explorer使用时、情報バーに警告が表示されたら、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処をしてください。



<画面はイメージです>

## 便利な追加機能について

- JWord

「JWord」を使うと、アドレスバーを利用して、簡単に検索ができます。

JWordの詳しい使い方については、デスクトップ上にあるアイコンをダブルクリックしてください。



- gooスティック

Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスが設定されています。「gooスティック」を使うと、検索機能や辞書機能をいつでも利用することができます。

# インターネットを使用する際のセキュリティ対策

本機には、コンピュータウイルス感染や不正アクセスなど、インターネットに接続した場合の危険に対するセキュリティ機能が備えられています。

ここでは、このセキュリティ機能について説明します。インターネットに接続する場合は、本機の安全を守るため、必ずセキュリティ対策を行ってください。

## ▶ Windows Update

「Windows Update」は、本機のWindowsの状態を確認し、Windowsの更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windowsを最新の状態にするため、Windows Updateを行ってください。

### 自動更新の設定

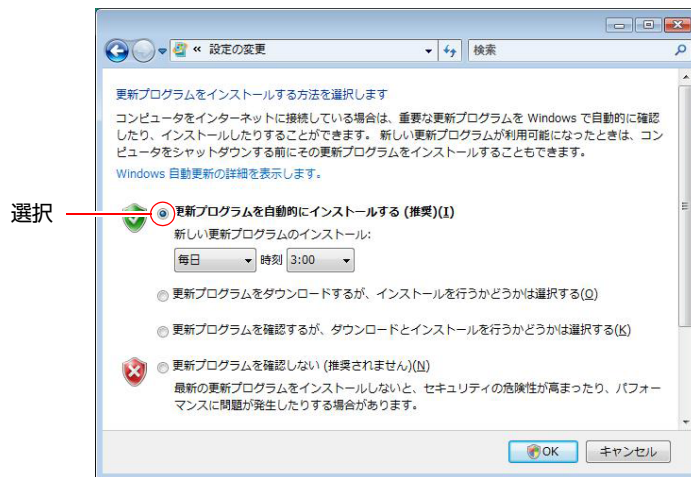
本機を使用する際は、自動でWindows Updateが行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、インターネットに接続時、更新プログラムが自動的にダウンロードされ、設定時刻に自動でインストールされます。

Windowsのセットアップ時に「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」画面で「推奨設定を使用します」を選択した場合は、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

[スタート]－[すべてのプログラム]－[Windows Update]－[設定の変更]



## 手動で更新プログラムをインストールする

重要度の高い更新プログラムは自動更新でインストールされますが、それ以外の更新プログラムは手動でインストールする必要があります。

更新プログラムがダウンロードされると、画面右下の通知領域に「Windows Update」アイコンが表示されます。



<Windows Updateアイコン>

アイコンをクリックして表示される「Windows Update」画面で更新プログラムを確認し、必要に応じてインストールを行ってください。

## ▶セキュリティソフトウェア

コンピュータウイルスは、インターネット上やメールの添付ファイルなどから感染する悪意のあるプログラムです。

コンピュータウイルスに感染すると、本機の動作が不安定になったり、保存してあるファイルが破壊されるなどの被害が発生します。

ウイルス感染を防ぐために、必ずウイルス対策を行ってください。

### Norton Internet Security 90日版を使う

本機には、ファイアウォールやウイルス対策機能、フィッシング詐欺検出機能を備えた「Norton Internet Security 90日版」が添付されています。「Norton Internet Security 90日版」の使い方は、本機に添付の『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』をご覧ください。



#### 更新サービスの有効期限

本機に添付の「Norton Internet Security 90日版」は、製品版ではありません。更新サービスの有効期限は、セットアップ後90日間です。90日経過後は、更新サービスの延長キー（有償）を購入すると、1年間使用可能です。更新サービスについての詳細は、『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』をご覧ください。

### 市販のセキュリティソフトウェアを使う

市販のセキュリティソフトウェアを使用する場合は、ソフトウェア同士の競合を防ぐため、本機に添付の「Norton Internet Security 90日版」をインストールしないでください。

インストールしていた場合は、アンインストール（削除）してください。アンインストール方法については、本機に添付の『セキュリティソフトウェアをご使用の前に』をご覧ください。

## ▶ファイアウォール

インターネットに接続していると、不正なアクセスにより、本機のデータやプログラムを勝手に見られたり、改ざんや破壊されたりする可能性があります。「ファイアウォール」は、これらの不正アクセスを検出し、遮断する機能です。不正アクセスを遮断するため、必ずファイアウォール機能を使用してください。

### Norton Internet Security 90日版のファイアウォール機能

本機に添付の「Norton Internet Security 90日版」には、ファイアウォール機能が備えられています。「Norton Internet Security 90日版」をインストールすると、自動的にファイアウォール機能が有効になります。そのままお使いください。

### Windowsファイアウォールの設定

本機には、Windowsのファイアウォール機能が備えられています。本機の状態によって、Windowsファイアウォールを次のように設定してください。

#### <ファイアウォール機能を持つソフトウェアを使用している場合>

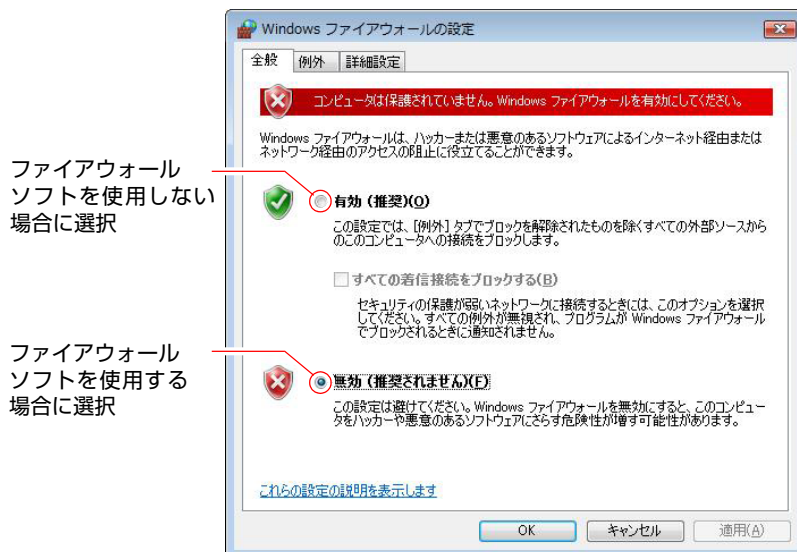
ファイアウォール同士の競合を防ぐため、Windowsファイアウォールを「無効」に設定してください。ソフトウェアによっては、Windowsファイアウォールが自動で「無効」に設定される場合があります。

#### <ファイアウォール機能を持つソフトウェアを使用しない場合>

Windowsファイアウォールを「有効」に設定してください。

Windowsファイアウォールの有効/無効の設定は、次の場所から行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「セキュリティ」 - 「Windows  
ファイアウォール」 - 「設定の変更」



## ▶ Windows Defender

Windows Vistaには、スパイウェアやその他のマルウェア（悪意のあるソフトウェア）を検出したり、駆除したりするツール「Windows Defender」が備えられています。

「Norton Internet Security 90日版」などのスパイウェア対策機能を持つソフトウェアを使用している場合は、機能が重複するため、Windows Defenderが自動で「無効」に設定される場合があります。この場合は、そのまま使用してください。スパイウェア対策機能を持つソフトウェアなどを使用しない場合は、Windows Defenderを使用してください。

Windows Defenderは次の場所から起動します。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「セキュリティ」 - 「Windows  
Defender」

## ▶フィッシング詐欺検出機能

フィッシング詐欺とは、金融機関などのメールやホームページを装い、ユーザーに暗証番号やクレジットカード番号を入力させて、個人情報を搾取する詐欺のことです。

本機には、「フィッシング詐欺検出機能」が搭載されています。セキュリティを守るため、機能を使用してください。

### Norton Internet Security 90日版のフィッシング詐欺検出機能

本機に添付のセキュリティソフト「Norton Internet Security 90日版」には、フィッシング詐欺検出機能が備えられています。機能を「有効」にしてお使いください。

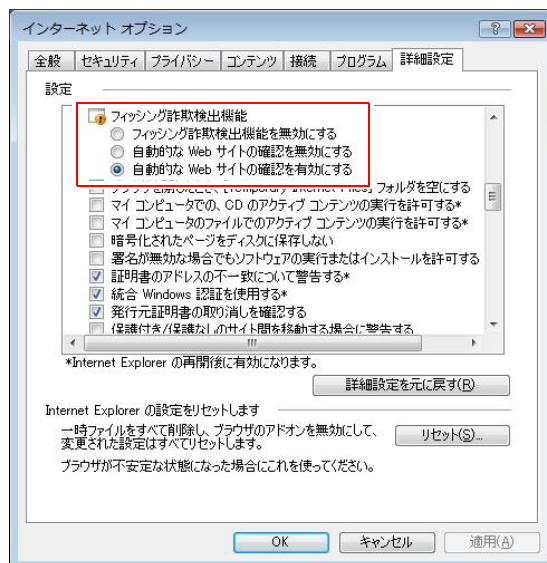
### Internet Explorerのフィッシング詐欺検出機能

ホームページ閲覧ソフト「Internet Explorer」には、フィッシング詐欺検出機能が備えられています。「Norton Internet Security 90日版」などのフィッシング詐欺検出機能を「有効」にしている場合は、機能が重複するため、Internet Explorerの機能が自動で「無効」に設定される場合があります。そのまま使用してください。

フィッシング詐欺検出機能を持つソフトウェアなどを使用しない場合は、Internet Explorerの機能を「有効」に設定してください。

Internet Explorerのフィッシング詐欺検出機能の有効／無効の設定は、次の場所で行います。

#### Internet Explorerの「ツール」－「フィッシング詐欺検出機能」－「フィッシング詐欺検出機能の設定」－「詳細設定」タブ－「フィッシング詐欺検出機能」



# 電源設定を行う (省電力機能を使う)

ここでは、本機の電源の設定について説明します。

## ▶電源プランの設定

本機には、次の3つの電源プランが用意されています。電源プランの選択により電力消費を抑えたり、パフォーマンスを優先させたりすることができます。使い方に合わせた電源プランを選択して本機を使用してください。

- バランス

パフォーマンスと電力消費のバランスを考えたプランです。

- 省電力

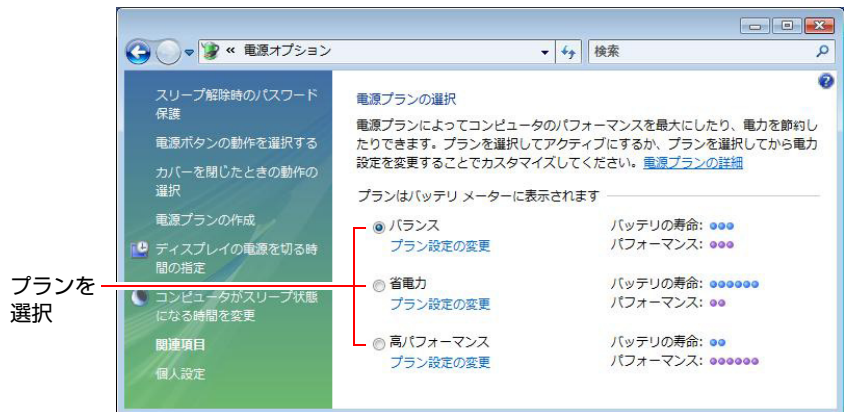
コンピュータの電力消費を抑えるプランです。パフォーマンスは低下します。

- 高パフォーマンス

電力消費は抑えずに、パフォーマンスを優先させるプランです。

電源プランの選択は、次の場所から行います。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」

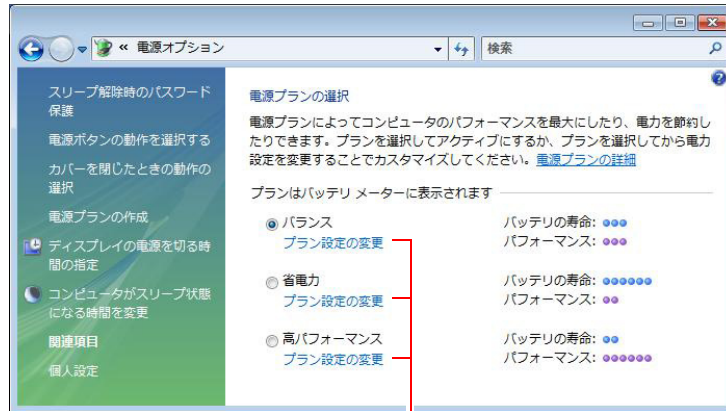


購入時は、「バランス」に設定されています。




## 電源プランの内容変更

電源プランの内容（省電力の設定など）は、変更することができます。変更は、各プランの「プラン設定の変更」から行います。



プラン内容の変更

「プラン設定の変更」では、本機が省電力状態に移行するまでの時間の設定などを行うことができます。

 p.116 「省電力状態に移行する方法」

## ▶本機を省電力状態にする

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

ここでは、省電力状態に移行する方法や、省電力状態からの復帰方法について説明します。


### 省電力状態へ移行する際の制限


省電力状態に移行する際には、次のような制限事項があります。移行する前に、必ず確認してください。

- 周辺機器を接続している場合やアプリケーションを起動している場合などに、省電力状態に移行しないことがあります。
- ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行すると、正常に通常の状態に復帰できない場合があります。
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバから切断されてしまうことがあります。

このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。

- 再起動する。
- 省電力状態に移行しないように設定する。

 p.116 「省電力状態に移行する方法」

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書など）は保存しておいてください。
- ネットワーク機能などを使って通信を行っている場合は、省電力状態に移行しないでください。通信が切断されることがあります。
- サウンド機能を使って録音・再生している場合に、省電力状態に移行するとサウンド機能が正常に動作しない可能性があります。
- 光ディスクメディアやメモリカードなどへの書き込み中に省電力状態に移行すると、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを行う場合は、省電力状態に移行する設定を無効にしてください。  
 p.116 「省電力状態に移行する方法」
- 省電力状態でメモリカードの抜き差しを行わないでください。システムが正常に作動しなくなる場合があります。

### 省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- **ディスプレイの電源を切る**  
省電力の効果はスリープ状態より低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。
- **スリープ状態**  
作業内容をメモリとHDDに保存し、本機を低電力の状態にします。ディスプレイの表示が消え、電源ランプが点滅します。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。
- **休止状態**  
作業内容をHDDに保存し、本機を低電力の状態にします。ディスプレイの電源が切れ、電源ランプが消灯します。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

## 休止状態を有効にする

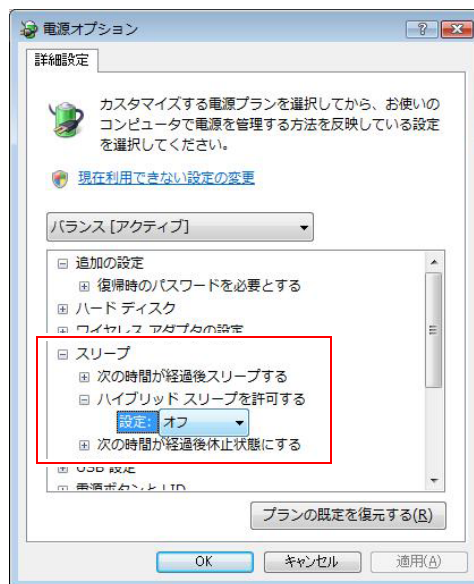
購入時の本機は、休止状態が無効に設定されています。休止状態を有効にするには、次の設定を行ってください。



休止状態を有効にした場合、スリープ状態に移行すると、作業内容はメモリのみに保存されるようになり、HDDには保存されなくなります。

休止状態を有効にする方法は次のとおりです。

- 1 p.113 「電源プランの内容変更」で、休止状態を有効にしたいプランの「プラン設定の変更」をクリックし、「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
- 2 「スリープ」－「ハイブリッドスリープを許可する」を「オフ」に設定します。
- 3 [OK] をクリックします。



## ▶省電力状態に移行する方法

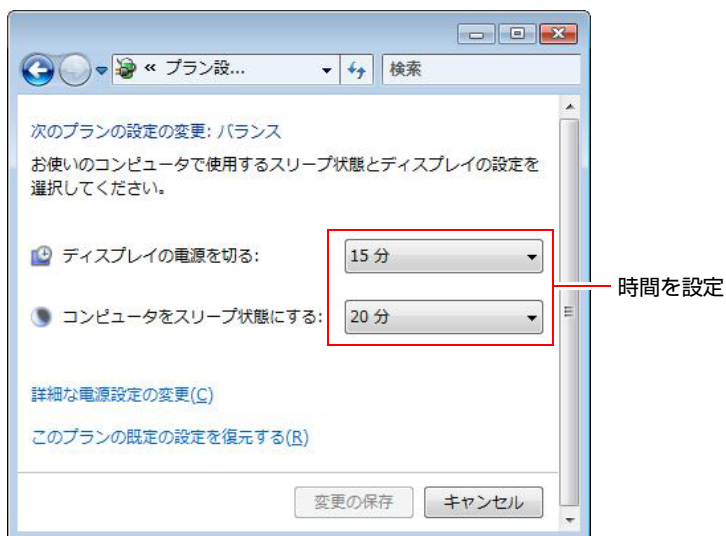
本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

### 時間経過で移行する

本機を操作しない状態で、「電源プラン」で設定されている時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。購入時の設定では、まずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと、続いて本機がスリープ状態になります。

省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、本機をスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 各プランの「プラン設定の変更」




#### 時間経過で移行させない

光ディスクメディアへ書き込みを行う場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間を全て「なし」に設定してください。

## 直ちに移行する

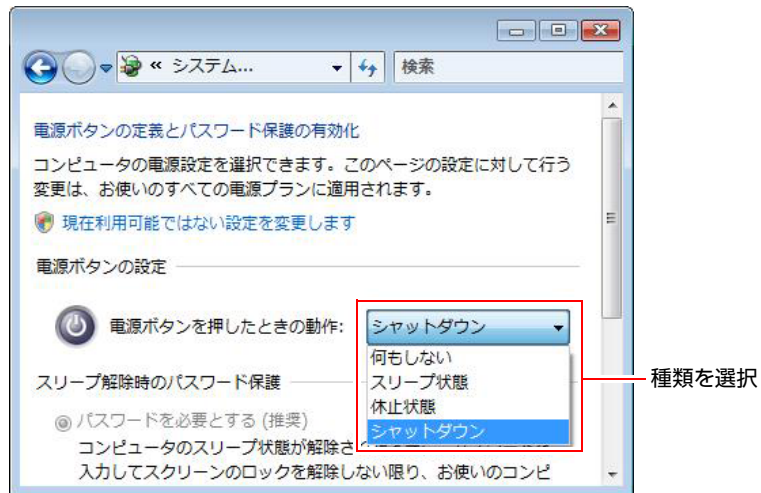
次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。


操作	省電力状態の種類
[スタート] - [⏻] をクリックする	スリープ状態（購入時の設定）
キーボードのSleepキー（  ）を押す	スリープ状態
[スタート] - [▶] から項目を選択する	スリープ状態、休止状態*、シャットダウン

\*購入時は表示されません。


電源スイッチを押したときにも、省電力状態に移行することができます。設定は、次の場所から行います。

[スタート] - [コントロールパネル] - 「システムとメンテナンス」 - 「電源オプション」 - 画面左側の「電源ボタンの動作を選択する」



休止状態に設定したい場合は、 p.115 「休止状態を有効にする」を参照して休止状態を有効にしてください。

## 電源ランプの表示

本機の電源の状態は、電源ランプ（）で確認できます。

電源の状態	電源ランプの表示
通常の状態	点灯
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯
スリープ状態	点滅
休止状態	消灯
電源切断時（シャットダウン時）	消灯

## 省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。


省電力状態	電源ランプの表示	復帰方法
ディスプレイの電源が切れている状態	点灯	マウスやキーボードを操作する（誤って電源スイッチを押さないでください）
スリープ状態	点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>マウスを操作する（USB接続の場合）</li><li>電源スイッチを押す</li><li>キーボードのPowerキーを押す</li></ul>
休止状態	消灯	<ul style="list-style-type: none"><li>電源スイッチを押す</li><li>キーボードのPowerキーを押す</li></ul>

# そのほかの機能

## ▶パラレルコネクタ

本機背面には、パラレルコネクタが1個用意されています。パラレルコネクタには、パラレルコネクタに対応した機器（プリンタやスキャナなど）を接続します。

本機では、パラレルポートの機能や、使用するアドレスを変更することができます。通常は、パラレルポートの設定を変更する必要はありません。使用する周辺機器で指示がある場合には、「BIOS Setupユーティリティ」で変更してください。

 p.164 「Advancedメニュー画面」－「Onboard Devices Configuration」－「Parallel Port Address」

## ▶IEEE 1394コネクタ

本機には、IEEE1394コネクタが前面に1個（4ピン）、背面に1個（6ピン）用意されています。IEEE1394コネクタには、IEEE1394対応の機器を接続します。

### 接続と取り外し

IEEE1394機器の接続、取り外しは、電源が入った状態で行うことができます。通知領域に「取り外し」アイコンが表示された場合は、Windows上での終了処理が必要です。詳しくは、接続する機器に添付のマニュアルをご覧ください。




<取り外しアイコン>

## ▶ハイパー・スレディング機能

ハイパー・スレディング機能を持つプロセッサを搭載している場合、Windowsにひとつのコア（CPU）を仮想的に2つに見せかけることで、異なる2つの命令を同時に実行することができます。ハイパー・スレディング機能に対応したアプリケーションでは、処理性能が向上します。

購入時、ハイパー・スレディング機能は、「Enabled（有効）」に設定されています。

 p.164 「Advancedメニュー画面」－「CPU Configuration」－「Hyper Threading Technology」

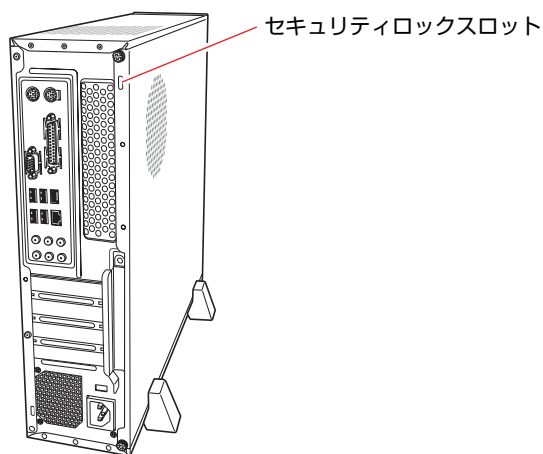
## ▶スピードステップ機能

スピードステップ機能を持つプロセッサを搭載している場合、「スピードステップ」機能が自動的に機能しています。スピードステップ機能とは、使用時のCPUの使用率にあわせて、CPUの処理速度を自動で調整する機能です。CPUの使用率が少ないときは、CPUの処理速度を抑え、消費電力を少なくします。また、CPUの使用率が高いときはCPU処理が高速になります。

## ▶セキュリティロックスロット

本機背面には、「セキュリティロックスロット」が装備されています。ここには、専用の盗難抑止用ケーブル（ワイヤー）を取り付けます。専用の盗難抑止用ケーブル（ワイヤー）は、当社ホームページで購入することができます。

<http://epsondirect.jp>





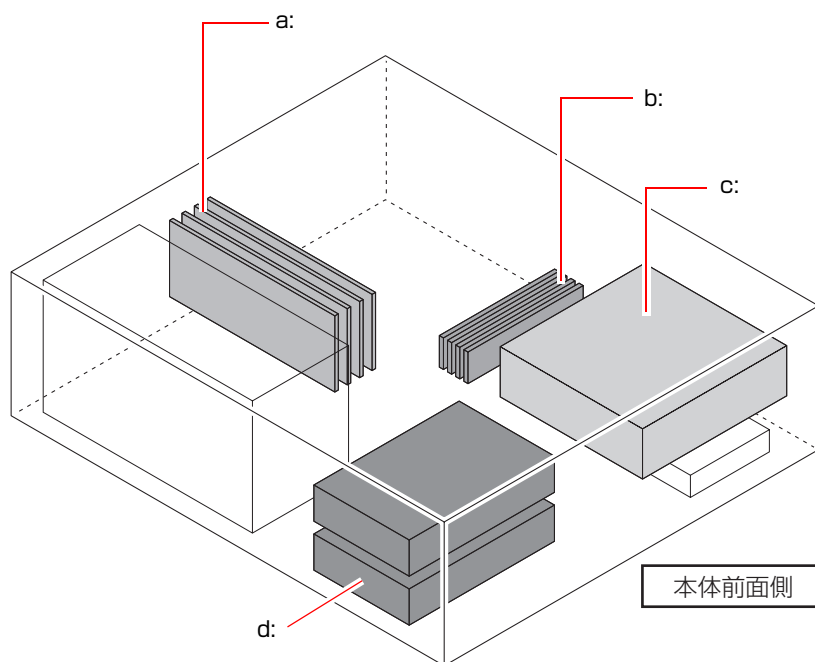
# 第3章 システムの拡張

本機に装置を装着して機能を拡張する方法を説明します。

「拡張できる装置」 .....	122
「作業時の注意」 .....	123
「拡張時の準備作業」 .....	124
「メモリの増設」 .....	128
「拡張ボードの装着」 .....	135
「ドライブ装置の接続」 .....	139
「ドライブベイへの装着」 .....	142

# 拡張できる装置


本機は、次の各部に装置を増設・交換して機能を拡張することができます。購入時の選択により、すでにいくつかの装置が装着されているため、実際に拡張できる装置の数は異なります。



## a: 拡張スロット


拡張スロットには、次の拡張ボードを装着することができます。

- ・ PCI Express x16ボード 1枚
- ・ PCIボード 2枚
- ・ PCI Express x4ボード 1枚

 p.135 「拡張ボードの装着」


## b: メモリスロット

メモリスロットには、メモリを4枚、最大3GBまで装着できます。

 p.128 「メモリの増設」


## c: 5.25型ドライブベイ

5.25型ドライブベイに装着されている光ディスクドライブは、交換することができます。

 p.142 「光ディスクドライブの交換」

## d: HDDベイ

HDDベイには、S-ATA仕様の3.5型HDDを2台まで装着することができます。

 p.146 「HDDの取り付け・取り外し」

# 作業時の注意

本機の内部に装置を装着する場合は、必ず次の点を確認してから作業を始めてください。



- 作業するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



- 拡張ボードやメモリの交換、増設は、本機の内部が高温になっているときには行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で、作業をしないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



- 取り付けを行う際は、取り付ける装置に添付されているマニュアルを必ず参照してください。
- 本機および接続している周辺機器の電源は必ず切ってください。電源を切ったら、本機から周辺機器を取り外してください。
- 本機の内部のケースや基板には突起があります。装着作業の際には、けがをしないよう注意してください。
- 作業を行う前に金属製のものに触れて静電気を逃がしてください。メモリや拡張ボード、コンピュータ本体に静電気が流れると、基板上の部品が壊れるおそれがあります。
- 本機の内部にネジや金属などの異物を落とさないでください。
- メモリや拡張ボードを持つときは、端子部や素子に触れないでください。破損や接触不良による誤動作の原因になります。
- 装着する方向を間違えないでください。メモリや拡張ボードが抜けなくなるなど故障の原因になります。
- メモリや拡張ボードは落とさないように注意してください。強い衝撃を与えると、破損の原因になります。
- メモリや拡張ボードの着脱は、頻繁に行わないでください。必要以上に着脱を繰り返すと、端子部などに負担がかかり、故障の原因になります。

# 拡張時の準備作業

ここでは、装置の拡張を行う場合の作業について説明します。各装置の拡張手順に従って作業を行ってください。



作業するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電・火傷の原因となります。

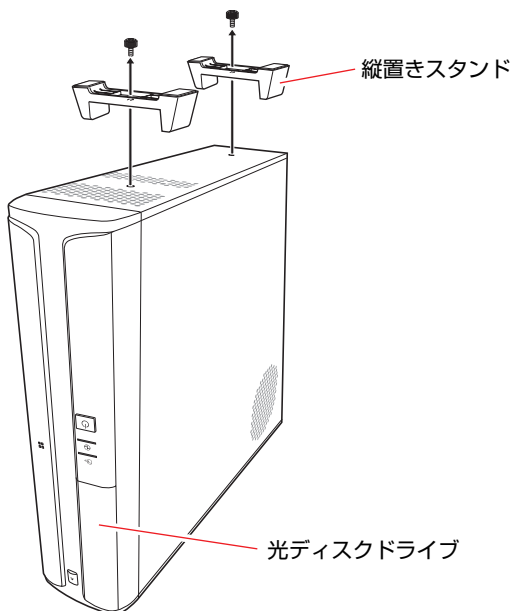
## ▶ 本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け

本機の内部に装置を装着するには、まず本体カバーとリンクバーを外す必要があります。

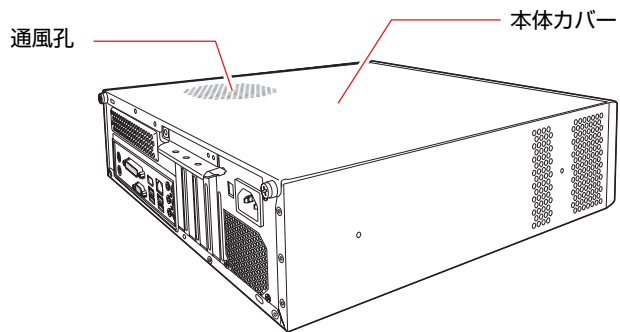
### 取り外し

本体カバーとリンクバーを取り外す手順は、次のとおりです。

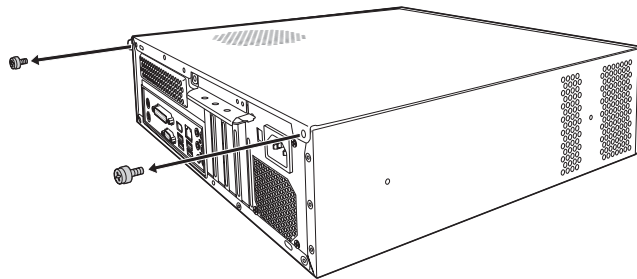
- 1 本機の電源を切ります。**  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。**
- 3 本機を縦置きで使用している場合は、光ディスクドライブを下にして、縦置きスタンドを取り外します。**



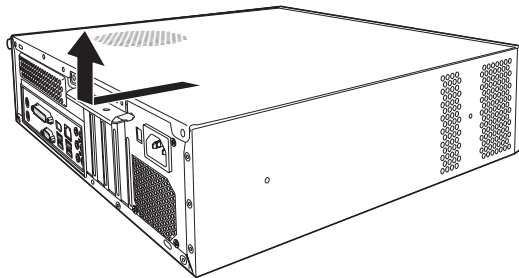
- 4** 通風孔がある側面が上になるように、本体を横置きします。



- 5** 本機背面のネジ（2本）を外します。

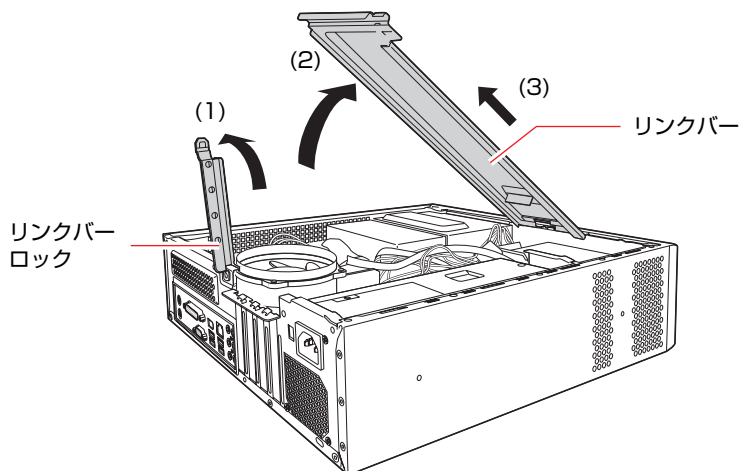


- 6** 本体カバーを背面側へスライドさせ、上へ持ち上げて取り外します。



## 7 リンクバーを取り外します。

- (1) リンクバーロックを矢印の方向へ開きます。
- (2) リンクバーを矢印の方向へ開きます。
- (3) リンクバーを引き抜きます。

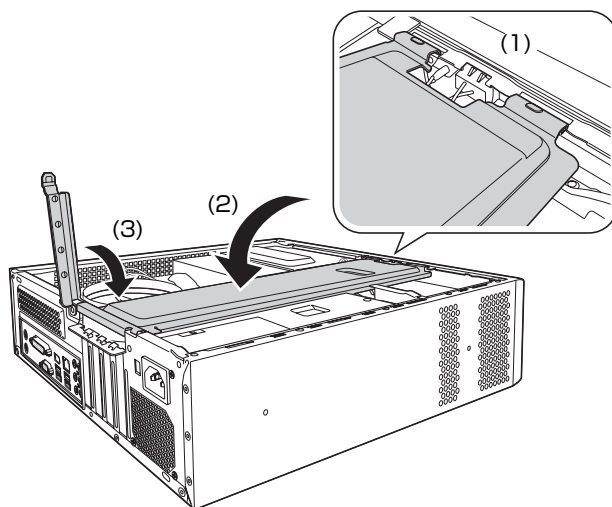


## 取り付け

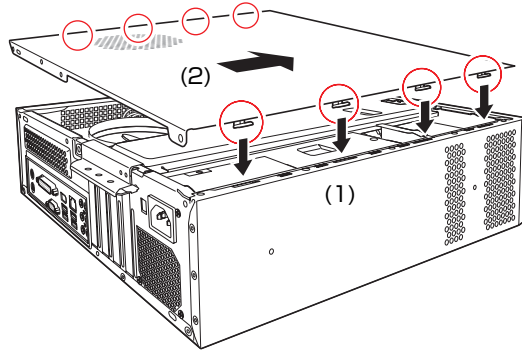
リンクバーと本体カバーを取り付ける手順は、次のとおりです。

## 1 リンクバーを取り付けます。

- (1) リンクバーを本体の穴へ差し込みます。
- (2) リンクバーを矢印の方向へ閉じます。
- (3) リンクバーロックを閉じます。



- 2** 本体カバーを取り付けます。
- (1) 本体カバーのツメ（上下で8箇所）を、本体の穴にはめ込みます。
- (2) 本体背面から前側に向けてスライドします。



- 3** ネジ（2本）で本機背面と本体カバーを固定します。
- 4** 縦置きで使用する場合は、光ディスクドライブを下にして、縦置きスタンドを取り付けます。  
縦置きスタンドを取り付けたら、スタンドを下にして置きます。
- 5** 取り外したケーブル類を本機に接続します。

# メモリの増設

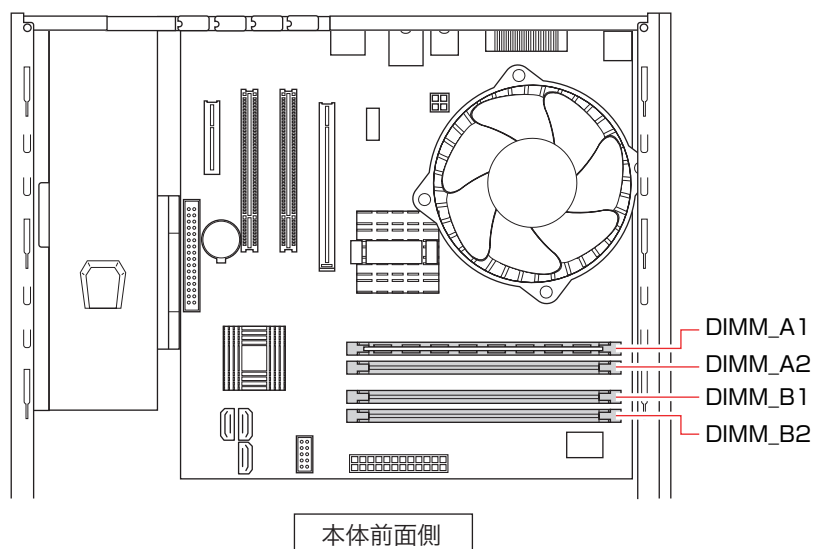
本機で使用可能なメモリの仕様と取り付け方法について説明します。

## ▶メモリの仕様

本機には4本のメモリスロットが用意されており、メモリを最大3GB（1024MB×2+512MB×2）まで拡張することができます。

本機は、同一容量のメモリを2枚1組で使用することにより、高速なメモリ転送速度を実現します。

メインボード上のメモリスロットの位置は、次のとおりです。



メモリは、DIMM\_A1、DIMM\_B1スロットから取り付けます。

購入時、DIMM\_A1とDIMM\_B1スロットには、メモリが取り付けられています（購入時の選択により、メモリの容量は異なります）。

本機で使用可能なメモリの仕様は、次のとおりです。

- PC2-5300 DIMM（DDR2-667 SDRAM使用、240ピン）
- メモリ容量：256MB、512MB、1024MB
- Non ECC
- CL=5



Celeron Dプロセッサでのメモリ動作について

Celeron Dプロセッサ搭載の場合、メモリの動作はPC2-4200（DDR2-533）になります。



## 最新メモリ情報

今後、本書に記載した仕様以外の新しいメモリを取り扱う場合があります。本機で使用可能な最新のメモリは、当社ホームページでご確認ください。

<http://epsondirect.jp>

## ▶メモリ装着の組み合わせと順番

本機のメモリスロットにメモリを装着する場合は、次の点に注意してください。

- 同一容量のメモリを2枚1組で装着してください。  
なお、メモリを4枚装着する場合、1組目と2組目の容量が異なっていても問題はありません。
- メモリを2枚以上装着する場合の組み合わせと順番は、次のとおりです。



メモリ装着順	メモリスロット
1組目	DIMM_A1 スロット+DIMM_B1 スロット
2組目	DIMM_A2 スロット+DIMM_B2 スロット

## ▶メモリの取り付け・取り外し

作業を始める前にp.123 「作業時の注意」を必ずお読みください。  
作業を行う場合は、本体を横置きにして行ってください。

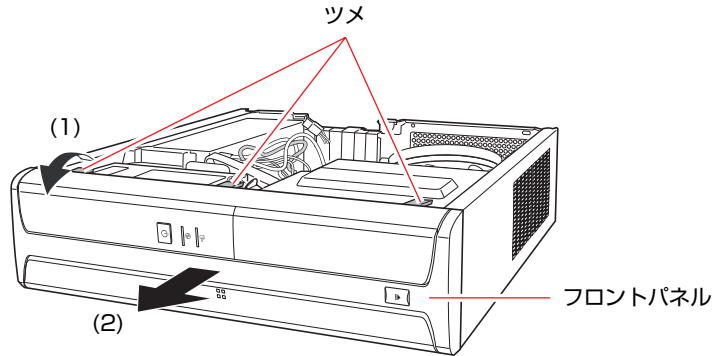
### 取り付け

メモリを取り付ける手順は、次のとおりです。

- 1** [スタート] - [▶] - 「シャットダウン」で本機の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2** 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3** 本体カバー、リンクバーを取り外します。  
 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」
- 4** PCI Express x16スロットに拡張ボードが装着されている場合は、拡張ボードを外します。  
 p.136 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

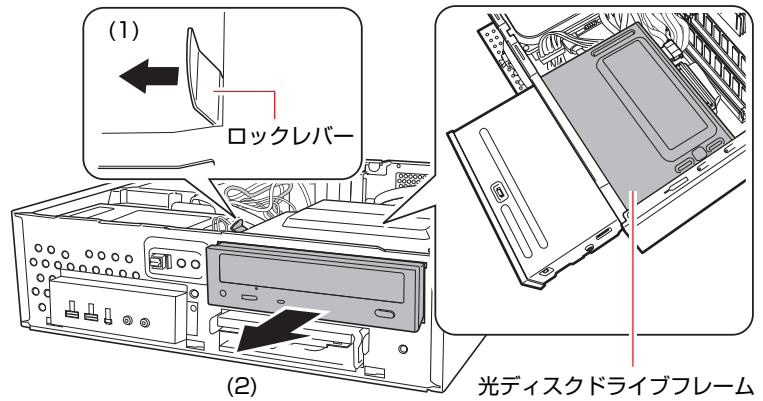
**5** フロントパネルを取り外します。

- (1) フロントパネルの3つのツメを、本体フレームから外します。
- (2) フロントパネルを、矢印の方向へ取り外します。

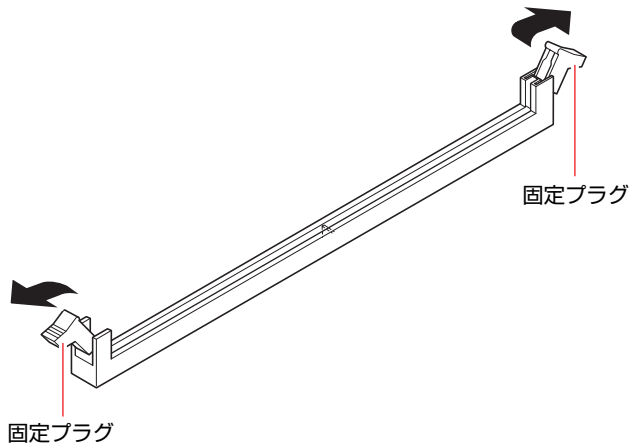


**6** 作業の妨げにならないように、光ディスクドライブを前面へスライドさせます。

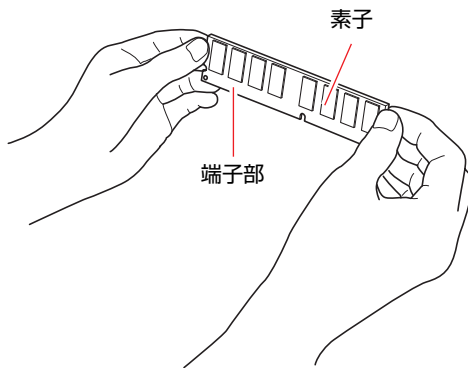
- (1) ロックレバーを矢印の方向へ引きます。
  - (2) ロックレバーを引いた状態のまま、光ディスクドライブを前面へスライドさせます。
- 光ディスクドライブの背面が、光ディスクドライブフレームに隠れるまでスライドさせます。



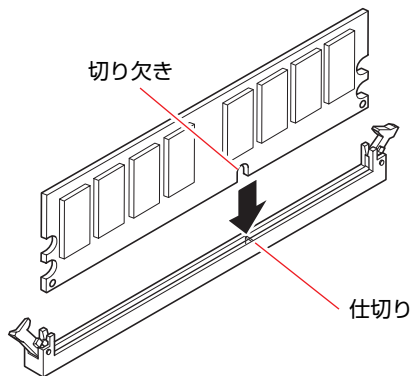
**7** メモリスロットの固定プラグを開きます。



**8** メモリを静電気防止袋から取り出します。  
メモリの端子部や素子に触れないように注意します。

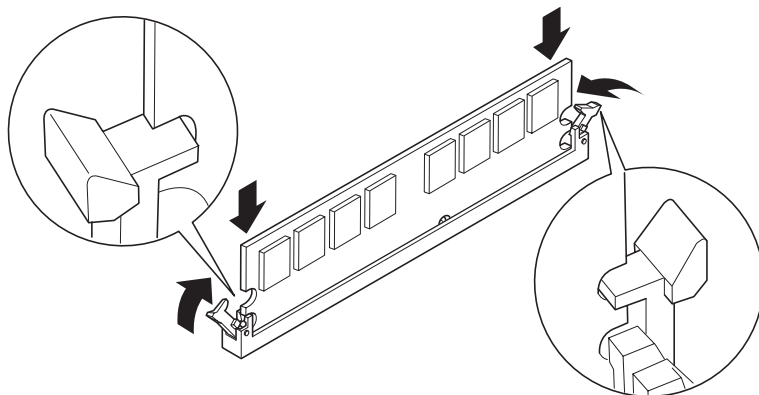


**9** メモリスロットにメモリを差し込みます。  
(1) メモリの切り欠きをメモリスロット内の仕切りに合わせます。




3

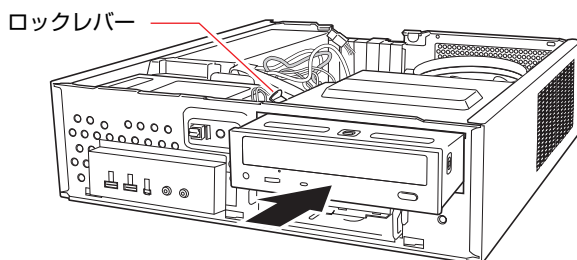
- (2) さらに押し込むと、固定プラグが閉じて、メモリが固定されます。  
メモリが固定されたことを、必ず確認してください。



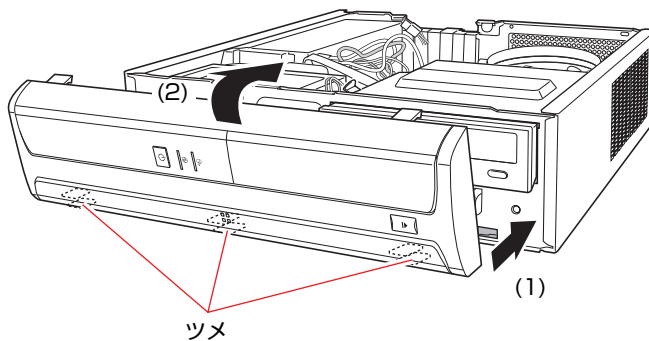
本機では、メモリを2枚単位で取り付けるため、該当するメモリスロット2本に対して、それぞれ作業を行ってください。

 p.129 「メモリ装着の組み合わせと順番」


- 10** 光ディスクドライブを、ロックレバーが「カチッ」というまで押し込みます。




- 11** フロントパネルを取り付けます。  
(1) フロントパネル下側の3つのツメを、本体フレームの穴に差し込みます。  
(2) フロントパネルを、カチッと音がするまで矢印の方向へ起こします。



- 12** 手順4で拡張ボードを外した場合は、もとおりに装着します。

 p.136 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

**13** リンクバー、本体カバーを取り付けます。

 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」

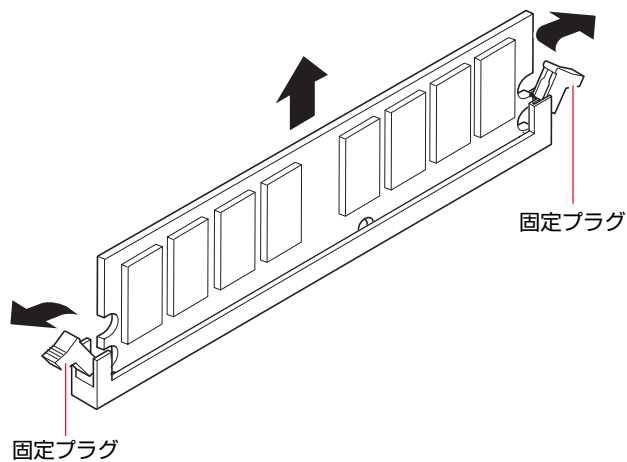
**14** 取り外したケーブル類を本機に接続します。

続けてp.134 「メモリの増設・交換後の作業」を行います。

**取り外し**


メモリの取り外し方法は次のとおりです。取り外す際は、「取り付け」の手順7～9を次の手順に読み替えて行ってください。

作業後は、p.134 「メモリの増設・交換後の作業」を行います。

**1** メモリの両端を固定している固定プラグを開きます。**2** メモリが外れたら静かに取り外します。

静電気防止袋に入れて保管してください。

本機では、メモリを2枚単位で取り付けるため、該当するメモリスロット2本に対して、それぞれ作業を行ってください。

 p.129 「メモリ装着の組み合わせと順番」


## ▶メモリの増設・交換後の作業

---

メモリの増設・交換をしたら、メモリが正しく取り付けられているか、必ずメモリの容量を確認してください。

メモリ容量の確認方法は次のとおりです。

**1** 「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。

 p.153 「BIOS Setupユーティリティの操作」

**2** 「Main」メニュー画面－「System Information」－「Usable Size」に表示されているメモリ容量を確認します。

メモリ容量が正しく表示されない場合は、メモリが正しく取り付けられていないことが考えられます。すぐに電源を切り、正しく取り付け直してください。



### メモリ容量の表示

メインボード上のビデオ機能を使用している場合、本機は、メインメモリの一部をビデオメモリとして使用します。そのため、メモリ容量は、メインメモリからビデオメモリ（最小8MB）を引いた値が表示されます。

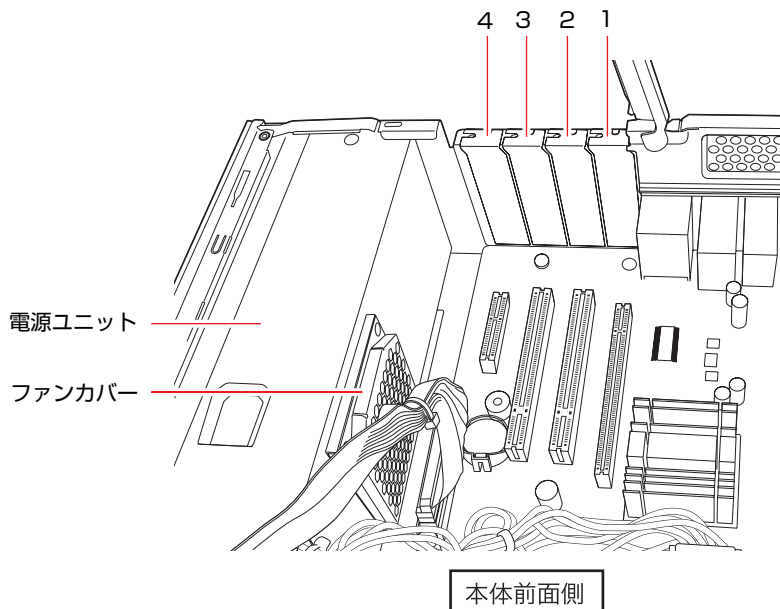
---

# 拡張ボードの装着

拡張スロットの仕様と拡張ボードの取り付け方法について説明します。

## ▶ 拡張スロットの仕様

本機には、4つの拡張スロットがあります。各スロットの仕様は、次のとおりです。



スロット番号	コネクタ仕様	装着可能な拡張ボードサイズ
1	PCI Express x16	ボード長：170mm×ボード幅：69mmまで
2	PCI	ボード長：170mm×ボード幅：64mmまで
3	PCI	ボード長：170mm×ボード幅：64mmまで
4	PCI Express x4	ボード長：170mm×ボード幅：69mmまで



「4」のスロットには、電源ユニットやファンカバーに接触してしまうボードを装着しないでください。接触した状態で使用すると、火災の原因となります。



- 本機に装着可能なボードは、Low Profile仕様のみです。それ以外のボードを装着することはできません。
- 拡張する場合は、他の部品と干渉しないように取り付けてください。

## ▶ 拡張ボードの取り付け・取り外し

---



拡張スロットには機器の性能を維持するため、鋭いエッジがあります。手を傷つけないように作業を行ってください。

作業を始める前にp.123「作業時の注意」および拡張ボードに添付のマニュアルを必ずお読みください。

作業は、本機を横置きに行います。




本機内部のコネクタとの接続について

拡張ボードによっては、本機内部のコネクタとの接続が必要な場合があります。拡張ボードに添付のマニュアルで、ご確認ください。

---

### 取り付け

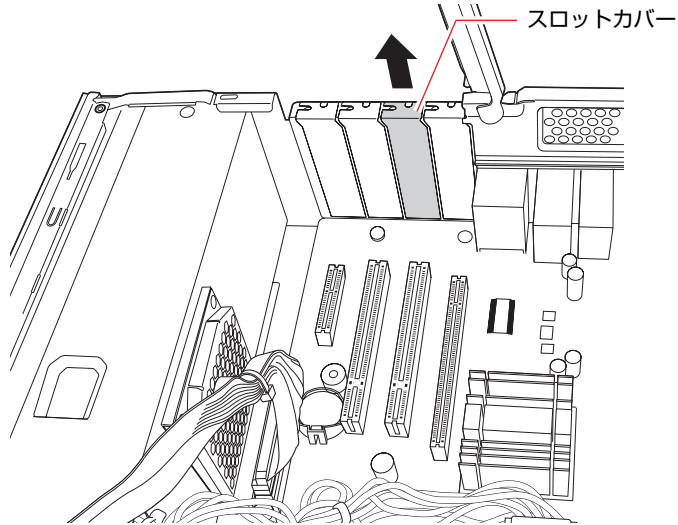
拡張ボードの取り付け方法は、次のとおりです。

- 1 本機の電源を切ります。**  
作業直前まで本機が動作していた場合は、内部が冷えるまで10分以上放置します。
- 2 本体に接続しているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。**
- 3 本体カバーとリンクバーを取り外します。**  
 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」  
リンクバーロックは開けておきます。

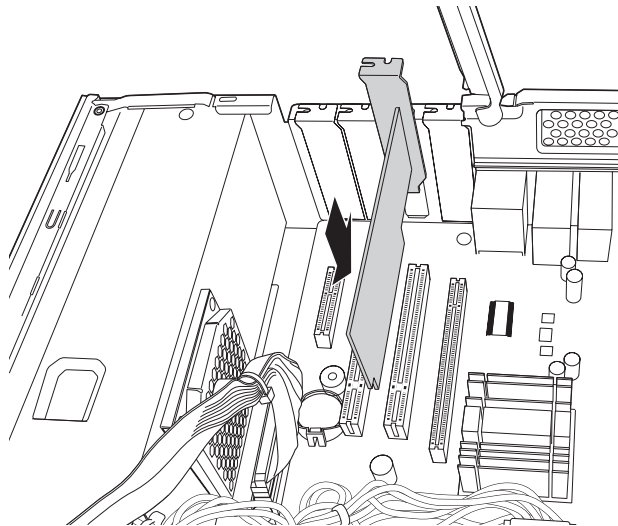



**4** スロットカバーを取り外します。

外したスロットカバーは、大切に保管しておいてください。

**5** 拡張ボードを拡張スロットに差し込みます。

拡張ボードの端子部を、コネクタに軽く触れる程度に差し込みます。コネクタに無理な力がかかっていないことを確認し、拡張ボードをゆっくり押し込みます。

**6** リンクバーと本体カバーを取り付けます。

 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」

**7** 取り外したケーブル類を本機に接続します。

続けてp.138 「拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

## 取り外し

拡張ボードの取り外しは、「取り付け」の手順4、5を次の手順に読み替えて行ってください。

作業後は、p.138 「拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

- 1** 拡張ボードを引き抜きます。
- 2** 拡張ボードを取り外したスロットに別の拡張ボードを装着しない場合は、スロットカバーを取り付けておきます。

## ▶拡張ボードの取り付け・取り外し後の作業

---

拡張ボードの取り付け・取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

- ビデオボードの場合

ビデオボードの取り付け・取り外しをした場合、BIOSなどの設定は必要ありませんが、ボードによってはドライバのインストール、アンインストールが必要な場合があります。詳しくは、ボードに添付のマニュアルをご覧ください。

- そのほかのボードの場合

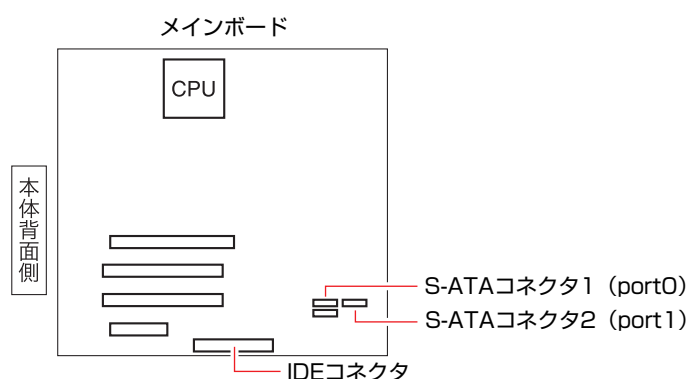
そのほか、拡張ボードによってはBIOSの設定や、ドライバのインストールなどの作業が必要です。詳しくは、拡張ボードに添付のマニュアルをご覧ください。

# ドライブ装置の接続

ここでは、コネクタの仕様と各ドライブ装置の接続方法について説明します。本機のメインボード上で使用できるコネクタは次のとおりです。各コネクタには、それぞれの規格に対応したドライブ装置を接続することができます。

コネクタ	数量	接続できる装置
IDEコネクタ	1個	光ディスクドライブを1台接続可能
S-ATAコネクタ	2個	HDDを2台接続可能

各コネクタの位置は次のとおりです。

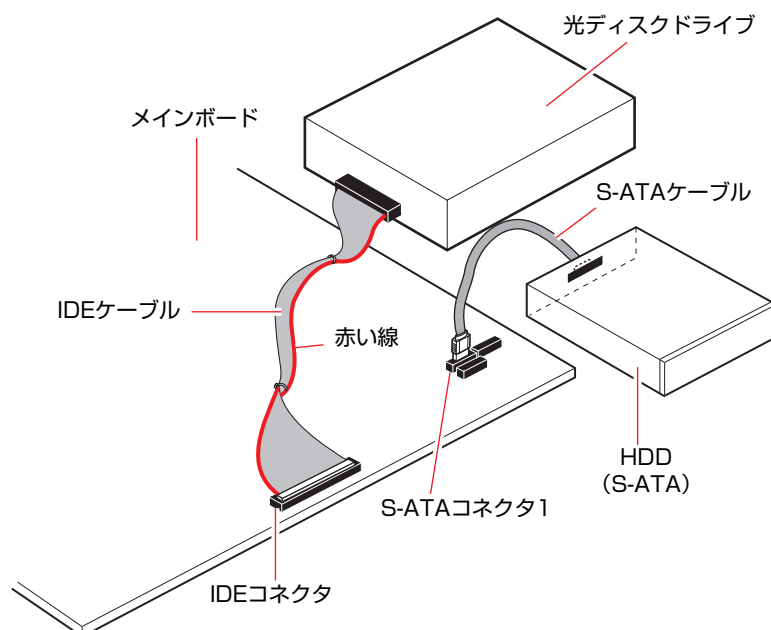


3

## ▶ ドライブ装置の接続例

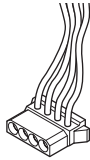
### メインボードとの接続

各ドライブ装置とメインボードを接続する一般的な方法は、次のとおりです。

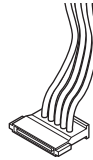


## 周辺機器用電源ケーブル

電源ユニットには、ドライブベイに装着する装置に電源を供給するための周辺機器用電源ケーブルがついています。周辺機器用電源ケーブルの各コネクタの形状と、接続するドライブ装置は次のとおりです。



・光ディスクドライブ



・HDD (S-ATA)

## ▶光ディスクドライブの接続

本機のメインボード上には、IDEコネクタが1個搭載されています。IDEコネクタには、光ディスクドライブを1台接続することができます。

光ディスクドライブを交換する際は、ドライブに添付のマニュアルもあわせてご覧ください。

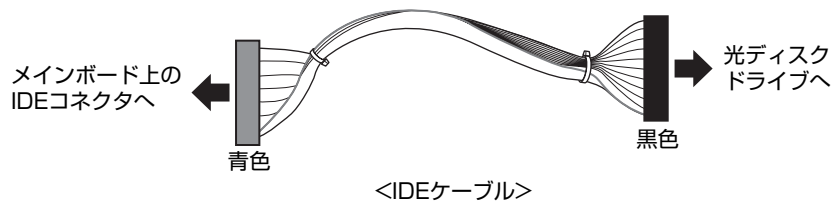
### ジャンプスイッチの設定

光ディスクドライブを取り付ける前には、ジャンプスイッチの設定が必要です。ジャンプスイッチの設定には、「マスタ」、「スレイブ」、「ケーブルセレクト」の3種類がありますが、本機に取り付ける光ディスクドライブは、必ず「マスタ」に設定してください。「マスタ」に設定しないと、光ディスクドライブがコンピュータに認識されない場合があります。

ジャンプスイッチの位置や設定方法は、光ディスクドライブに添付のマニュアルを参照してください。

### IDEケーブル

本機のIDEコネクタに接続しているIDEケーブルは、次のように接続します。



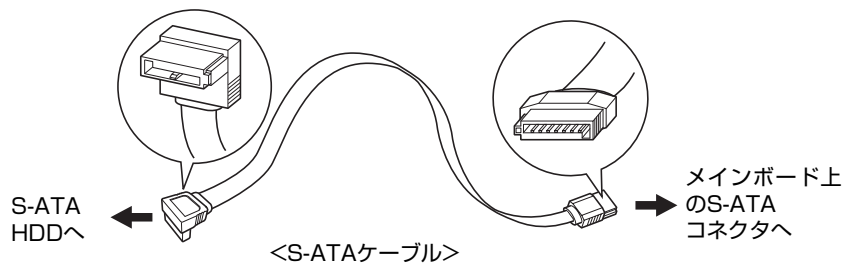
## ▶HDDの接続

本機のメインボード上には、S-ATAコネクタが2個搭載されています。それぞれのS-ATAコネクタに、S-ATA仕様のHDDを1台ずつ接続することができます。コネクタの優先順位は、次のとおりです。

順位	コネクタ
1	S-ATAコネクタ1 (port0)
2	S-ATAコネクタ2 (port1)

### S-ATAケーブル

S-ATA HDDとメインボード上のS-ATAコネクタは、「S-ATAケーブル」で接続します。「S-ATAケーブル」は、コネクタの向きに合わせて接続してください。



# ドライブベイへの装着


ここでは、本機の各ドライブベイに装着されている装置の交換や取り外し・取り付け方法について説明します。

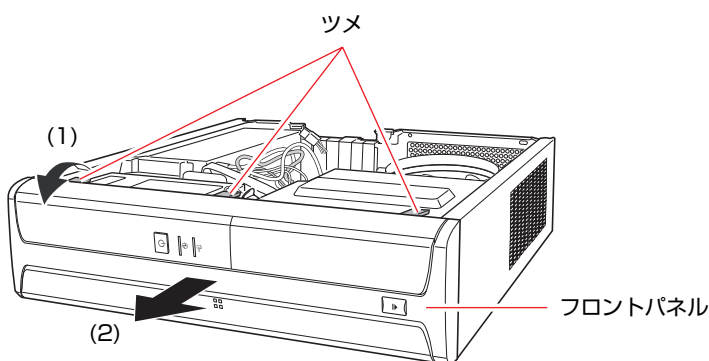
作業を始める前にp.123「作業時の注意」と各ドライブに添付のマニュアルを必ずお読みください。

作業はコンピュータを横置きに行います。

## ▶光ディスクドライブの交換

5.25型ドライブベイに装着されている光ディスクドライブを交換する手順は、次のとおりです。

- 1 本機の電源を切ります。**  
作業直前まで本機が動作していた場合は、本機内部が冷えるまで10分以上放置してください。
- 2 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。**
- 3 本体カバーとリンクバーを外します。**  
 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」
- 4 フロントパネルを取り外します。**
  - (1) フロントパネルの3つのツメを、本体フレームから外します。
  - (2) フロントパネルを、矢印の方向へ取り外します。

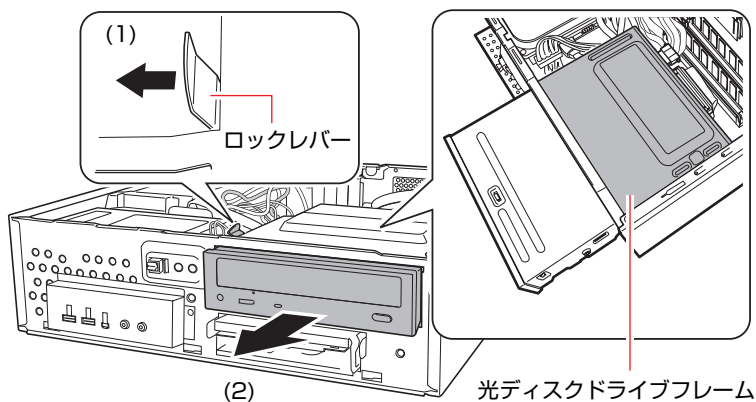


**5** ドライブベイから光ディスクドライブを取り外します。

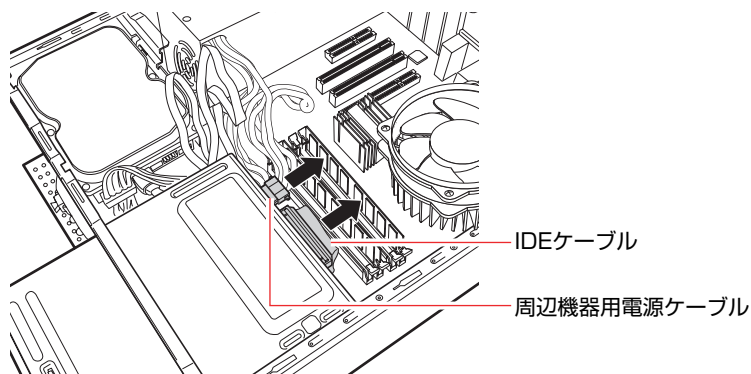
(1) ロックレバーを矢印の方向へ引きます。

(2) ロックレバーを引いた状態のまま、光ディスクドライブを前面へスライドさせます。

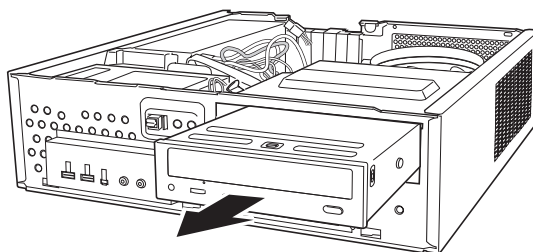
光ディスクドライブの背面が、光ディスクドライブフレームに隠れるまでスライドさせます。




(3) 光ディスクドライブに取り付けられているケーブル類を外します。



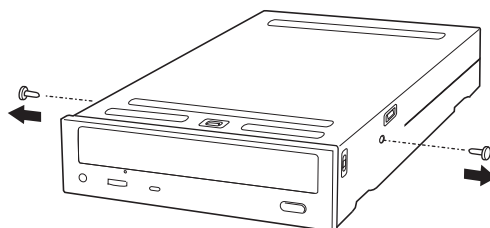
(4) 光ディスクドライブを引き抜きます。

**6** 取り付ける光ディスクドライブに添付のマニュアルを参照し、ジャンプスイッチを「マスタ」に設定します。

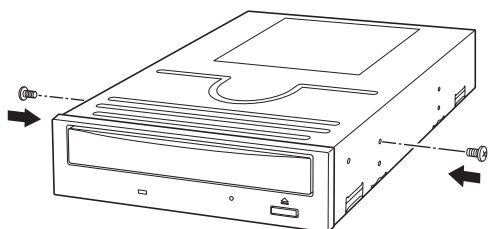
 p.140 「光ディスクドライブの接続」

**7** 取り付ける光ディスクドライブにネジを取り付けます。

(1) 取り外したドライブ装置からネジ（2本）を取り外します。



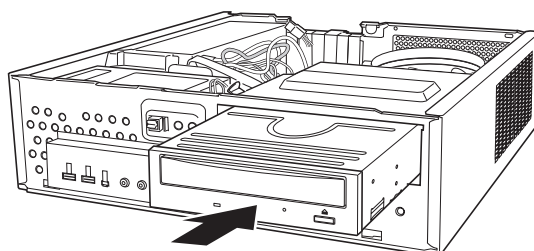
(2) 取り付ける光ディスクドライブにネジ（2本）を取り付けます。



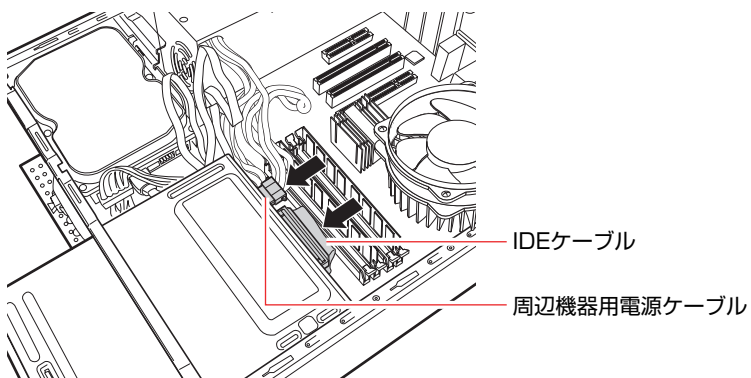
**8** 光ディスクドライブベイにドライブを取り付けます。

(1) 光ディスクドライブを押し込みます。

このとき光ディスクドライブを前面側に7cm程出しておきます。

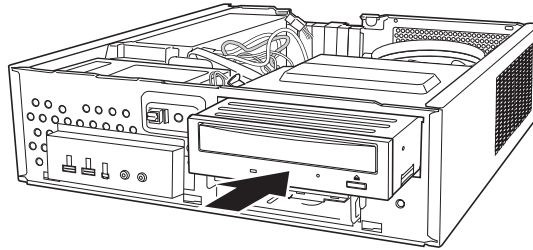


(2) 光ディスクドライブにケーブル類を取り付けます。



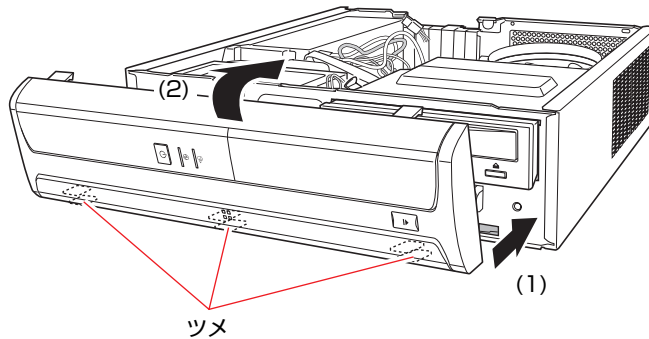


(3) ロックレバーが「カチッ」というまで光ディスクドライブを押し込みます。




## 9 フロントパネルを取り付けます。

- (1) フロントパネル下側の3つのツメを、本体フレームの穴に差し込みます。  
 (2) フロントパネルを、カチッと音がするまで矢印の方向へ起こします。



## 10 リンクバーと本体カバーを取り付けます。

 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」

## 11 取り外したケーブル類を本機に接続します。

これで光ディスクドライブの交換作業は完了です。  
 続けてp.145 「光ディスクドライブ交換後の作業」を行います。

## ▶光ディスクドライブ交換後の作業

光ディスクドライブの交換を行ったら、次の作業を行ってください。

### ●光ディスクドライブを交換した場合


光ディスクドライブによっては、ライティングソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、光ディスクドライブに添付のマニュアルをご覧ください。

上記以外にも、光ディスクドライブによっては必要な作業がある場合があります。光ディスクドライブに添付のマニュアルをご覧ください。必要に応じて作業を行ってください。

## ▶HDDの取り付け・取り外し

作業を始める前にp.123 「作業時の注意」を必ずお読みください。  
作業を行った後は、「HDDの取り付け・取り外し後の作業」を行ってください。

本機のHDDベイには、S-ATA仕様のHDDを2台まで装着することができます。

 p.141 「HDDの接続」



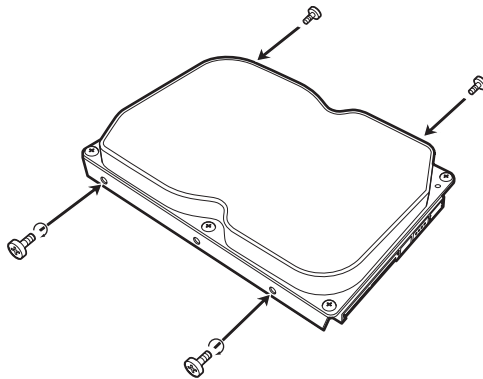
- 本機では、Ultra ATA仕様のHDDは使用できません。
- HDDへのアクセス制限を設定している場合は、アクセス制限を解除した状態でHDDの増設・交換作業を行ってください。

 p.159 「HDDへのアクセス制限」


### HDDの取り付け

HDDの取り付け方法は、次のとおりです。

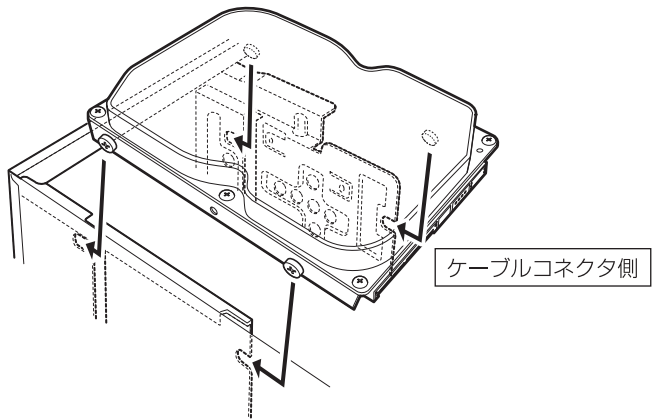
- 1** 取り付けるHDDに、ネジを4本取り付けます。



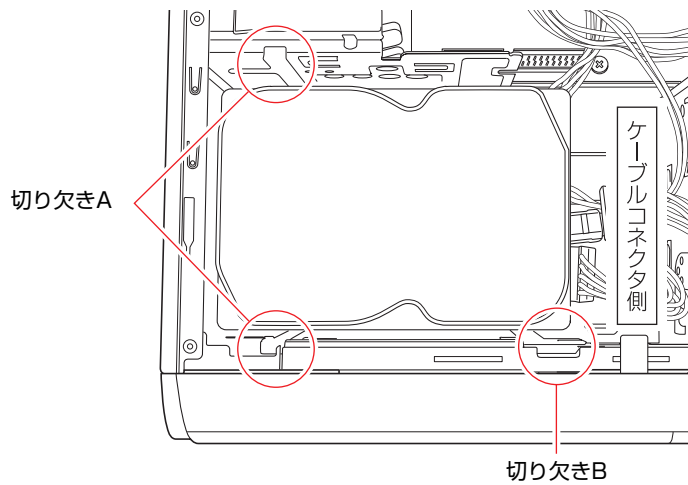
- 2** 本機の電源を切ります。  
作業直前まで本機が動作していた場合は、内部が冷えるまで10分以上放置します。
- 3** 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 4** 本体カバーとリンクバーを取り外します。

 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」

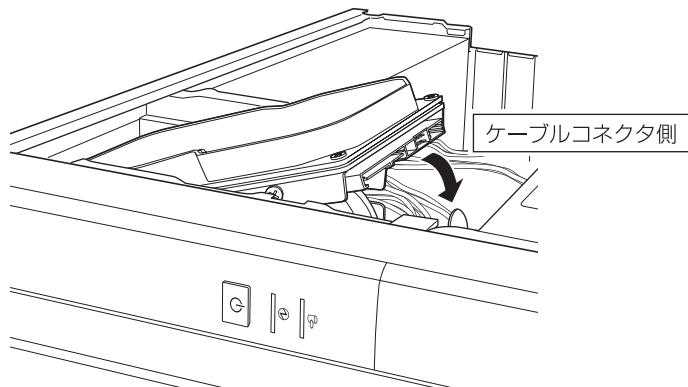
**5** HDDを取り付けます。



(1) ケーブルコネクタ側の反対側のネジ2本を切り欠きAに通します。

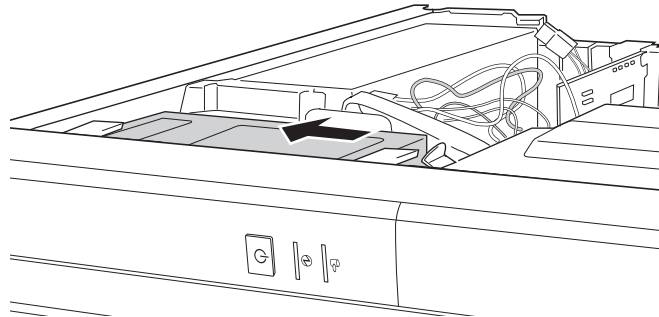


(2) ケーブルコネクタ側のネジを切り欠きBに通します。

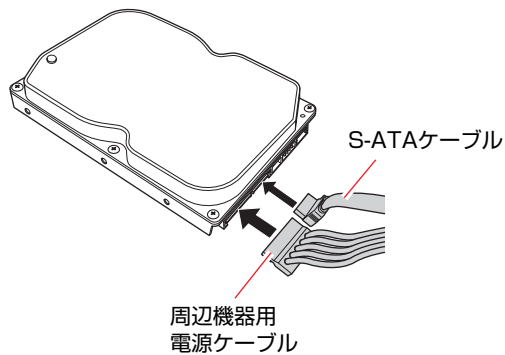


3


(3) HDDを水平にし、「カチッ」と音がするまで矢印の方向に押し込みます。



**6** HDDに周辺機器用電源ケーブルとS-ATAケーブルを接続します。



**7** リンクバーと本体カバーを取り付けます。

 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」

**8** 取り外したケーブル類を本機に接続します。

これでHDDの取り付け作業は完了です。

続けてp.150 「HDDの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

## HDDの取り外し

HDDの取り外し方法は、次のとおりです。



制限

- HDDへのアクセス制限を設定している場合は、アクセス制限を解除した状態でHDDを取り外してください。


 p.159 「HDDへのアクセス制限」

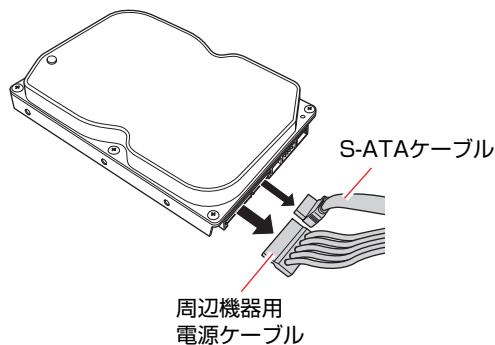
- RAIDを構成しているHDDを取り外す場合は、RAIDを削除してから行ってください。ただし、RAID使用時に破損したHDDを交換する場合は、RAIDの削除は不要です。

 p.74 「RAIDを削除する」

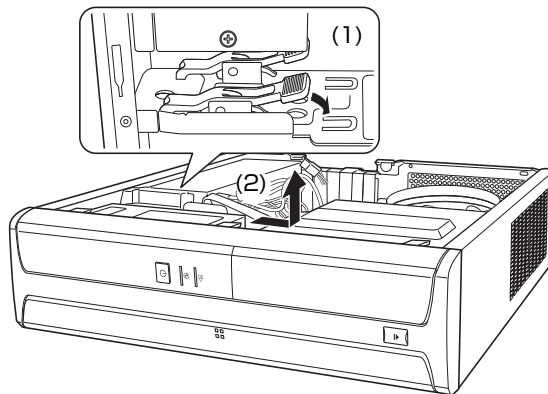
**1** 本機の電源を切ります。



作業直前まで本機が動作していた場合は、内部が冷えるまで10分以上放置します。

- 2 本機に接続しているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。
- 3 本体カバーとリンクバーを取り外します。  
 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」
- 4 HDDから周辺機器用電源ケーブルとS-ATAケーブルを外します。



- 5 HDDを取り外します。
  - (1) HDDロックレバーを矢印の方向へ押します。
  - (2) HDDロックレバーを押したまま、HDDを矢印の方向へスライドさせて、持ち上げます。
 HDDのネジが、HDDロックレバーから外れるまでスライドさせ、持ち上げてください。



- 6 空いたドライブベイにほかのHDDを取り付ける場合は、HDDを取り付けます。  
 p.146 「HDDの取り付け」
- 7 リンクバーと本体カバーを取り付けます。  
 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」
- 8 取り外したケーブル類を本機に接続します。  
 これでHDDの取り外し作業は完了です。  
 続けてp.150 「HDDの取り付け・取り外し後の作業」を行います。

## ▶HDDの取り付け・取り外し後の作業

---

HDDの取り付け・取り外しをしたら、次の作業を行ってください。

- HDDを取り付けた場合

- 新しいHDDを取り付けた場合は、HDDの領域作成とフォーマットが必要です。RAIDを構成する場合は、HDDのフォーマットは必要ありません。



p.230 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」

- RAIDを構成する場合は、次の手順を行ってください。



p.71 「RAIDの構成・削除」

- RAID使用時に破損したHDDを取り替えた場合は、RAIDの修復、またはRAIDの再構成を行ってください。



p.74 「HDDが破損したら (RAID使用時)」

- HDDを取り外した場合

- HDDを取り外し、そのままHDDを取り付けない場合は、使用していたS-ATAケーブルをメインボードから取り外し、大切に保管してください。

# 第4章 BIOSの設定

本機の基本状態を管理しているプログラム「BIOS」の設定を変更する方法について説明します。

「BIOSの設定を始める前に」 .....	152
「BIOS Setupユーティリティの操作」 .....	153
「BIOS Setupユーティリティの設定項目」 .....	162

# BIOSの設定を始める前に

BIOSは、本機の基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、メインボード上にROMとして搭載されています。

BIOSの設定は「BIOS Setupユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。

BIOSの設定を変更するのは、次のような場合です。


- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- メインボード上の機能を有効/無効にする場合

BIOSの設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから、変更をしてください。BIOS Setupユーティリティで変更した内容は、CMOS RAMと呼ばれる特別なメモリ領域に保存されます。このメモリは、リチウム電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動したりしても消去されることはありません。



## 参考

### リチウム電池の寿命

BIOS Setupユーティリティの内容は、リチウム電池で保持しています。使用状況により異なりますが、本機のリチウム電池の寿命は約3年です。日付や時間が異常になったり、設定した値が変わってしまうなどの現象が頻発するような場合には、リチウム電池の寿命が考えられます。リチウム電池を交換してください。

 p.234 「リチウム電池の交換」



- 設定値を変更して、動作が不安定になったり、リチウム電池の寿命で内容を保持できなくなった場合に備えて、必ず購入時の設定と変更後の設定値を記録しておいてください。  
 p.170 「BIOSの設定値」
- 設定を変更後に、万一動作が不安定になった場合は、「Load Setup Defaults」(初期値に戻す)で、もとの値に戻すことができます。  
 p.157 「設定値をもとに戻すには」
- 当社製以外のBIOSを使用すると、Windowsが正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外のBIOSへのアップデートは、絶対に行わないでください。



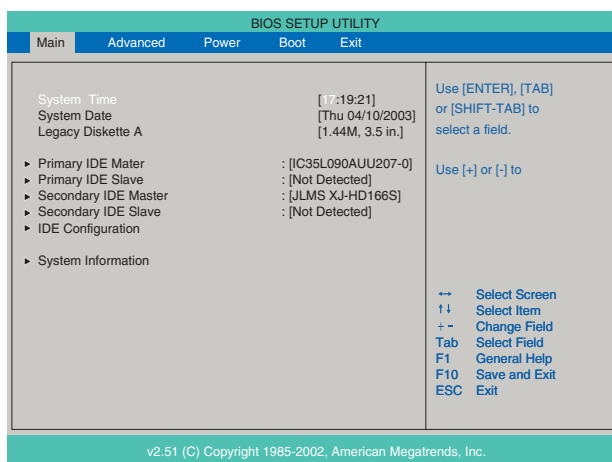
# BIOS Setupユーティリティの操作

## ▶ 起動方法

本機の電源を入れる前に、キーボードの **[Delete]** の位置を確認してください。手順2では、すばやく **[Delete]** を押す必要があります。

BIOS Setupユーティリティの起動方法は、次のとおりです。

- 1 本機の電源を入れます。**  
すでにWindowsが起動している場合は再起動します。
- 2 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐにキーボードの **[Delete]** を押します。**  
Windowsが起動してしまった場合は、再起動し、手順2をもう一度実行してください。
- 3 「BIOS Setupユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されます。**




BIOS Setupユーティリティ画面 (イメージ)

## 仕様が前回と異なるとき

本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合は、本機の電源を入れると、次のメッセージが表示されることがあります。

CMOS Settings Wrong  
Press F1 to run SETUP

このメッセージが表示されたら、**[F1]** を押して、「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。起動後は、通常の場合、そのまま「Exit & Save Changes」を実行して、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

 p.161 「終了方法」

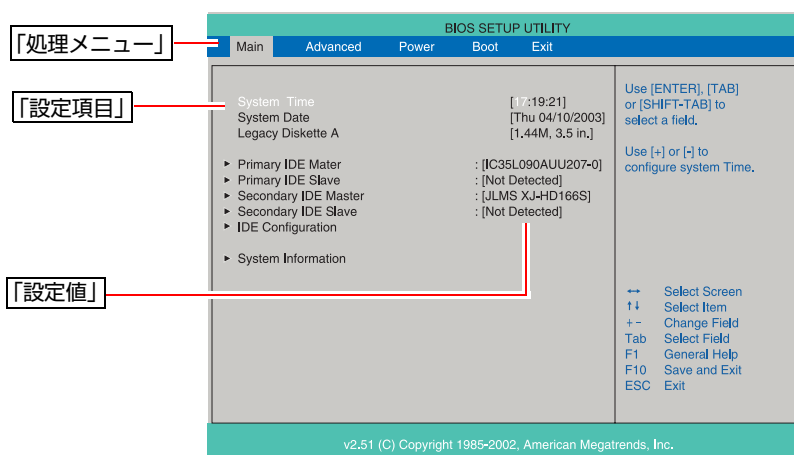
## ▶操作方法

操作の説明に使用している画面はイメージです。実際の画面内容とは異なります。

実際の各メニュー画面の設定項目は、p.162 「BIOS Setupユーティリティの設定項目」をご覧ください。

### 画面の説明

BIOSセットアップユーティリティを起動すると、次の画面が表示されます。この画面で、設定値を変更することができます。



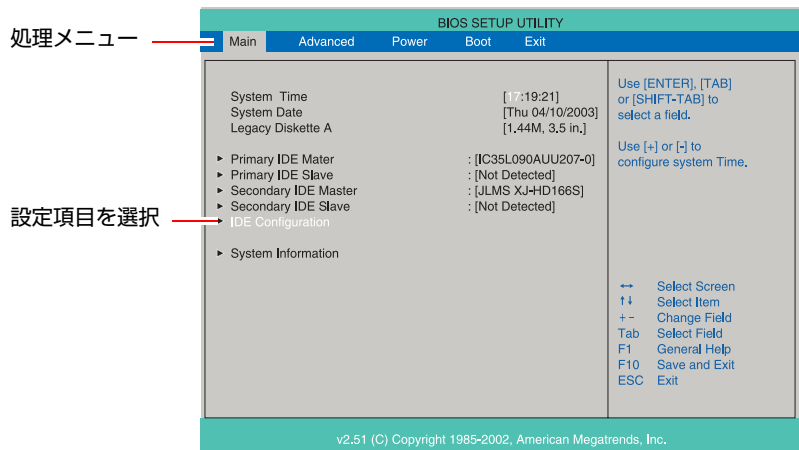
<メニュー画面>

## 設定値の変更方法

「BIOS Setupユーティリティ」の操作は、キーボードで行います。  
「BIOS Setupユーティリティ」の設定値を変更する方法は、次のとおりです。

### 1 処理メニューで設定を変更したい項目のあるメニュー画面に移動し、設定項目を選択します。

→ ← でメニュー間を移動します。  
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

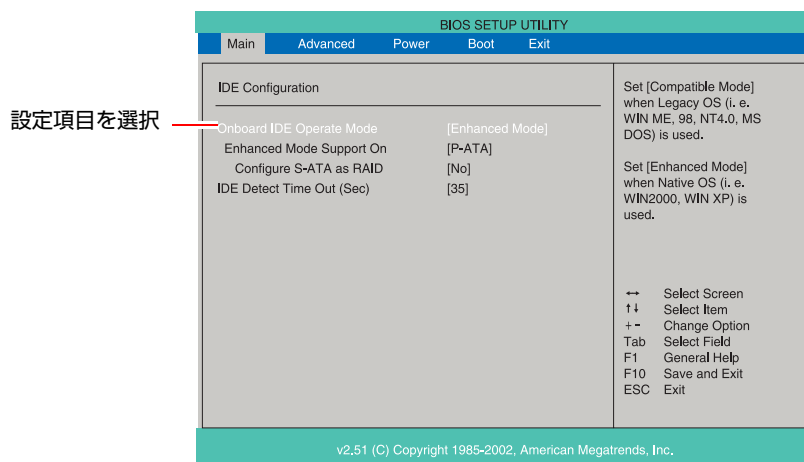


<メニュー画面>

<▶のある設定項目の場合>

▶のある設定項目の場合、← を押すとサブメニュー画面が表示されま

す。  
↑ ↓ で設定値を変更したい項目まで移動します。

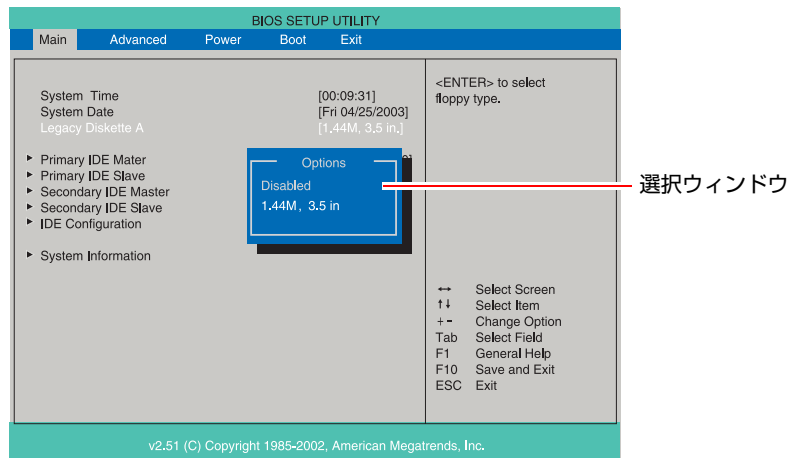


<サブメニュー画面>

サブメニュー画面から戻るには **Esc** を押します。

## 2 設定値を変更します。

◀ を押して選択ウィンドウを表示し、↑ ↓ で値を選択し、◀ で決定します。



### キー操作

キー	操作できる内容
F1	ヘルプを表示します。
Esc	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 変更した内容を破棄し、終了するかを確認するメッセージを表示します。</li> <li>● 「サブメニュー画面」から「メニュー画面」に戻ります。</li> </ul>
↑, ↓	設定を変更する項目を選択します。
←, →	処理メニューを選択します。
-, +	項目の値を変更します。
◀	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メニュー画面中の▶のある設定項目で押すとサブメニュー画面を表示します。</li> <li>● 選択項目の選択ウィンドウを表示します。</li> <li>● 設定値を選択します。</li> </ul>
F5	全設定項目の値を、初期値に変更できます。
F10	変更した設定値を保存して終了します。

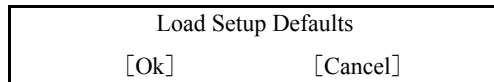
## ▶設定値をもとに戻すには

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一コンピュータの動作が不安定になってしまった場合などには、「BIOS Setupユーティリティ」の設定を前回保存した値や初期値に戻すことができます。

### Load Setup Defaults (初期値に戻す)

「BIOS Setupユーティリティ」の設定を初期値に戻す手順は、次のとおりです。

- 1 「BIOSセットアップユーティリティ」起動中に **[F5]** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults」を選択すると、次のメッセージが表示されます。




- 2 **[OK]** を選択して、**[↵]** を押します。

### Load Setup Defaults実行後の作業

次のような場合は、Load Setup Defaultsを実行したあとに、BIOSの設定値を設定しなおしてください。

- セキュリティチップのセキュリティ機能を使用している場合  
メインボード上のセキュリティチップのセキュリティ機能を有効にするため、「Boot」メニュー画面－「Security」－「TPM Function」－「Trusted Platform Module」を「Enabled」に設定します。
- RAID機能を使用している場合  
「Main」メニュー画面－「SATA Configuration」－「Configure SATA as」を「RAID」に設定します。

設定が終わったら、変更した内容を保存して終了します。


 p.161 「Exit & Save Changes (変更した内容を保存し終了する)」

## Discard Changes（前回保存した設定値に戻す）

「BIOS Setupユーティリティ」を終了せずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。

- 1 「Exit」メニュー画面－「Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。



- 2 [Ok] を選択して、 を押します。

## ▶ Passwordの設定

本機のBIOSでパスワードを設定すると、BIOSやシステム、HDDへのアクセス時にパスワードが要求され、アクセスするユーザーを制限することができます。パスワードの設定は、「Bootメニュー画面」－「Security」で行います。

### パスワードの種類

パスワードには次の2種類があります。

- Supervisor Password

コンピュータの管理者用のパスワードです。このパスワードでBIOSにログインした場合、BIOSのすべての項目を変更することができます。

- User Password

そのほかのユーザー用のパスワードです。このパスワードでBIOSにログインした場合は、BIOSで変更できる項目が制限されます。

### アクセス制限の設定

Supervisor PasswordでBIOSにログインした場合のみ、アクセス制限の種類やHDDへのアクセス制限を設定することができます。

#### アクセス制限の種類

アクセス制限には次の2種類があります。


- Setup

BIOSへのアクセスを制限します。BIOS起動時にパスワード入力が必要です。

- Always

BIOS、システムへのアクセスを制限します。BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力が必要です。


アクセス制限の選択は、次の項目で行います。

 p.168 「Bootメニュー画面」－「Security」－「Password Check」

## HDDへのアクセス制限

Supervisor Passwordを設定すると、HDDへアクセスする際にパスワードの入力を要求して、HDDへのアクセスを制限することができます。アクセス制限したHDDは、ほかのコンピュータに接続しても認識されなくなります。

HDDへのアクセス制限は、次の項目で設定します。


 p.168 「Bootメニュー画面」－「Security」－「Hard Disk Protection」




- パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定したHDDは使用できなくなります。  
登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
- RAID構成時、HDDアクセス制限は使用できません。
- HDDを増設・交換する際は、HDDへのアクセス制限を解除した状態で行ってください。

## パスワードの設定・変更


Supervisor Passwordおよび、User Passwordの設定・変更方法は次のとおりです。

- 1 「Supervisor Password」または、「User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。


Enter Password:

- 2 パスワードを入力し、 を押します。

「\*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。アルファベットの大文字と小文字は区別されません。パスワードは8文字まで入力可能です。

- 3 続いて次のメッセージが表示されます。確認のためにもう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

Confirm Password:

- 4 「Password installed.」というメッセージが表示されたら、[Ok] が選択された状態で  を押します。


- 5 パスワードの設定が完了すると、「Supervisor Password」または「User Password」項目の値が「Installed」に変わります。




万一、パスワードを忘れた場合は、p.237 「CMOS RAMの初期化」を実行します。ただし、アクセス制限したHDDは、パスワードの解除ができないため、使用できません。  
登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。

## パスワードの削除

Supervisor PasswordおよびUser Passwordの削除方法は次のとおりです。  
Supervisor Passwordを削除すると、User Passwordも同時に削除されます。


- 1 「Supervisor Password」または「User Password」を選択して  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Enter Password:

- 2 何も入力せずに  を押すと、次のメッセージが表示されます。

Password uninstalled.

[Ok]

- 3 [Ok] が選択された状態で  を押します。「Supervisor Password」または「User Password」項目の表示が「Not Installed」に変わります。  
これでパスワードの削除は終了です。



## ▶終了方法

「BIOS Setupユーティリティ」の終了方法には、次の2つがあります。

### Exit & Save Changes (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

- 1 **F10** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Exit & Save Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Save configuration changes and exit now?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [OK] を選択し、**↵** を押します。

### Exit & Discard Changes (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

- 1 **Esc** を押す、または「Exit」メニュー画面－「Exit & Discard Changes」を選択すると、次のメッセージが表示されます。

Discard configuration changes and exit now ?	
[Ok]	[Cancel]

- 2 [OK] を選択し、**↵** を押します。

# BIOS Setupユーティリティの設定項目

ここでは、「BIOS Setupユーティリティ」で設定できる項目と、設定方法などについて説明します。「BIOS Setupユーティリティ」のメニュー画面には、次の5つのメニューがあります。

- Mainメニュー画面 : 日付、時間、HDDなどの設定を行います。
- Advancedメニュー画面 : CPUに関する設定、I/O関係の動作設定やPCIバス関係の設定などを行います。
- Power メニュー画面 : 省電力機能や起動に関する設定を行います。
- Bootメニュー画面 : システムを起動するドライブの順番の設定やコンピュータの動作状態、セキュリティの設定などを行います。
- Exitメニュー画面 : BIOS Setupユーティリティを終了したり、BIOSの設定値を初期値に戻します。

## ▶Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

System Time (hh:mm:ss)		時刻を設定します。
System Date (mm:dd:yy)		日付を設定します。
SATA 1/SATA 2 ※「SATA Configuration」が「RAID」の場合は表示されません。	* Device	HDDの種類を表示します。
	* Vendor	HDDの型番を表示します。
	* Size	HDDの容量を表示します。
	* LBA Mode	LBA (Logical Block Addressing) をサポートしているかどうかを表示します。
	* Block Mode	一度に何セクタ転送できるかを表示します。
	* PIO Mode	IDE 装置の転送モードを表示します。
	* Async DMA	IDE 装置のDMA 転送モードとチャンネルを表示します。
	* Ultra DMA	Ultra DMA 対応装置の転送モードとチャンネルを表示します。
	* SMART Monitoring	S.M.A.R.T (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) をサポートしているかどうかを表示します

SATA 1/SATA 2  ※「SATA Configuration」が「RAID」の場合は表示されません。	LBA / Large Mode	LBA (Logical Block Addressing) を使用するかどうかを表示します。 Disabled: 使用しません。 Auto: LBAを使用します。
	Block (Multi-Sector Transfer)	一度に何セクタ転送できるかを表示します。 Disabled: 使用しません。 Auto: BIOSが自動的に最適な速度に設定します。
	PIO Mode	IDE 装置の転送モード (PIO) を設定します。 Auto: BIOSが自動的に最適な転送モードを設定します。 0/1/2/3/4: 転送モードを設定します。
	DMA Mode	IDE装置のDMA転送モードを設定します。 Auto: BIOSが自動的に最適な転送モードを設定します。 SWDMA0/SWDMA1/SWDMA2/MWDMA0/MWDMA1/MWDMA2/UDMA0/UDMA1/UDMA2/UDMA3/UDMA4/UDMA5
	SMART Monitoring	初期値 [Disabled] のまま使用します。
	32Bit Data Transfer	32Bitデータ転送を使用するかどうかを設定します。 Disabled: 使用しません。 Enabled: 使用します。
SATA Configuration	Configure SATA as	S-ATAをRAIDとして構成するかどうかを設定します。 Standard IDE: HDDを通常のまま使用します。 RAID: HDDをRAIDとして構成します。
System Information  本機の仕様を表示します。	AMI BIOS	BIOSの情報を表示します。
	* Version	BIOS のバージョンを表示します。
	* Build Date	BIOS のバージョンの制定日を表示します。
	Processor	本機に搭載されているCPUの情報を表示します。
	* Type	本機に搭載されているCPUのタイプを自動的に表示します。
	* Speed	本機に搭載されているCPUの周波数を自動的に表示します。
	* Count	本機に搭載されているCPUの数です。
	System Memory	本機に搭載されているメモリ容量の情報を表示します。
	*Usable Size	本機で使用可能なメモリ容量を、起動時に自動的に計算して表示します。表示される容量は、搭載されたメモリ容量から、あらかじめ割り当てられているビデオメモリ容量 (最小8MB) を引いた値です。

## ▶ Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

CPU Configuration 本機に搭載されているCPUに関する情報を表示します。	* Manufacturer	メーカーを表示します。
	* Brand String	型番を表示します。
	* Frequency	周波数を表示します。
	* FSB Speed	バススピードを表示します。
	* Cache L1	CPUのL1キャッシュ容量を表示します。
	* Cache L2	CPUのL2キャッシュ容量を表示します。
	* Cache L3	CPUのL3キャッシュ容量を表示します。
	* Ratio Status	CPUクロックの設定を表示します。
	* Ratio Actual Value	ベースクロックに対する倍率を表示します。
	Hyper Threading Technology	ハイパースレディング機能の有効/無効を設定します。ハイパースレディング機能を持つプロセッサを搭載しているモデルにのみ表示されます。 <u>Enabled</u> : 有効にします。 <u>Disabled</u> : 無効にします。
Vanderpool Technology	Vanderpool Technology機能の有効/無効を設定します。Vanderpool Technology機能を持つプロセッサを搭載しているモデルにのみ表示されます。 <u>Enabled</u> : Vanderpool Technologyを有効にします。 <u>Disabled</u> : Vanderpool Technologyを無効にします。	
Onboard Graphic Configuration	DVMT Mode Select	初期値 [DVMT Mode] のままで使用します。
	DVMT/FIXED Memory	初期値 [128MB] のままで使用します。
Onboard Devices Configuration メインボード上のデバイスに関する設定を行います。	HD Audio Controller	メインボード上のサウンド機能を使用するかどうかを設定します。サウンドボード使用時は、[Disabled] に設定します。 <u>Enabled</u> : 使用します。 <u>Disabled</u> : 使用しません。
	Onboard 1394 Controller	メインボード上のIEEE 1394機能を使用するかどうかを設定します。 <u>Enabled</u> : 使用します。 <u>Disabled</u> : 使用しません。
	Onboard PCIE GbE LAN	メインボード上のネットワーク機能を使用するかどうかを設定します。ネットワークボード使用時は、[Disabled] に設定します。 <u>Enabled</u> : 使用します。 <u>Disabled</u> : 使用しません。

Onboard Devices Configuration  メインボード上のデバイスに関する設定を行います。	LAN Option ROM	リモートブート機能の有効/無効を設定します。「Onboard PCIE GbE LAN」を「Enabled」に設定すると、表示されます。 <b>Disabled</b> ：無効にします。 <b>Enabled</b> ：有効にします。 [Enabled] に設定すると、「Bootメニュー画面」－「Boot Device Priority」の「4th Boot Device」に表示されます。 RAID構成時は、「Enabled」に設定しても使用できません。
	IDE Controller	光ディスクドライブを使用するかどうかを設定します。 <b>Enabled</b> ：使用します。 <b>Disabled</b> ：使用しません。
	Serial Port1 Address	シリアルポート1のアドレスとIRQ信号を設定します。 <b>Disabled</b> ：シリアルポートを使用しません。 3F8/IRQ4, 2F8/IRQ3, 3E8/IRQ4, 2E8/IRQ3
	Parallel Port Address	パラレルポートが使用するアドレスを設定します。 <b>Disabled</b> ：パラレルポートを使用しません。 378, 278, 3BC
	Parallel Port Mode	パラレルポートの動作モードを設定します。接続する周辺装置で指示がある場合のみ変更します。 <b>Normal</b> ：標準の設定です。 <b>Bi-Directional</b> ：EPP+ECPモードまたは双方向モードに設定します。 <b>EPP</b> ：EPPモードに設定します。 <b>ECP</b> ：ECPモードに設定します。
	EPP Version	「Parallel Port Mode」で[EPP]を選択すると表示されます。初期値 [1.9] のまま使用します。
	ECP Mode DMA Channel	「Parallel Port Mode」で[ECP]を選択すると表示されます。初期値 [DMA3] のまま使用します。
	Parallel Port IRQ	パラレルポートが使用するIRQを設定します。 <b>IRQ7, IRQ5</b>
USB Configuration  USBコントローラの設定をします。	USB Function	初期値 [Enabled] のまま使用します。
	USB2.0 Controller	USBの転送速度を設定します。 <b>Disabled</b> ：USB1.1の転送速度で使用します。 <b>Enabled</b> ：USB2.0の転送速度で使用します。
	USB2.0 Controller Mode	初期値 [HiSpeed] のまま使用します。

## ▶Power メニュー画面

---

「Power」メニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

Suspend to RAM	<p>スリープ状態の設定をします。</p> <p><b>Enabled</b> : メモリ以外の電源が切れます。消費電力はほとんどありません。</p> <p><b>Disabled</b> : ディスプレイなどの電源が切れます。電力消費は通常より若干抑えられる程度です。</p>
ACPI 2.0 Support	初期値 [No] のままで使用します。
ACPI APIC Support	初期値 [Enabled] のままで使用します。

APM Configuration  起動する方法や条件を設定します。	Restore on AC Power Loss	電源スイッチを押さずに、電源供給時に起動するかどうかを設定します。 分電盤などによる複数のコンピュータの同時起動を行うと、コンピュータの動作に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。 <b>Power Off</b> : 電源が供給されても、電源スイッチを押さない限り起動しません。 <b>Power On</b> : 電源オフ時に、電源が供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピュータが起動します。 <b>Last State</b> : コンピュータの動作中に、雷などの影響で突然電源が切断されたあとに電源が再び供給されると、電源スイッチを押さなくてもコンピュータが起動します。コンピュータを正常終了させた状態では、電源が供給されてもコンピュータは起動しません。
	Power On By RTC Alarm	コンピュータを指定した時間に起動する設定をします。 <b>Disabled</b> : 設定しません。 <b>Enabled</b> : 設定します。
	RTC Alarm Date	「Power On By RTC Alarm」で「Enabled」を設定した場合に表示されます。 起動する日を設定します。
	RTC Alarm Hour	「Power On By RTC Alarm」で「Enabled」を設定した場合に表示されます。 起動する時を設定します。
	RTC Alarm Minute	「Power On By RTC Alarm」で「Enabled」を設定した場合に表示されます。 起動する分を設定します。
	RTC Alarm Second	「Power On By RTC Alarm」で「Enabled」を設定した場合に表示されます。 起動する秒を設定します。
	Power On By PCI Devices	電源オフ時、PCI接続のネットワークから起動するかどうかを設定します。この機能は、Windowsを正常に終了した状態でのみ使用可能です。 <b>Enabled</b> : 設定します。 <b>Disabled</b> : 設定しません。
	Power On By PCIE Devices	電源オフ時、PCI Express接続のネットワークから起動するかどうかを設定します。この機能は、Windowsを正常に終了した状態でのみ使用可能です。 <b>Enabled</b> : 設定します。 <b>Disabled</b> : 設定しません。

## ▶ Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面には、大別すると、システムの起動（Boot）に関する項目とSecurityの項目があります。

Security項目のパスワードの設定方法については、「Passwordの設定」を参照してください。

 p.158 「Passwordの設定」




「Boot」メニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

\_\_\_は初期値

\*は項目表示のみ

Boot Device Priority システムを起動するドライブの順番を設定します。	1st Boot Device	1番目に起動するドライブを設定します。初期値は搭載している光ディスクドライブの型番が表示されます。
	2nd Boot Device	2番目に起動するドライブを設定します。初期値は「Removable Dev.」（USB FDDなど）です。
	3rd Boot Device	3番目に起動するドライブを設定します。初期値は搭載しているHDDの型番が表示されます。
	4th Boot Device ※リモートブート機能を有効にすると表示されます。	ネットワークから起動する場合に使用します。（リモートブート機能を有効にするには、「Advanced」メニュー画面－「Onboard Devices Configuration」の「LAN Option ROM」を「Enabled」に設定し、再起動します。）
Hard Disk Drives	1st Drive 2nd Drive	異なる仕様のHDDを2台以上装着すると型番を自動的に検出して表示します。初期値のまま使用します。
	1st Drive 2nd Drive	外付けの記憶装置（USB FDD など）を接続すると型番を自動的に検出して表示します。接続した記憶装置を使用するかどうかを設定します。 外付けの記憶装置：外付け記憶装置を使用します。 Disabled：外付け記憶装置を使用しません。
Boot Settings Configuration	Full Screen Logo	コンピュータ起動時に、ロゴを表示するかどうかを設定します。 Disabled：表示しません。 <u>Enabled</u> ：表示します。
	Bootup Num-Lock	DOS起動時のNumLockの状態を設定します。 Off：NumLock が押されていない状態にします。 <u>On</u> ：NumLock が押された状態にします。



Security  システム起動時や「BIOS Setup ユーティリティ」起動時などのパスワードを設定します。	*Supervisor Password/User Password		Supervisor Password と User Password が設定されているかどうかを表示します。 Installed : パスワードが設定されています。 Not Installed : パスワードが設定されていません。
	Change Supervisor Password		Supervisor Passwordを設定します。  p.159 「パスワードの設定・変更」
	User Access Level		User PasswordでBIOSにログインしたときの制限を設定します。 No Access : BIOSにアクセスできません。 View Only : BIOSを見ることのみ許可されます。 Limited : 一部の設定変更のみ許可されます。 Full Access : Supervisorと同等の権限を許可されます。
	※Supervisor Passwordを設定すると表示されます。		
	Change User Password		User Passwordを設定します。  p.159 「パスワードの設定・変更」
	Password Check		アクセス制限の種類を選択します。 Setup : BIOSへのアクセスを制限します。BIOS起動時にパスワード入力を要求します。 Always : BIOS、システムへのアクセスを制限します。BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。
	※Supervisor PasswordやUser Passwordを設定すると表示されます。		
	TPM Function	TPM LPC Decode	セキュリティチップ (TPM) を使用するかどうかを設定します。 Disabled : 使用しません。 Enabled : 使用します。
Trusted Platform Module		セキュリティチップ (TPM) のセキュリティ機能を使用するかどうかを設定します。 Disabled : 使用しません。 Enabled : 使用します。	
Clear Trusted Platform Module		「TPM Platform Module」を「Enabled」にすると表示されます。 セキュリティチップに保存されている情報を初期化します。 * 初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用できなくなります。また、Windows VistaのHDD暗号化機能「BitLocker」を使用している状態で初期化を行うと、Windowsが起動できなくなり、暗号化しているHDD内のデータも使用できなくなります。セキュリティチップの初期化を行う場合は、お客様の責任において十分に注意して行ってください。 初期化する場合は、  を押し、確認画面が表示されたら [Ok] を選択します。情報が初期化され、コンピュータが再起動します。	
Hard Disk Protection		HDDへのアクセス制限の有効・無効を設定します。アクセス制限を有効に設定したHDDは、ほかのコンピュータに接続しても認識されなくなります。 有効に設定すると、BIOS、システムへのアクセスが制限され、BIOS起動時とシステム起動時、休止状態からの復帰時にパスワード入力を要求します。 Disabled : HDDへのアクセスを制限しません。 Enabled : HDDへのアクセスを制限します。	
※Supervisor Passwordを設定すると、設定可能になります。			

## ▶Exitメニュー画面

「Exit」メニュー画面は、BIOS Setupユーティリティの終了方法などを設定する場合に使用します。

「Exit」メニュー画面の設定項目は、次のとおりです。

Exit & Save Changes	変更した内容（設定値）を保存してから、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Exit & Discard Changes	変更した内容（設定値）を保存せずに、BIOS Setupユーティリティを終了します。
Discard Changes	BIOS Setupユーティリティを終了させずに、変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Setup Defaults	BIOS Setupユーティリティの設定値を、BIOSの初期設定値に戻します。

## ▶BIOSの設定値

BIOS Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておくくと便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

### Main メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
SATA 1/ SATA 2	LBA/Large Mode	Disabled	Auto	Disabled	Auto
	PIO Mode	Auto	0 1 2 3 4	Auto	0 1 2 3 4
	DMA Mode	Auto	SWDMA0 SWDMA1 SWDMA2 MWDMA0 MWDMA1 MWDMA2 UMDA0 UMDA1 UMDA2 UMDA3 UMDA4 UMDA5	Auto	SWDMA0 SWDMA1 SWDMA2 MWDMA0 MWDMA1 MWDMA2 UMDA0 UMDA1 UMDA2 UMDA3 UMDA4 UMDA5
		32Bit Date Transfer	Disabled	Enabled	Disabled
SATA Configuration	Configure SATA as	Standard IDE	RAID	Standard IDE	RAID

## Advanced メニュー画面

項目		購入時の設定		変更内容	
CPU Configuration	Hyper Threading Technology	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Vanderpool Technology	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Onboard Devices Configuration	HD Audio Controller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard 1394 Controller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Onboard PCIE GbE LAN	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	LAN Option ROM	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	IDE Controller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
	Serial Port1 Address	Disabled	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3	Disabled	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3
	Parallel Port Address	Disabled	378 278 3BC	Disabled	378 278 3BC
	Parallel Port Mode	Normal EPP	Bi-Directional ECP	Normal EPP	Bi-Directional ECP
	Parallel Port IRQ	IRQ7	IRQ5	IRQ7	IRQ5
USB Configuration	USB 2.0 Contoroller	Disabled	Enabled	Disabled	Enabled

Power メニュー画面

項目		購入時の設定			変更内容		
Suspend to RAM		Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
APM Configuration	Restore on AC Power Loss	Power Off	Power On	Last State	Power Off	Power On	Last State
	Power On By RTC Alarm	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
	Power On By PCI Devices	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
	Power On By PCIE Devices	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	

Boot メニュー画面

項目		購入時の設定			変更内容			
Boot Device Priority	1st Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)	
	2nd Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)	
	3rd Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)	
	4th Boot Device	Disabled	(	)	Disabled	(	)	
Boot Settings Configuration	Full Screen Logo	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled		
	Bootup Num-Lock	Off	On		Off	On		
Security	Supervisor password	Not Installed	Installed		Not Installed	Installed		
	User password	Not Installed	Installed		Not Installed	Installed		
	Password Check	Setup	Always		Setup	Always		
	TPM Function	TPM LPC Decode	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
		Trusted Platform Module	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled	
Hard Disk Protection	Disabled	Enabled		Disabled	Enabled			

# 第5章 ソフトウェアの 再インストール

ソフトウェアを再インストールする手順について説明します。

「再インストールする前に必ずお読みください」 .....	174
「ソフトウェアの再インストールを行う」 .....	176

# 再インストールする前に必ずお読みください

ここでは、ソフトウェアの再インストールを行う前に知っておいていただきたい情報について記載しています。

HDDをフォーマットして、Windowsや本体ドライバなどをインストールしなおす作業のことを、本書では「再インストール」と記載します。再インストールは、「リカバリ」ともいいます。


## ▶再インストールが必要な場合

再インストールは、次のような場合に行います。通常は、行う必要はありません。

- なんらかの原因でWindowsが起動しなくなり、修復しても問題が解決できない場合
- HDD領域の構成を変更したい場合

### Windowsを修復する

なんらかの原因でWindowsが起動しなくなった場合は、Windowsの再インストールを行う前に「Windows回復環境」でWindowsの修復を行ってみてください。Windowsを再インストールしなくても、問題が解決する場合があります。

 p.216 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

## ▶重要事項


再インストールをする前に、次の重要事項を必ずお読みください。

### 当社製以外のBIOSへのアップデート禁止

当社製以外のBIOSに、絶対にアップデートしないでください。当社製以外のBIOSにアップデートすると、再インストールができなくなります。

### セキュリティソフトウェアの更新サービス

本機に添付のセキュリティソフトウェア「Norton Internet Security 90日版」をインストールして、90日経過後に更新サービスの延長キーを購入して更新サービスを継続している場合、再インストールを行うと、更新サービスの延長が無効になります。更新サービスの延長が無効になってしまった場合は、シマンテックストアまでお問い合わせください。

 『セキュリティソフトウェアをご使用前に』

### 最新の情報

インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認して、紙類が添付されている場合は、その手順に従って作業をすすめてください。

## マニュアルびゅーわのバックアップ

電子マニュアル閲覧ツール「マニュアルびゅーわ」は、Cドライブの「お知らせ」フォルダにあり、Windowsを再インストールすると削除されます。Windowsを再インストールする前に、Cドライブの「お知らせ」フォルダをほかのメディアなどに必ずコピーしてください。

ほかのメディアなどに保存した「お知らせ」フォルダは、Windowsを再インストールした後に、Cドライブにコピーして元に戻します。

# ソフトウェアの再インストールを行う

ここでは、ソフトウェアの再インストール方法について記載しています。

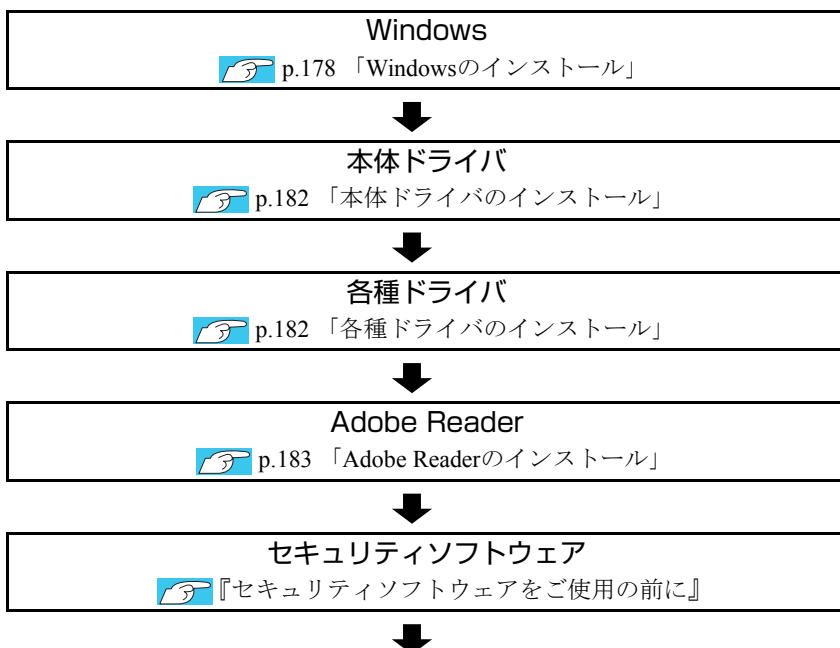
## ▶必要なメディア

本機では、次のメディアに登録されているデータを使用して、再インストールを行います。

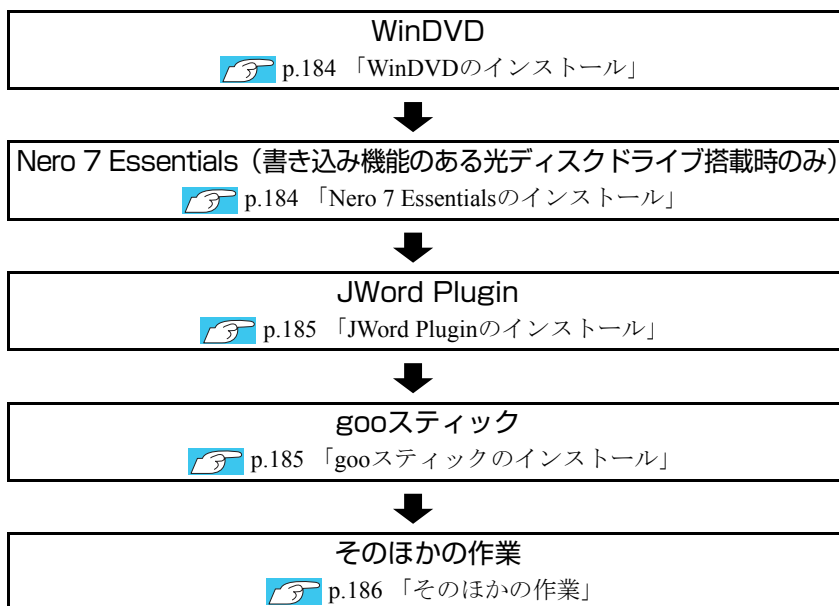
- Windows VistaリカバリDVD  
Windows Vistaが登録されているDVD-ROMです。
- ドライバCD  
本体ドライバ、Adobe Reader、セキュリティソフトウェアなどが登録されているCD-ROMです。
- WinDVD CD-ROM  
DVD VIDEOを再生するソフトウェアが登録されているCD-ROMです。
- Nero 7 Essentials CD-ROM (書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時のみ)  
ライティングソフトウェアが登録されているCD-ROMです。
- そのほか必要なメディア  
お使いのシステム構成によって、必要なメディアは異なります。

## ▶インストールの順番

再インストールは、次の順番で行います。







## ▶インストール作業における確認事項

再インストールを始める前に、下記の点をご確認ください。

### 管理者 (Administrator) アカウントでログオン

インストール作業は、管理者 (Administrator) のアカウントでログオンして行ってください。

### ドライブ名

本章の説明では、ドライブ構成が次のようになっているものとします。  
光ディスクドライブのドライブ名は、HDD領域の数によって異なります。

- Aドライブ : FDD (オプションのUSB FDDを接続した場合)
- Cドライブ : HDD
- Dドライブ : 光ディスクドライブ

### メーカー情報

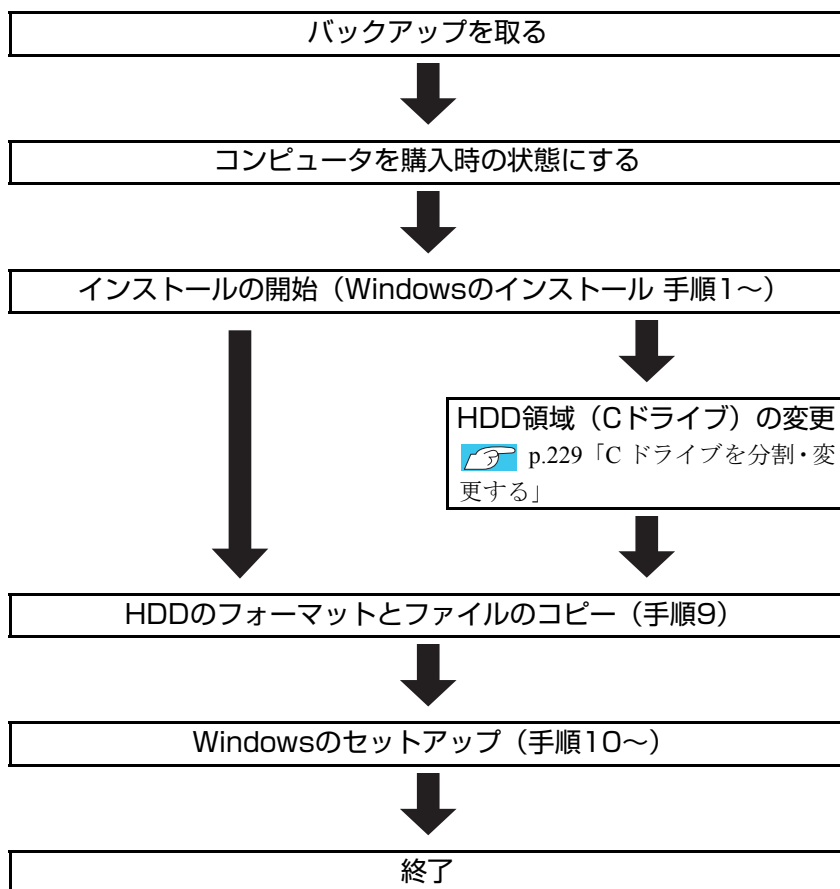
Windowsのインストールを行うと、次の場所に表示されているサポート情報は消去されます。あらかじめご了承ください。

[スタート] - 「コントロールパネル」 - 「システムとメンテナンス」 - 「システム」

## ▶Windowsのインストール

### インストールの流れ

Windowsのインストールの主な流れは、次のとおりです。  
インストール作業は、p.179 「Windowsをインストールする」以降の手順に従って行ってください。



### HDD領域 (Cドライブ) を変更するには

Windowsのインストール中に、Cドライブ (Windowsがインストールされている領域) のサイズを変更したり、分割したりすることができます。

HDD領域の変更や、分割についての詳しい説明は、p.226 「HDD領域 (ドライブ) の分割・変更・作成」をご覧ください。


## ▶Windowsをインストールする

### バックアップを取る

次の設定やデータは、Windowsを再インストールすると消えてしまいます。必要に応じてバックアップしてください。

- マニュアルびゅう

Cドライブの「お知らせ」フォルダをほかのメディアなどにコピーしておいてください。


 p.223 「データのバックアップ」

- ネットワークやモデムの設定

接続に関する設定を書き写しておいてください。

- Internet Explorerの「お気に入り」、Windowsメールの「連絡先」「メールデータ」


バックアップ方法は、次をご覧ください。

 p.223 「データのバックアップ」

このほかのWeb閲覧ソフトやメールソフトをお使いの場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

- セキュリティチップユーティリティの設定

セキュリティチップユーティリティを使用している場合は、設定のバックアップをしてください。


 『セキュリティ機能 (TPM) 設定ガイド』 - 「Windowsを再インストールする前に」

- 重要なデータ

ほかのメディアなどにコピーしておいてください。

HDD領域の変更を行わない場合でも、Cドライブ以外のドライブ (HDD領域) のデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップ方法は、次をご覧ください。

 p.223 「データのバックアップ」

### コンピュータを購入時の状態にする

周辺機器が接続されていたり、BIOSの設定値が変更されていたりすると、正常にインストールが行われない可能性があります。コンピュータを購入時の状態に戻してから、再インストールしてください。

### Windows Vistaのインストール

Windowsのインストールは、次の手順で行います。

- 1 コンピュータの電源を入れ、Windowsが起動したら、「Windows VistaリカバリDVD」を光ディスクドライブにセットします。

「自動再生」画面が表示されたら、 をクリックし、画面を閉じてください。

ここからはインストールを行いません。


- 2** [スタート] - [▶] - [再起動] をクリックして、コンピュータを再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。  
一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。  
Windowsが起動してしまった場合は、手順2へ戻ります。
- 4** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。  
ここでHDD内のWindowsのチェックが行われます。Windowsの修復を促す画面が表示された場合は、画面の指示に従って修復を行ってください。
- 5** 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 6** 「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「Windowsの再インストール」 をクリックします。
- 7** 「Windowsの再インストールを行います。」と表示されたら、[再インストール] をクリックします。
- 8** 「ライセンス条項をお読みください。」と表示されたら、内容を確認し、「条項に同意します」にチェックを付けて、[次へ] をクリックします。
- 9** 「Windowsのインストール場所を選択してください。」と表示されたら、次のとおり作業を続けます。  
<領域変更を行わない場合（通常）>
  - (1) 「ドライブオプション（詳細）」 をクリックします。
  - (2) 「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で「フォーマット」 をクリックします。
  - (3) 「このパーティションをフォーマットすると…」と表示されたら、[OK] をクリックします。  
フォーマットが開始されます。
  - (4) フォーマットが終了すると、[次へ] がクリックできる状態になります。  
「ディスク0パーティション2」（Cドライブ）が選択された状態で [次へ] をクリックします。  
Windows Vistaのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは20分～40分かかります。手順10の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

<領域変更を行う場合>




p.229 「Cドライブを分割・変更する」の手順に従ってください。

- 10** 「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、ユーザー名、パスワード（任意）を入力し、画像一覧からお好みの画像をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。

 p.42 「セットアップ中に入力する項目について」

- 11** 「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されたら、コンピュータ名を入力し、背景一覧からお好みの背景をクリックして選択し、[次へ]をクリックします。

 p.42 「セットアップ中に入力する項目について」


- 12** 「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、保護の設定をクリックして選択します。

「推奨設定を使用します」を選択することをおすすめします。

- 13** 「時刻と日付の設定の確認」と表示されたら、「タイムゾーン」が「大阪、札幌、東京」になっていることを確認し、「日付」、「時刻」を設定し、[次へ]をクリックします。

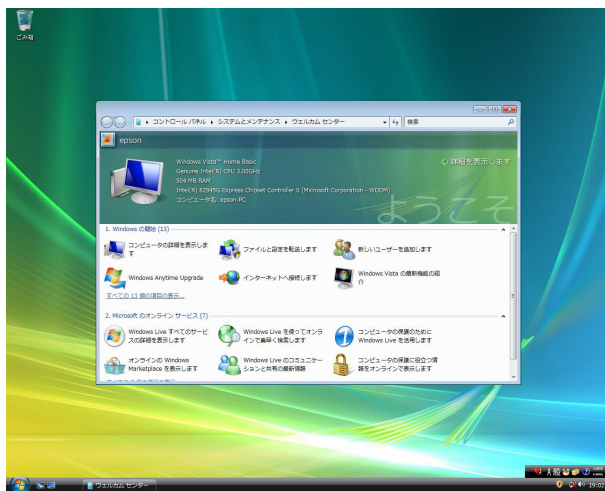
- 14** ネットワークに接続している場合、「お使いのコンピュータの現在の場所を選択してください」と表示されます。場所をクリックして選択します。

- 15** 「ありがとうございます」と表示されたら、[開始]をクリックします。設定が行われます。設定には約5分かかります。

- 16** 手順 10 でパスワードを設定した場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力して、 を押します。

- 17** Windows Vistaのデスクトップ(下記の画面)が表示されたら、「Windows Vista リカバリDVD」を取り出します。


デスクトップの背景は、手順11で選択した背景が表示されます。



これでWindows Vistaのインストールは完了です。

**18** 手順9で領域変更を行った場合は、未割り当ての領域にパーティションを作成します。

パーティションの作成は、ドライバやソフトウェアのインストールが終了してから行ってもかまいません。

 p.230 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」

## ▶本体ドライバのインストール

---

本機のデバイスドライバ類を、一括してインストールします。

インストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「許可」をクリックします。
- 4** 表示された項目から「インストール」をクリックします。
- 5** 「インストール確認」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、[OK]をクリックします。  
デバイスドライバのインストールが開始されます。インストールにはしばらく時間がかかります。
- 6** 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[OK]をクリックします。
- 7** 「インストール処理」画面が表示されたら、[PC再起動]をクリックします。  
Windowsが再起動したら、本体ドライバのインストールは終了です。

## ▶各種ドライバのインストール

---

「ドライバCD」に入っていない、オプション製品（プリンタなど）や拡張ボード（ビデオボードなど）のドライバをインストールします。

インストールには、オプション製品や拡張ボードなどに添付のディスクが必要です。インストール方法は、オプション製品や拡張ボードに添付のマニュアルをご覧ください。

## ▶ Adobe Readerのインストール

「Adobe Reader」は、PDF形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのソフトウェアです。

「Adobe Reader」のインストール手順は、次のとおりです。

- 1** 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2** 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「許可」をクリックします。
- 4** 「ドライバ・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「Adobe Reader」をクリックします。  
「このファイルを実行しますか？」と表示された場合は、[実行]をクリックします。
- 5** 「Adobe Reader…セットアップ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。
- 6** 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、[インストール]をクリックします。  
インストールには、しばらく時間がかかります。
- 7** 「セットアップ完了」と表示されたら、[完了]をクリックします。
- 8** 「使用許諾契約書」が表示されたら、「・・・言語を選択してください。」が「日本語」になっていることを確認します。
- 9** 「使用許諾契約書」に同意するかしないかを選択します。  
同意する場合は、[同意する]をクリックします。[同意しない]を選択すると、「Adobe Reader」は使用できません。
- 10** 「Adobe Reader操作ガイド」が表示されます。  
内容を確認してください。  
以上で、「Adobe Reader」のインストールは完了です。

## ▶セキュリティソフトウェアのインストール

---

本機に添付のセキュリティソフトウェア「Norton Internet Security 90日版」をインストールします。本機に添付の『セキュリティソフトウェアをご使用前に』をご覧ください。

市販のセキュリティソフトウェアなどをインストールする場合は、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。インストールを行ってください。

## ▶WinDVDのインストール

---

「Win DVD」は、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェアです。

WinDVDのインストールは、次の手順で行います。

- 1 「WinDVD CD-ROM」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「SETUP.EXEの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックします。
- 4 「InstallShield Wizard」画面が表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶Nero 7 Essentialsのインストール

---

Nero 7 Essentialsは、書き込み機能のある光ディスクドライブ搭載時のみ添付されています。

Nero 7 Essentialsのインストールは、次の手順で行います。

- 1 「Nero 7 Essentials CD-ROM」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Setup.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「CD-ROM」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックします。
- 4 「Neroマルチインストーラ」画面が表示されたら、[Nero 7 Essentials]をクリックします。
- 5 「Nero 7 Essentialsインストールウィザードへようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。



## ▶JWord Pluginのインストール

---

Internet Explorerのアドレスバーから、日本語でインターネットを検索できるソフトウェアです。

JWord Pluginのインストール手順は次のとおりです。

- 1 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「許可」をクリックします。
- 4 「ドライバ・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「JWord Plugin」をクリックします。
- 5 「JWordプラグイン…へようこそ」と表示されたら、以降は画面の指示に従ってインストールを行ってください。

## ▶gooスティックのインストール

---

Internet Explorerのツールバーに、検索サービス「goo」の検索ボックスを追加するソフトウェアです。

gooスティックのインストール手順は次のとおりです。


- 1 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
- 2 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「許可」をクリックします。
- 4 「ドライバ・ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「gooスティック」をクリックします。
- 5 「インストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。  
これで、gooスティックのインストールは終了です。

## ▶そのほかの作業

---

### 領域の作成

Windowsのインストール中にHDD領域を変更した場合、未設定領域はそのままでは使用できません。Windowsの「ディスクの管理」を使用して、領域の作成を行います。


 p.231 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

### セキュリティチップユーティリティのインストール

セキュリティチップ（TPM）のセキュリティ機能を使用する場合は、BIOSの設定を変更し、セキュリティチップユーティリティをインストールする必要があります。詳しくは、本機に添付の『セキュリティ機能（TPM）設定ガイド』をご覧ください。

### バックアップしたデータや設定の復元

再インストールを行う前にバックアップしたデータや設定を、元に戻します。

- マニュアルびゅうの復元  
バックアップ先のメディアなどから、「お知らせ」フォルダをCドライブにコピーします。
- モデムの設定  
FAXモデムボードの取扱説明書をご覧ください。
- ネットワークの設定  
ネットワーク管理者に確認してください。
- Internet Explorer、Windowsメールの設定の復元  
 p.223 「データのバックアップ」
- 重要なデータ  
バックアップ先のメディアなどから元に戻します。

### そのほかのソフトウェアのインストール

そのほかに使用するソフトウェアがある場合は、インストールします。インストール方法については、ソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

# 第6章 こんなときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。


「トラブルが発生したら」 .....	188
「困ったときに」 .....	189
「トラブル時に役立つ機能」 .....	214
「警告メッセージが表示されたら」 .....	219

# トラブルが発生したら

本機ご使用時にトラブルが発生した場合は、次の場所から対処方法をご確認ください。

- 困ったときに

トラブルが発生した場合の確認事項と対処方法を記載しています。

 p.189 「困ったときに」

- とらぶる解決ナビ

当社ユーザーサポートページの「サポート情報検索」から、技術的なトラブルの解決方法をピックアップして収録しています。



「インフォメーションメニュー」を開き、「とらぶる解決ナビ」をクリック



## 参考

### サポート・サービスのご案内

別冊子『サポート・サービスのご案内』には、当社のサポートやサービスの内容が詳しく記載されています。

困ったときや万一の場合に備えてご覧ください。

# 困ったときに

困ったときの確認事項と対処方法を説明します。不具合が発生した場合に参考にしてください。

対処方法が見つからない場合は、「インフォメーションメニュー」の「とらぶる解決ナビ」や「サポート情報検索」もあわせてご覧ください。


## 不具合一覧

- p.190 「コンピュータが起動できない場合」
- p.192 「システム診断ツール」
- p.193 「コンピュータ本体の不具合 (CPU、メインボード)」
- p.198 「インストール時の不具合」
- p.199 「省電力機能に関する不具合」
- p.200 「キーボードの不具合」
- p.201 「マウスの不具合」
- p.201 「ディスプレイ機能の不具合」
- p.203 「HDDの不具合」
- p.205 「光ディスクドライブの不具合」
- p.208 「ネットワークの不具合」
- p.208 「ソフトウェアの不具合」
- p.211 「メモリの不具合」
- p.212 「マルチカードリーダーの不具合」
- p.212 「拡張ボード、周辺機器の増設に関する不具合」
- p.213 「スピーカ (サウンド) の不具合」
- p.213 「セキュリティチップ (TPM) のセキュリティ機能の不具合」



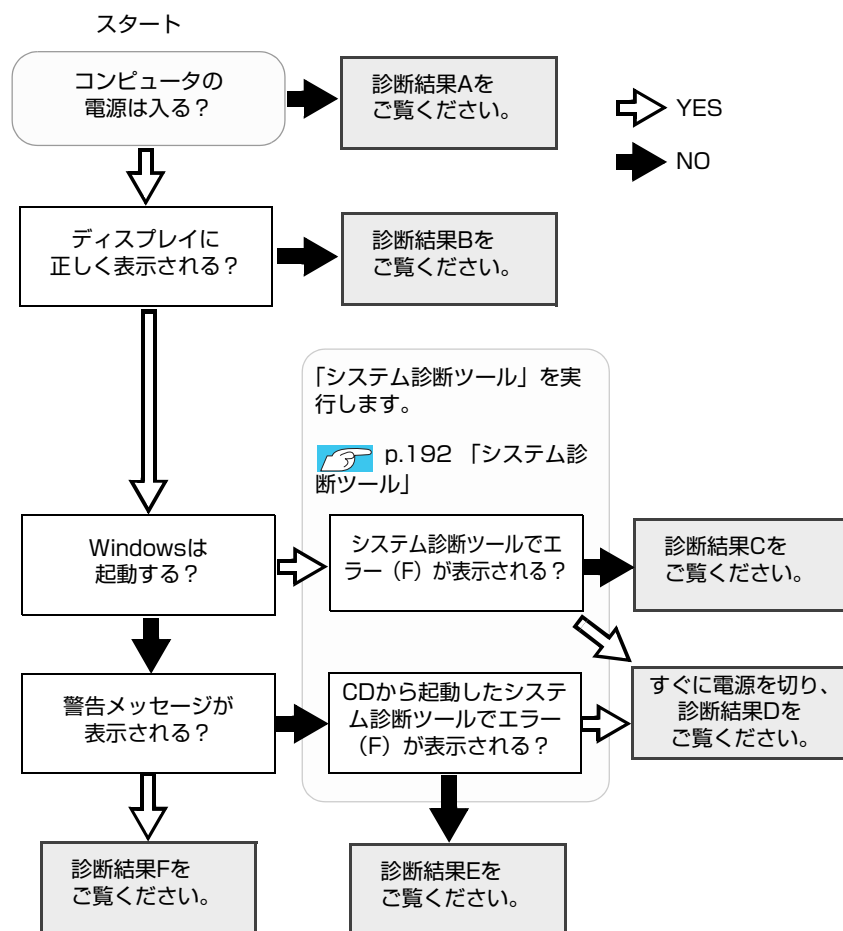
### LAN (インターネット接続) の不具合

LAN (インターネット接続) の不具合については「とらぶる解決ナビ」をご覧ください。

 p.188 「とらぶる解決ナビ」

## ▶コンピュータが起動できない場合

Windowsが起動しない、あるいはエラーが表示されるなど、本機の動作が不安定になり困ったときは、次の診断表をご覧ください。各問いにお答えいただき、たどり着いた診断結果の指示に従ってください。



### 診断結果A

電源供給に不具合が生じている可能性があります。本体の電源コードや各周辺機器用電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

接続に問題ない場合は、コンピュータ本体に問題がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

### 診断結果B

ディスプレイまたはコンピュータ本体からの出力に不具合が生じている可能性があります。次の項目を確認してください。


- ディスプレイの電源やケーブルの接続
- コンピュータのディスプレイ出力先

上記の項目に問題がない場合は、ディスプレイまたは本体に問題がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。


### 診断結果C

ハードウェアに不具合が見当たらないため、Windowsやソフトウェアに不具合が生じている可能性があります。

「インフォメーションメニュー」の「とらぶる解決ナビ」をご覧になり、画面の指示に従ってください。

 p.188 「とらぶる解決ナビ」


「システムの復元」を行うことで不具合が回避できる場合があります。次をご覧になり、「システムの復元」を行ってみてください。


 p.214 「システムの復元」


### 診断結果D


ハードウェアに不具合が生じています。「システム診断ツール」にてエラー (F) が表示されたハードウェアに対して、次のように対応してください。

エラー (F) が表示されているハードウェアのページをご覧ください。エラーの原因によっては、記載内容を確認することにより改善される場合があります。改善されない場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

 p.193 「コンピュータ本体の不具合 (CPU、メインボード)」

 p.203 「HDDの不具合」


 p.212 「拡張ボード、周辺機器の増設に関する不具合」

 p.214 「トラブル時に役立つ機能」

### 診断結果E

コンピュータ本体に不具合が生じている可能性があります。


周辺機器の接続が正しくされているか確認し、下記の参照ページをご覧ください。

 p.193 「コンピュータ本体の不具合 (CPU、メインボード)」

上記の参照ページをご覧になっても解決できない場合は、本機の電源を切り、『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

## 診断結果F

コンピュータ本体による自己診断テストの結果が表示されています。下記の参照ページをご覧ください。警告メッセージに対する指示に従ってください。

 p.219 「警告メッセージが表示されたら」





## ▶システム診断ツール

---

今まで使っていたドライブやメモリなどをシステムが認識しない、Windowsが起動しないなど、故障かな?と思ったら、システムの診断を行います。システムの診断は、本機に添付の「ドライバCD」から行います。

### システム診断を実行する

システム診断ツールの起動と実行方法は、次のとおりです。

- 1 本機の電源を入れ、ドライバCDを光ディスクドライブにセットします。**  
「自動再生」画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
- 2 [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックします。**  
Windowsを起動できないときは、 +  +  を押して、本機を再起動します。
- 3 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えた後、「Kernel Loading..... Press any key to run PC TEST.」と表示されたら、どれかキーを押します。**  
システム診断ツールが起動し、自動的に診断を開始します。
- 4 診断が終了したら、診断結果を確認します。**  
「F」が表示された場合は、表示された項目に不具合がある可能性があります。『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。
- 5 光ディスクドライブからドライバCDを取り出し、電源を切ります。**  
これでシステム診断は完了です。



## ▶コンピュータ本体の不具合（CPU、メインボード）



電源を切ってから、もう一度入れなおす場合には、20 秒程度の間隔を空けてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、正常にシステムが起動しなくなる場合があります。

### 現象

システム診断ツールで、CPUにエラー（F）が表示される。

### 確認と対処

- 本機に搭載された CPU に、故障などの障害が発生している可能性があります。『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

### 現象

システム診断ツールで、メインボードにエラー（F）が表示される。


### 確認と対処

- チップセットドライバが正常に動作していない可能性があります。「チップセットドライバ」を再インストールした後、再度「システム診断ツール」を実行してください。  
「チップセットドライバ」の再インストール手順は、次のとおりです。
  - (1) 「ドライバCD」を光ディスクドライブにセットします。
  - (2) 「自動再生」画面が表示されたら、「Install.exeの実行」をクリックします。  
「自動再生」画面が表示されない場合は、[スタート] - 「コンピュータ」 - 「EPSON\_CD」をダブルクリックします。
  - (3) 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「許可」をクリックします。
  - (4) 表示された項目から「項目別インストール」をクリックします。
  - (5) 「ドライバ・ソフトウェアのインストールと削除」画面が表示されたら、「チップセットドライバ」にチェックを付けて [インストール] をクリックします。
  - (6) 「ドライバ・ソフトウェアのインストール確認」画面が表示されたら、確認画面に「チップセットドライバ」が表示されているのを確認し、[インストール開始] をクリックします。
  - (7) 「インストール確認」画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、[OK] をクリックします。  
以降は画面の指示に従ってください。

## 現象

起動時に電源ランプが点灯しない。


## 確認と対処

- 電源コードが正しく接続されているか確認します。  
 p.29 「コンピュータの設置」
- コンセントに電源が供給されているか確認します。ほかの電気製品を接続して確認してください。
- 電源コード、コンセントに問題がない場合には、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

## 現象


起動時に画面に警告メッセージが表示される、または起動しない。




## 確認と対処

- 現象が発生する前に周辺機器の増設やアプリケーションのインストールを行った場合には、それらが原因となっている可能性があります。周辺機器の取り外しやアプリケーションの削除をして、現象の発生する前の状態に戻してください。
- USB HDDなどの大容量記憶装置を接続したまま、本機の電源を入れると、Windowsが起動するまでに5分ほど時間がかかる場合があります。  
この場合は、「BIOS Setupユーティリティ」で「大容量記憶装置」の順番を「Windowsの入っているHDD」より下に設定してください。  
 p.168 「Bootメニュー画面」
- 本機の状態が、前回使用していたときと異なる場合には、次のメッセージが表示されることがあります。

CMOS Settings Wrong  
Press F1 to run SETUP

このメッセージが表示されたら、**F1**を押して、「BIOS Setupユーティリティ」を起動します。起動後は、通常の場合、そのまま「Exit & Save Changes」を実行して、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。

 p.153 「BIOS Setupユーティリティの操作」






- 起動時に警告メッセージが表示される場合には、警告メッセージを確認してください。起動時の自己診断テストの結果、ハードウェアに問題が発生している可能性があります。問題点が解決できない場合には、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。
  -  p.219 「警告メッセージが表示されたら」
- BIOSの設定が正常でない可能性があります。「BIOS Setupユーティリティ」で設定値を初期値に戻してください。
  -  p.153 「BIOS Setupユーティリティの操作」
- 「BIOS Setupユーティリティ」の値を初期値に戻しても問題が解決しない場合は、CMOS RAMを初期化してみてください。
  -  p.237 「CMOS RAMの初期化」
- 警告音（ビープ音）が鳴って起動中に止まってしまう場合は、起動時の自己診断テストで異常が発見されています。音の種類、音の長さなどをメモして、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。

## 現象

起動時に次のようにパスワードの入力が要求される。また、パスワードを入力しても起動しない。

Enter Password:

## 確認と対処


- 「BIOS Setupユーティリティ」でパスワードが設定されています。正しいパスワードを入力してください。
  -  p.158 「Passwordの設定」
- パスワードを正しく入力しているか確認します。 の状態により数値が正しく入力されていない場合があります。
  -  p.60 「キーロック表示ランプ」
- パスワードを忘れてしまった場合には、強制的に解除することができます。ただし、HDDへのアクセスも制限していた場合は、そのHDDの使用はできません。
  -  p.237 「CMOS RAMの初期化」
 強制的に解除した場合、BIOSの設定が初期化されてしまい、BIOSを再度設定する必要があります。「BIOSの設定値」に変更内容を記入している場合は、「BIOSの設定値」をご覧ください。
  -  p.170 「BIOSの設定値」

## 現象

起動時に次のようなメッセージが表示されてWindowsが起動しない。

- DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER
- Invalid system disk Replace the disk, and then press any key
- Operating system not found


## 確認と対処

- HDDを増設したあと起動しなくなった場合には、HDDが正しく装着されているか確認してください。  
 p.139 「ドライブ装置の接続」
- システムが登録されていないFDをUSB FDDにセットしている場合は、FDを抜いてください。
- メモ리카ードをスロットにセットしていたり、USBフラッシュメモリなどの周辺機器をUSBコネクタに接続していたりする場合は、本機をシャットダウンして電源を切り、周辺機器を取り外してから、再度電源を入れてください。

## 現象

Windowsが起動せず、「システム回復オプション」画面が表示された。


## 確認と対処

- Windowsに不具合が起きると、HDD内に設定されている「Windows回復環境 (Windows RE)」が自動的に起動します。「システム回復オプション」画面はWindows REの画面です。Windows REの機能を使用して、不具合を修復してください。Windows REの概要は、 p.216 「Windows回復環境 (Windows RE) を使う」をご覧ください。

## 現象

ハングアップしてしまい何も反応しない。

## 確認と対処

- タスクマネージャで応答のないプログラムを終了させます。  
応答のないプログラムを終了させる手順は、次をご覧ください。  
 p.56 「ハングアップしたときは」
- 応答のないプログラムを終了させることができない場合には、電源スイッチを5秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。このあと、20秒程待ってから、電源を入れなおします。電源を入れても起動しない場合は、本機背面の電源コードを抜いて、1分程待ってから差しなおし、電源を入れてみてください。

## 現象

「BIOS Setupユーティリティ」の情報、日付、時間などの設定が変わってしまう。

## 確認と対処

- 本体内部のリチウム電池の残量が少なくなり、データを保持できなくなっている可能性があります。リチウム電池を交換してください。

 p.234 「リチウム電池の交換」

## 現象

BitLockerでドライブを暗号化した状態でBIOSのアップデートやBootの順番の変更を行ったところ、BitLockerのパスワード入力やパスワードを保存してあるUSBフラッシュの挿入を求められた。

(BitLocker は、Windows Vista Ultimate および Windows Vista Enterpriseの機能です。)

## 確認と対処

- パスワードを入力するか、パスワードを保存してあるUSBフラッシュを挿入してください。BIOSのアップデートやBootの順番の変更を行うときは、BitLockerのドライブ暗号化を解除した状態で行ってください。

## 現象

終了処理をしても電源が切れない。

## 確認と対処

- Windows Vistaでは、[スタート] - [⏻] を押すと、本機は「スリープ状態」になります。電源を切りたい場合は、[スタート] - [▶] - 「シャットダウン」で電源を切ってください。
- 正しい処理を行っても電源が切れない場合は、電源スイッチを5秒以上押し続けてみてください。

## ▶インストール時の不具合

---

---

### 現象

インストールがマニュアルどおりにできない。

### 確認と対処

- 本書では、インストール手順中の光ディスクドライブのドライブレターを「D:」と記載しています。光ディスクドライブのドライブレターは、HDD領域の数によって変わります。[スタート] - 「コンピュータ」で光ディスクドライブのドライブレターを確認してください。
- 本書の手順は、p.18 「本製品の仕様とカスタマイズについて」で記載している製品仕様にインストールを行うことを前提に説明しています。オプションの拡張ボードや周辺機器を増設している場合は、手順が異なることがあります。各機器に添付のマニュアルもあわせてご覧ください。
- 本書の手順は、HDDのフォーマット後にインストールを行うことを前提に記載しています。それ以外の場合は、手順が異なることがあります。不明な点は『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。
- インストール方法に関する最新情報を記載した紙類が添付されている場合があります。梱包品を確認してみてください。

### 現象

Windows VistaリカバリDVDを光ディスクドライブにセットしてもWindowsの再インストールが開始されない。

### 確認と対処

- 光ディスクドライブの起動順位を HDD よりも下に設定している可能性があります。「BIOS Setupユーティリティ」を実行して、起動順位を変更してください。




 p.168 「Bootメニュー画面」

## ▶省電力機能に関する不具合

### 現象

正しく省電力状態に移行できない。または省電力状態から復帰できない。

### 確認と対処

- 使用しているソフトウェアや常駐ソフト、増設している周辺機器の影響により省電力機能が正常に働かない可能性があります。ソフトウェアの削除や常駐ソフトの解除、周辺機器の一時的な取り外しを行い、省電力機能が正常に働くか確認してください。
- 「BIOS Setupユーティリティ」の「Power」メニュー画面－「Suspend to RAM」を「Disabled」に設定してください。  
 p.166 「Power メニュー画面」
- 休止状態のときは、キーボードやマウスの操作では、省電力状態から復帰しません。電源スイッチを押して本機を復帰させてください。  
スリープ状態のときは、本機の電源スイッチ、またはキーボード上のPowerキーを押すと復帰します。  
マウスがUSB接続の場合は、マウスの操作でも復帰します。  
 p.118 「省電力状態からの復帰方法」
- 省電力状態から復帰できない場合は、本機を再起動してください。ただし、省電力状態移行前に作成した未保存のデータはすべて消失します。  
 p.113 「本機を省電力状態にする」



## ▶キーボードの不具合


---

### 現象

数値キーを押しても数値が入力されない。

### 確認と対処

- 数値キーは  の状態により機能が変わります。 を押して、オンの状態にします。


 p.60 「キーロック表示ランプ」

### 現象

どのキーを押しても応答がない。

### 確認と対処

- キーボードが正しく接続されているか確認します。キーボードの接続は、本機の電源を入れる前に行ってください。

 p.29 「コンピュータの設置」

- マウスを操作してみてください。マウスで操作できる場合もあります。
- ソフトウェアが時間のかかる処理を実行している可能性もあります。ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- プログラムがハングアップしている可能性もあります。しばらく待っても反応がない場合は、タスクマネージャでプログラムを終了してください。

 p.56 「ハングアップしたときは」

### 現象

キートップにある文字や記号が入力できない。

### 確認と対処

- 直接入力モードで日本語を入力することはできません。



## ▶マウスの不具合

### 現象

マウスを動かしても、マウスポインタが動かない。

### 確認と対処

- マウスが正しく接続されているか確認します。PS/2接続のマウスは、本機の電源を入れる前にPS/2コネクタへ接続してください。



p.29 「コンピュータの設置」

- キーボードを操作してみてください。キーボードで操作できる場合もあります。
- ソフトウェアが時間のかかる処理を実行している可能性もあります。ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- プログラムがハングアップしている可能性もあります。しばらく待っても反応がない場合は、タスクマネージャでプログラムを終了してください。



p.56 「ハングアップしたときは」

### 現象

マウスポインタの動きが悪い。

### 確認と対処

- 表面が反射する場所、または表面がざらざらしているような場所で使用していないか確認してください。マウスの動きが本機に正確に伝わりません。

## ▶ディスプレイ機能の不具合

### 現象

起動時にディスプレイに何も表示されない。

### 確認と対処

- ディスプレイの電源ランプが点灯しているか確認します。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- ディスプレイのケーブルが本機に正しく接続されているか確認します。ビデオボード装着時は、ビデオボードに接続されているか確認してください。





p.29 「コンピュータの設置」

- ディスプレイの画面の明るさやコントラストを調節してください。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- 本機の電源を切ってから20秒以内に電源を入れると、システム管理機能が電源を異常と判断する場合があります。一度電源を切って、20秒以上待ってから電源を入れてみてください。
- 警告音（ビープ音）が鳴った場合は、起動時の自己診断テストにて異常が発見された可能性があります。音の種類、音の長さなどを確認した上で、『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。

## 現象

使用中に何も表示されなくなった。


## 確認と対処

- 本機が省電力状態になってるため、ディスプレイがスタンバイになっている可能性があります。  
本機の電源ランプが点滅している場合は、スリープ状態です。本機の電源スイッチ、またはキーボード上のPowerキーを押してください。マウスがUSB接続の場合は、マウス操作でも復帰します。  
本機の電源ランプが消えている場合は、休止状態です。本機の電源スイッチ、またはキーボード上のPowerキーを押してください。  
 p.118 「省電力状態からの復帰方法」
- ディスプレイの画面の明るさやコントラストを調節してください。調整方法については、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。
- ディスプレイのケーブルが本機に正しく接続されているか確認してください。  
ビデオボード装着時は、ビデオボードに接続されているか確認してください。  
 p.29 「コンピュータの設置」
- ディスプレイの故障の場合には、ディスプレイの販売元にご確認ください。

## 現象

画面がちらつく、文字がにじむ。

## 確認と対処


- リフレッシュレートを調節してみてください。  
 p.95 「リフレッシュレートの設定」

## 現象

画面の解像度などを変更したあと、画面が乱れたり何も表示されなくなつた。

## 確認と対処

- ディスプレイの選択を誤っている可能性があります。ディスプレイのマニュアルを参照して確認してください。
- 使用中のディスプレイでは表示できない解像度を選択した可能性があります。セーフモードで起動して、解像度を変更してみてください。

 p.214 「セーフモードでの起動」

# ▶HDDの不具合

## 現象

HDD容量がマニュアルに記載されている容量とWindows上で異なって表示される。

## 確認と対処


- 本機に搭載されているHDD容量をWindows上で確認すると、マニュアルに記載されているHDD容量より少なく表示されます。  
これは、Windows上では容量を計算や表示する場合に「2進法」(0と1の2つの数字を用いる表記法)を使用しているのに対して、マニュアルではHDDなどの仕様を表記する際に用いられている「10進法」(0~9の数字を用いる表記法)を使用していることによる違いです。  
2進法で表記した1KB(キロバイト)は「1024Byte」になるのに対し、10進法で表記した場合には「1000Byte」となります。そのため、WindowsなどのOS上で表示されるHDD容量は、マニュアルに記載されている容量よりも少なく表示されます。

## 現象


それまで問題なく使用していたHDDが認識されなくなった。

## 確認と対処

- HDDに問題が発生している可能性があります。「BIOS Setupユーティリティ」を起動して、HDDの状態を確認してください。

 p.162 「Mainメニュー画面」



- RAIDを構成している場合、「RAID Configuration Utility」でRAIDの状態を確認してください。

 p.71 「RAID Configuration Utilityの起動と終了」

## 現象

増設したHDDが使用できない。


## 確認と対処

- HDDに接続しているS-ATAケーブル、電源ケーブルを確認します。  
 p.146 「HDDの取り付け・取り外し」－「取り付け」手順6
- 新しいHDDを使用する場合には、装着後にHDDの領域作成とフォーマットを行う必要があります。  
 p.226 「HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成」

## 現象

HDDからWindowsが起動しない。

## 確認と対処

- HDDの起動順番が正しく設定されているか確認してください。  
 p.168 「Bootメニュー画面」

## 現象

Windowsの再インストールをしたら、HDDの空き容量が大幅に減ってしまった。

## 確認と対処

- p.179 「Windows Vistaのインストール」手順9で、Cドライブのフォーマットを行わずにWindowsのインストールをしてしまうと、以前のWindowsのデータがWindows.oldフォルダに保存されるため、HDDの空き容量が大幅に減ってしまいます。Windows.oldフォルダが不要な場合は、削除してください。Windows.oldフォルダは次の場所にあります。

[スタート]－「コンピュータ」－「Cドライブ」

通常は、手順どおりにCドライブをフォーマットしてからWindowsのインストールをしてください。

## ▶光ディスクドライブの不具合

### 現象

セットした光ディスクメディアにアクセスできない。


### 確認と対処

- 光ディスクメディアが正しくセットされているか確認してください。
- 光ディスクメディアを挿入した直後、アクセスランプ点灯中は、読み込み準備のためアクセスできません。この場合はアクセスランプの消灯を待って、もう一度アクセスしてください。
- メディアの表面にキズなどがいないか確認してください。
- 本機に添付されているCD-ROM（データが登録されているCDなど）にアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできない光ディスクメディアに問題がある可能性があります。
- セットした光ディスクメディアが書き込み済みのメディアの場合、光ディスクドライブとの相性によりアクセスできない可能性があります。

### 現象

光ディスクメディアをセットすると画面が開いてしまう。

### 確認と対処

- セットした光ディスクメディアに自動再生機能があると、自動的に画面が開きます。メディアに登録されている内容を見たい場合は、[キャンセル] や、 をクリックして、画面を閉じます。その後、[スタート] - 「コンピュータ」のCD-ROMアイコンを右クリックして、「開く」を選択します。


### 現象

光ディスクメディアへの書き込みができない。


### 確認と対処

- DVD-ROMドライブでは、メディアへの書き込みができません。


- 光ディスクドライブで書き込みを行う場合は、専用のライティングソフトが必要です。書き込み機能のある光ディスクドライブを選択された場合、購入時に、「Nero 7 Essentials」がインストールされています。光ディスクメディアのフォーマットに関する不具合や、書き込みに関する不具合については、次のマニュアルを参照してください。

 「マニュアルびゅーわ」－『Neroユーザーガイド』


- メディアへの書き込みをドラックアンドドロップで行うには、「InCD」でメディアをフォーマットする必要があります。

 p.83 「Nero 7 Essentialsの使い方」

- InCDで使用できるメディアはCD-RW、DVD±RW、DVD-RAMのみです。

 p.83 「Nero 7 Essentialsの使い方」


- 「InCD」でフォーマットしたメディアは、「Nero 7 Essentials」での書き込みができません。「Nero 7 Essentials」で「ディスクの消去」を行ってください。

 p.83 「Nero 7 Essentialsの使い方」

- 本機が省電力状態になると、書き込み可能な光ディスクメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力機能に移行しないように設定してください。

 p.116 「省電力状態に移行する方法」

- お使いの光ディスクドライブ対応のメディアを使用しているか確認してください。対応メディアは、次のマニュアルを参照してください。

 「マニュアルびゅーわ」－『光ディスクドライブ取扱説明書』


- 光ディスクメディアが正しくセットされているか、確認してください。
- 光ディスクメディアの表面に汚れやキズなどがないか確認してください。
- 光ディスクメディアの残量があるか確認してください。
- ヘッドレンズの汚れによって書き込みができない場合があります。
- 光ディスクドライブとの相性によって、セットした光ディスクメディアに書き込めない場合があります。

## 現象

オーディオCDやDVD VIDEO再生時に、音声が出力されない。

## 確認と対処

- 本機にスピーカは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、アンプ内蔵スピーカを本機背面のサウンドコネクタに接続してください。

 p.34 「スピーカの接続」

- ボリュームコントロールが「ミュート」または「レベル0」に設定されていないか確認します。

 p.98 「音量の調節」

## 現象

セットした光ディスクメディアが取り出せない。

## 確認と対処

- コンピュータの電源が入っているか、確認してください。
- ソフトウェアによっては、独自の取り出し方法でないとメディアが取り出せないものもあります。詳しくは、お使いのソフトウェアに添付のマニュアルをご覧ください。

## 現象


DVD VIDEOの再生ができない。

## 確認と対処

- DVD VIDEOを再生するには、専用の再生ソフトウェアが必要です。本機には、「WinDVD」が購入時にインストールされています。

DVD VIDEO再生に関する不具合については、WinDVDのヘルプを参照してください。

- 解像度や色数、リフレッシュレートを変更してみてください。

 p.94 「解像度や表示色の変更方法」

 p.95 「リフレッシュレートの設定」

- ディスプレイを2台接続して、クローン表示またはミラー表示をしていると、「使用しているディスプレイ環境は保護されているコンテンツの再生をサポートしていません。」というメッセージが表示され、DVD VIDEOの再生が中断されます。このような場合は、クローン表示またはミラー表示を無効にしてください。

### 現象

DVD VIDEOの再生が不安定になる。

### 確認と対処

- WinDVD を起動して、「セットアップ」－「ビデオ」タブ－「ビデオハードウェア構成」の「ハードウェア アクセラレーション使用」と「ハードウェア アクセラレーション使用」のチェックを外してみてください。  
詳しくは、WinDVDのヘルプをご覧ください。

## ▶ネットワークの不具合

---

---

### 現象

「システム診断ツール」にて、「ネットワーク」にエラー (F) が表示された。

### 確認と対処

- 本機のネットワーク機能に不具合が生じている可能性があります。『サポート・サービスのご案内』をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。



#### 参考

#### ネットワークの不具合

ネットワークの不具合については「とらぶる解決ナビ」にも掲載しています。「とらぶる解決ナビ」もあわせてご覧ください。



p.188 「とらぶる解決ナビ」

---

## ▶ソフトウェアの不具合

---

---

### 現象

ソフトウェアの使用中に突然停止 (ハングアップ) した。

### 確認と対処

- 過度の電源ノイズ、瞬時電圧低下などが発生した可能性があります。電源ノイズによる現象には、ディスプレイのノイズ、システムの再起動、停止 (ハングアップ) などが含まれます。ソフトウェアを再度実行してみてください。
- ケーブルの接続不良や、キーボード内のゴミやホコリ、電源の出力不安定、もしくは、そのほかの部品の不良によって不具合が発生する場合があります。点検を行ってみてください。



- HDDに対するデータの読み書きの最中に振動が加わると、システムがハングアップする場合があります。
- ハングアップしてしまったら、応答のないプログラムを終了してから本機を再起動します。

 p.56 「ハングアップしたときは」

## 現象

アプリケーションやプログラムが停止し、「データ実行防止」画面が表示される。

## 確認と対処

- アプリケーションやプログラムがウイルスに感染している可能性があります。セキュリティソフトウェアでウイルスの検索・駆除を行ってください。
- 安全なアプリケーションを実行して「データ実行防止」画面が表示される場合は、アプリケーションの製造元へお問い合わせください。
- 問題が解決しない場合は、『サポート・サービスのご案内』（別冊）をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

## 現象

ソフトウェアが起動しない。

## 確認と対処

- ソフトウェアの起動に必要とされるシステムリソース（メモリ容量やHDDの使用可能な容量など）が整っているか確認してください。エラーメッセージなどが表示される場合は、ソフトウェアのマニュアルを参照して必要な対処を行ってから、再度起動してみてください。
- ソフトウェアを正しい方法でインストールしたか、ソフトウェアの起動手順を正しく実行しているか確認してください。
- 実行しようとしているディレクトリが正しいか確認してください。FDやCD-ROMなどから起動しようとしている場合は、ドライブおよびディレクトリの指定が正しく行われているか確認してください。
- ソフトウェアの使用許諾を受けていない場合（違法コピーなど）、ソフトウェアが動作しないことがあります。ソフトウェアの正式版を使用してください。
- ソフトウェアの使用方法をもう一度確認してください。それでもソフトウェアの不具合が解決できないときは、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

## 現象

Internet Explorerの使用時に「警告」(情報バー)画面が表示される。

## 確認と対処

- Internet Explorerは、購入時、セキュリティ強化のために、意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう、設定されています。Internet Explorer使用時に「警告」(情報バー)画面が表示されたら、[OK]をクリックして画面を閉じ、情報バーをクリックして、表示された項目から適切な対処を選択してください。

## 現象

Internet Explorerの使用時に「セキュリティの警告」画面が表示される。

## 確認と対処

- セキュリティ強化のために、Active Xなどの意図しないプログラムや実行ファイルのダウンロードについて警告するよう、購入時に設定されています。プログラムやダウンロードを実行する場合は、「セキュリティの警告」画面の内容をよくお読みください。

Internet Explorerの設定は次の場所で確認できます。

- [セキュリティセンター] - 「インターネットオプション」 - 「セキュリティタブ」をクリック
- Internet Explorerの「ツール」 - 「インターネットオプション」 - 「セキュリティタブ」をクリック

## 現象

WindowsメールでHTMLメールの画像が表示されない、または添付ファイルが開けない。

## 確認と対処

- メール添付のファイルや送信元の不明なメールによるウイルスの侵入から、コンピュータを保護するための設定が購入時にされています。

HTMLメールの画像を見る場合は、送信元を確認して、件名の下にある情報バーをクリックします。

添付ファイルについての設定は、次の場所で確認できます。

Windowsメールの [ツール] - 「オプション」 - 「セキュリティ」 タブ - 「ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない」

## 現象

「インフォメーションメニュー」の「マニュアルびゅーわ」がグレーになって使用できない。

## 確認と対処

- バックアップした「マニュアルびゅーわ」を復元してください。  
バックアップ先のメディアなどから、「お知らせ」フォルダをCドライブにコピーします。
- 「マニュアルびゅーわ」のバックアップをしていなかった場合、「マニュアルびゅーわ」を復元することはできません。この場合は、当社で作成したマニュアルのみ、当社のユーザーサポートページからダウンロードすることができます。  
ダウンロードした電子マニュアルは、マニュアルごとにファイルを開いてご覧ください。



p.224 「電子マニュアルのダウンロード」

# ▶メモリの不具合

## 現象

メモリチェックで表示されるメモリ容量が実際の容量と違っている。

## 確認と対処

- 起動時のメモリチェックやWindows上では、メモリ容量が正しく表示されないことがあります。BIOS Setupユーティリティを起動し、「Main」メニュー画面－「System Information」－「Usable Size」で使用可能なメモリ容量を確認してください。



p.162 「Mainメニュー画面」

- メインボード上のビデオ機能を使用している場合、本機は、メインメモリの一部をビデオメモリとして使用します。メインメモリ容量の表示は、ビデオメモリ容量（最小8MB）を差し引いて表示されます。
- メモリを増設した場合は、メモリのタイプが合っているか、スロットの奥までしっかりと差し込まれているか確認してください。また、メモリスロットの組み合わせが正しいか確認してください。



p.128 「メモリの増設」

- 購入時から不具合がある場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでご連絡ください。



## ▶マルチカードリーダーの不具合

---

### 現象

メモリカードが使用できない。

### 確認と対処

- メモリカードを裏表逆に入れていないか確認します。
- メモリカードがメモリスロットの仕様に対応しているか確認します。本機のメモリスロットでは、5VのSmartMediaを使用することができません。  
 p.85 「使用可能なメモリカード」
- 通知領域の「取り外し」アイコンからメモリカードを取り出すと、メモリカードスロットが認識されなくなります。本機を再起動して、再度メモリカードをセットしてください。  
 p.88 「メモリカードのセットと取り出し」

## ▶拡張ボード、周辺機器の増設に関する不具合

---

### 現象

拡張ボード、周辺機器を増設したらコンピュータの動作がおかしくなった。

### 確認と対処

- 増設した機器が、対応する拡張スロットおよびコネクタに正しく装着されているか確認してください。
- 周辺機器を追加するために拡張ボードを装着した場合、周辺機器と拡張ボードの接続が正しいか、正しいケーブルを使用しているかを確認してください。
- 拡張ボードによっては、拡張スロットに装着するだけでなく、本機のメインボードやコネクタとの接続が必要なものがあります。拡張ボードのマニュアルを確認してください。
- 拡張ボードを使用するためのユーティリティなどが正しく実行されているか確認してください。拡張ボードのマニュアルおよびソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- 上記の処置を行っても改善が見られない場合は、拡張ボード、周辺機器の販売元にお問い合わせください。


## ▶スピーカー（サウンド）の不具合

### 現象


音が鳴らない。

### 確認と対処

- 本機にスピーカーは内蔵されていません。音声を出力したい場合は、アンプ内蔵スピーカーを本機背面のサウンドコネクタに接続してください。

 p.34 「スピーカーの接続」

- ボリュームコントロールが「ミュート」または「レベル0」に設定されていないか確認します。

 p.96 「サウンド機能を使う」

## ▶セキュリティチップ（TPM）のセキュリティ機能の不具合

### 現象

セキュリティチップの情報を初期化して、購入時の状態に戻したい。

### 確認と対策

- 初期化を行うと、それまでに暗号化されたデータを使用することができなくなります。また、Windows VistaのHDD暗号化機能「BitLocker」を使用している状態で初期化を行うと、Windowsが起動できなくなり、暗号化していたHDD内のデータも使用できなくなります（BitLockerは、Windows Vista UltimateおよびWindows Vista Enterpriseの機能です）。セキュリティチップの初期化を行う場合は、『セキュリティ機能（TPM）設定ガイド』（別冊）を参照し、お客様の責任において十分に注意して行ってください。

- セキュリティチップの情報の初期化は、「BIOSセットアップユーティリティ」の次の項目で行います。

「Boot」メニュー画面－「Security」－「TPM Function」－「Clear the TPM」で [Press Enter] を選択し、確認画面が表示されたら [Ok] を選択します。

 p.168 「Bootメニュー画面」

# トラブル時に役立つ機能

ここでは、トラブルが発生した場合に役立つ、Windowsの機能について説明します。

## ▶セーフモードでの起動

コンピュータが起動できない場合や、ディスプレイで表示できない解像度を選択して表示ができなくなってしまった場合などには、セーフモードで起動してみてください。

セーフモードで起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を切り、20秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を押し、そのまま離さずじばらく押し続けます。  
**F8** を押すタイミングがずれて、Windowsが起動してしまった場合は、再起動してからやりなおしてください。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「セーフモード」を選択し、**←** を押します。  
セーフモードで起動できた場合は、不具合に対する対処を行ってください。

## ▶システムの復元


コンピュータの動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行ってコンピュータを以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。

復元ポイントは通常、ソフトウェアのインストールなどを行った際に、自動的に作成されますが、手動で作成しておくこともできます。

### システムを復元する

復元ポイントの状態にシステムを戻す方法は、次のとおりです。

システムの復元を行う前に、HDDのデータを他のメディアにバックアップしておくことをおすすめします。

 p.223 「データのバックアップ」

- 1 [スタート] - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システムの復元」を選択します。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

- 3** 「システムの復元」画面が表示されたら、「推奨される復元」を選択し、「次へ」をクリックします。  
復元ポイントを自分で指定したい場合は、「別の復元ポイントを選択する」を選択して「次へ」をクリックし、ポイントを選択して「次へ」をクリックします。
- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、「完了」をクリックします。
- 5** 「システムの復元を開始すると…」と表示されたら、「はい」をクリックします。  
コンピュータが再起動します。
- 6** 再起動後、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。  
これでシステムの復元は完了です。

## 復元ポイントを手動で作成する

復元ポイントを手動で作成する方法は次のとおりです。

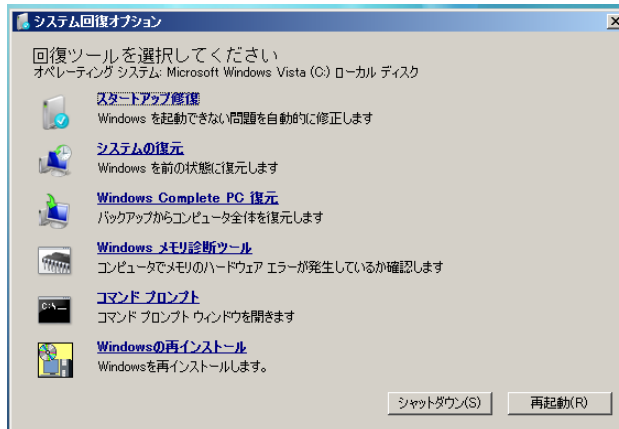
- 1** 「スタート」－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」を選択します。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックします。
- 3** 「システムの復元」画面が表示されたら、「システムの保護」をクリックします。
- 4** 「システムのプロパティ」画面が表示されたら、復元ポイントを作るドライブ（ローカルディスク）にチェックを付けて、「作成」をクリックします。
- 5** 「復元ポイントの作成」と表示されたら、説明を入力し、「作成」をクリックします。
- 6** 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。  
これで復元ポイントの作成は完了です。

## ▶Windows回復環境 (Windows RE) を使う

本機のHDD内の「消去禁止領域」には、「Windows回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、不具合に対する対処を行うことができます。

### Windows REの項目

Windows REには、次の項目があります。



- **スタートアップ修復**

Windowsを起動できない問題を自動的に修正します。Windowsが起動できないときは、まずスタートアップ修復を行ってみてください。

- **システムの復元**

コンピュータの状態を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻します。

- **Windows Complete PC復元**

バックアップしてあったデータを使用してコンピュータ全体を復元します。Windows Vista Home Premium、Windows Vista Home Basicには、Windows Complete PC復元のためのバックアップ機能はありません。

- **Windowsメモリ診断ツール**

メモリにハードウェアエラーが発生しているかどうかを確認します。

- **コマンドプロンプト**

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。



## 「システム回復オプション」画面が表示されたら

Windowsに不具合が起きると、HDD内のWindows REが自動的に起動し、「システム回復オプション」画面が表示されます。

「システム回復オプション」画面が表示されたら、次の手順でWindows REの項目を表示させ、対処を行います。

- 1 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 2 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 3 Windows REの項目が表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

## HDD内のWindows REを手動で起動する

HDD内のWindows REは、手動で起動することもできます。


手動で起動する方法は、次のとおりです。

- 1 コンピュータの電源を切り、20秒程放置してから、電源を入れます。
- 2 「EPSON」と表示され、消えた直後に **F8** を押し、そのまま離さずしばらく押し続けます。  
**F8** を押すタイミングがずれて、「Please select boot device:」画面が表示された場合は、項目からHDD (PM-XXXX) を選択し、**↵** を押した直後に **F8** を押し続けてください。  
Windowsが起動してしまった場合は、再起動してからやりなおしてください。
- 3 「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、「コンピュータの修復」を選択し、**↵** を押します。
- 4 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 5 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 6 Windows REの項目が表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

## DVDのWindows REを使用する

Windows REは本機に添付の「Windows VistaリカバリDVD」にも収録されています。HDD内に設定されているWindows REを誤って消去してしまった場合などに使用してください。

DVDに収録されているWindows REの起動方法は、次のとおりです。

- 1** コンピュータの電源を入れ、Windowsが起動したら、「Windows VistaリカバリDVD」を光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示されたら  をクリックし、画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - 「再起動」をクリックして、コンピュータを再起動します。
- 3** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「Press any key to boot from CD or DVD.」と表示されたら、どれかキーを押します。  
一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindows Vistaが起動してしまいます。Windows Vistaが起動してしまった場合は、手順2へ戻ります。
- 4** 「システム回復オプション」画面が表示されたら、キーボードレイアウトが「日本語」になっていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 5** 「修復するオペレーティングシステムを選択し…」と表示されたら、「Microsoft Windows Vista」が選択された状態で [次へ] をクリックします。
- 6** Windows REの項目が表示されたら、実行したい項目をクリックします。以降は、画面の指示に従って作業を行ってください。

# 警告メッセージが表示されたら

本機は、起動時に本体内蔵の自己診断テストを行い、内部ハードウェアの状態を診断します。起動時に次の警告メッセージが表示された場合には、各警告メッセージの処置を行ってください。処置を行ってもなおらない場合には、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、テクニカルセンターまでご連絡ください。

警告メッセージ	説明および対処法
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	HDDが検出できません。本機の電源を切り、20秒以上待ってから電源を入れてください。
CPU Over temperature Error!	CPUが高温になっています。本機の電源を切り、本機内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。
CPU Fan Error!	CPUファンが正常に動作していません。本機の電源を切り、20秒以上待ってから電源を入れてください。
CPU Over Voltage Error!	CPUの電源電圧が異常です。本機の電源を切り、本機内部が冷えるまで10分以上待ってから電源を入れてください。



# 付録

本機をご使用になる際に役立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

「お手入れ」 .....	222
「データのバックアップ」 .....	223
「電子マニュアルのダウンロード」 .....	224
「セキュリティチップ（TPM）によるデータの暗号化」 .....	225
「HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成」 .....	226
「リチウム電池の交換」 .....	234
「CMOS RAMの初期化」 .....	237
「コンピュータ内部のケーブル接続」 .....	239
「コンピュータを廃棄するときは」 .....	240
「機能仕様一覧」 .....	242

# お手入れ

## ▶本機のお手入れ

本機やキーボード、マウスなどの外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。



ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

# データのバックアップ

Windowsを再インストールすると、Windowsがインストールされるドライブ（通常Cドライブ）に保存しているデータはすべて消去されます。Windowsを再インストールする前に、必要なデータのバックアップを取っておいてください。

## ▶バックアップ方法

自分で作成したファイルやInternet Explorerの「お気に入り」など、HDD内のデータをバックアップする方法は、本機の「インフォメーションメニュー」にある「PCお役立ち情報」で詳しく紹介しています。

### ●「PCお役立ち情報」の見方

バックアップ方法は、次の場所から見るができます。

「インフォメーションメニュー」－「PCお役立ち情報」－「正しく、安全に  
使おう！」項目の「Windowsシステム」



<画面の内容は予告なく変更される場合があります>

## マニュアルびゅーわのバックアップ

電子マニュアル閲覧ツール「マニュアルびゅーわ」のデータは、Cドライブの「お知らせ」フォルダにあります。この「お知らせ」フォルダを、ほかのメディアなどにコピーし保存してください。

保存しておいた「お知らせ」フォルダは、Windowsの再インストール後にCドライブにコピーすると、「マニュアルびゅーわ」が使用できます。

# 電子マニュアルのダウンロード

当社のユーザーサポートページからは、本機や本機で使用している周辺機器などの電子マニュアル（PDF・HTMLなど）をダウンロードすることができます。紙マニュアルをなくしてしまった場合や、「マニュアルびゅーわ」のデータを消してしまった場合などにご利用ください。

電子マニュアルのダウンロードは、次の場所から行います。

「インフォメーションメニュー」－「ユーザーサポートページ（web）」－「ダウンロード」－「マニュアル」

製造番号を  
入力して検索



※ 画面の内容は予告なく変更する場合があります。



制限

ユーザーサポートページからダウンロードした電子マニュアルは、「マニュアルびゅーわ」で見ることができません。マニュアルごとにファイルを開いてご覧ください。

## ▶ダウンロードできるそのほかのデータ

「ユーザーサポートページ（web）」－「ダウンロード」からは、次のデータもダウンロードすることができます。必要に応じてご利用ください。ダウンロードできるデータはお使いの機種により異なります。

- 最新のBIOS
- ドライバ
- ユーティリティ
- 壁紙



# セキュリティチップ (TPM) によるデータの暗号化

本機では、セキュリティチップ (TPM) のセキュリティ機能を使用することにより、本機に保存されているデータや電子メールに対し、高度な暗号化をすることができます。

セキュリティ機能を使用する際は、内容を十分に理解し、お客様の責任において暗号化を行ってください。

セキュリティ機能の使用方法については、『セキュリティ機能 (TPM) 設定ガイド』(別冊) をご覧ください。



セキュリティ機能を使用するには、いくつかのパスワードの設定を行ってください。パスワードを忘れてしまった場合、それまでに暗号化したデータの復元ができなくなります。

## セキュリティ機能を使い始めるまでの準備

セキュリティ機能を使用するための準備の前に、必ず、『セキュリティ機能 (TPM) 設定ガイド』をご覧ください。

セキュリティ機能を使用するには、BIOSの設定を変更後、「セキュリティチップユーティリティ」のインストールが必要です。

### ● BIOSの設定

購入時、BIOSでセキュリティチップのセキュリティ機能は、「Disabled」(無効) に設定されています。セキュリティ機能を使用するには、次の設定を行ってください。

BIOS Setupユーティリティの「Boot」メニュー画面－「Security」－「TPM Function」－「Trusted Platform Module」を「Enabled」(有効) に変更

 p.168 「Bootメニュー画面」

### ● セキュリティチップユーティリティのインストール

購入時、本機にセキュリティチップのセキュリティ機能の設定を行うための「セキュリティチップユーティリティ」はインストールされていません。セキュリティチップのセキュリティ機能を使用するには、セキュリティチップユーティリティのインストールを行ってください。

インストール方法は、『セキュリティ機能 (TPM) 設定ガイド』をご覧ください。

# HDD領域（ドライブ）の分割・変更・作成

ここでは、HDD領域（ドライブ）を分割・変更して使用方法について説明します。

## ▶HDD領域を分割して使用する（概要）

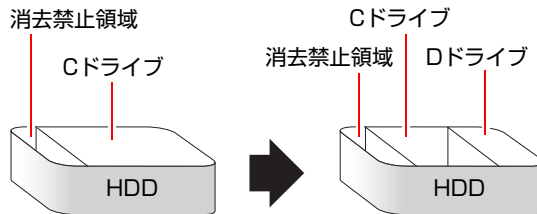
### HDD領域（ドライブ）の分割

HDD領域は、いくつかに分けて、それぞれ別々のドライブとして使用することができます。

HDDを分割した1つ1つを「HDD領域」または「パーティション」とも呼びます。また、Windowsで使えるHDD領域が、「ドライブ」になります。


<1台のHDDを分割する>

例：HDD領域（Cドライブ）を、2つのHDD領域（CドライブとDドライブ）に分割します。



#### 参考

「消去禁止領域」には、「Windows回復環境（Windows RE）」が設定されています。Windows REについての詳細は、次をご覧ください。

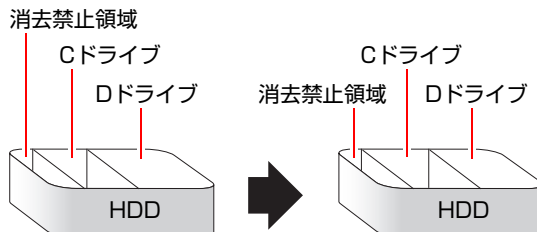
 p.216 「Windows回復環境（Windows RE）を使う」

### HDD領域（ドライブ）のサイズの変更

すでに分割されているHDD領域のサイズ（容量）を変更することもできます。

<ドライブのサイズを変更する>

例：Cドライブのサイズを大きくします。



この場合は、CドライブとDドライブを削除して、分割しなおす必要があります。

## ▶Cドライブを分割・変更する

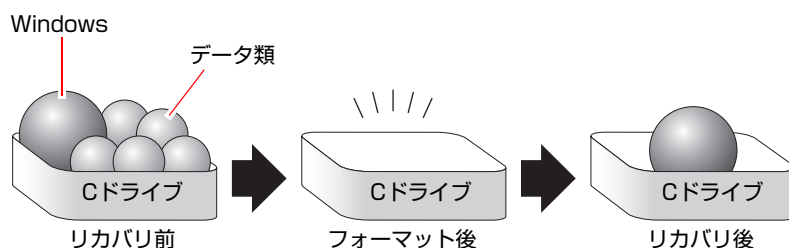
### Cドライブ分割のメリットとデメリット

Cドライブを分割すると、次のようなメリット・デメリットがあります。  
Cドライブを分割する場合は、これらをよく理解した上で行ってください。

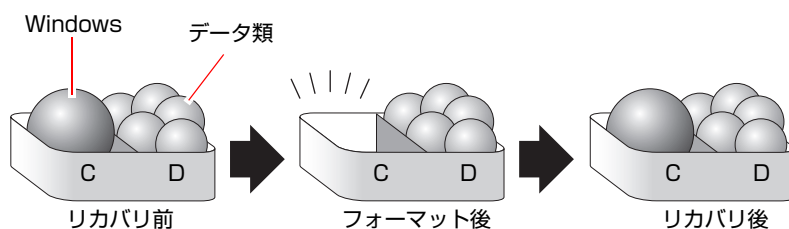
#### ●メリット

HDD領域を分割してデータの保存先を分けておくことで、リカバリ時に最小限の作業で、元の環境に復帰することができます。

<HDD領域が1つの場合>



<HDD領域を分割した場合>



たとえば、WindowsやアプリケーションはCドライブに、作成したデータなどはDドライブに保存しておきます。

この状態でリカバリ（Windowsの再インストール）を行うと、消去されるのはCドライブのみとなるため、Dドライブのデータは、リカバリ後、すぐにそのまま使用することができます。



制限

HDD領域を分割したHDDのリカバリをする場合は、万一に備えてCドライブ以外のドライブの重要なデータをバックアップしてください。

#### ●デメリット

- Cドライブ（Windowsの入っているドライブ）の分割を行うには、リカバリ（Windowsの再インストール）が必要です。
- HDD領域を変更すると、変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。
- HDD領域を分割して使用すると、それぞれ分けられた領域の最大容量までしか使用できないため、それぞれの領域により、容量が制限されます。

## Cドライブの分割・変更の流れ

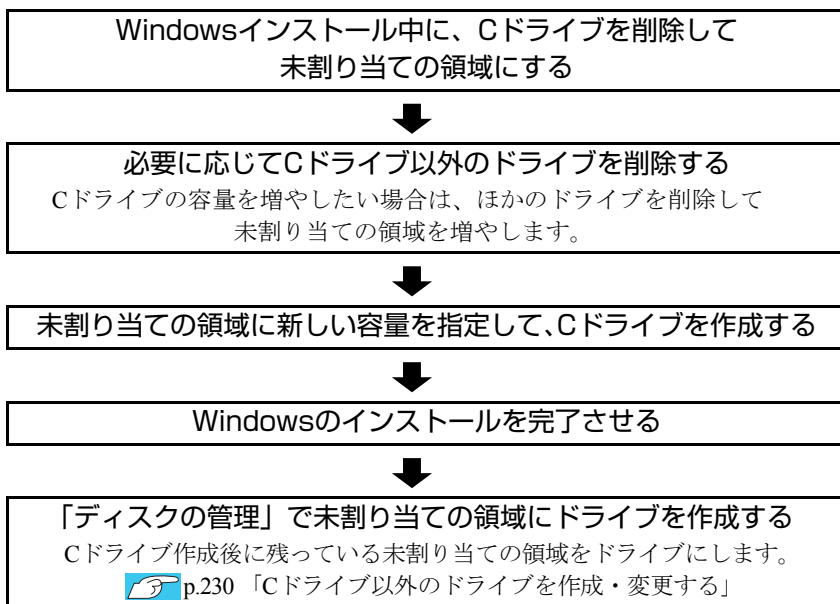
Cドライブの分割・変更は、リカバリ（Windowsの再インストール）中に行います。サイズ（容量）を変更するには、まず変更するドライブを削除してから、サイズを指定して、再作成します。

Cドライブ以外のドライブの変更方法は、p.230 「Cドライブ以外のドライブを作成・変更する」をご覧ください。




ドライブを分割・変更すると、分割・変更したドライブ内のデータはすべて消去されます。


Cドライブの分割・変更の流れは、次のとおりです。



## Cドライブを分割・変更する

Cドライブの分割・変更をする場合は、Windowsの再インストールが必要です。

 p.179 「Windows Vistaのインストール」の手順9を次の手順に読み替えて、Windowsのインストールを行ってください。

- 1** 「ドライブオプション (詳細)」をクリックします。
- 2** 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) を選択し、「削除」をクリックします。
- 3** 「このパーティションを削除すると…」と表示されたら、[OK] をクリックします。  
削除したパーティション (Cドライブ) が「未割り当て領域」となります。
- 4** 次のとおり作業を続けます。  
<Cドライブを分割したい場合>  
(1) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。  
手順5に進みます。  
<Cドライブの容量を増やしたい場合>  
(1) そのほかのパーティションもCドライブと同様に削除し、「ディスク0未割り当て領域」を増やします。  
(2) 「ディスク0未割り当て領域」を選択し、「新規」をクリックします。  
手順5に進みます。
- 5** Cドライブのサイズを決めます。サイズを入力し、「適用」をクリックします。  
Cドライブには、最低でも40GB (40000MB) を割り当てることをおすすめします。
- 6** 「ディスク0パーティション2」(Cドライブ) が選択された状態で [次へ] をクリックします。  
Windows Vistaのインストールが開始されます。システム構成にもよりますが、インストールは、20~40分かかります。  
続いて  p.179 「Windows Vistaのインストール」手順10に進みます。手順10の画面が表示されるまでキーボードやタッチパッドは操作しないでください。

## ▶Cドライブ以外のドライブを作成・変更する

ここでは、Cドライブ以外のドライブ（Dドライブなど）を作成・変更する方法について説明します。

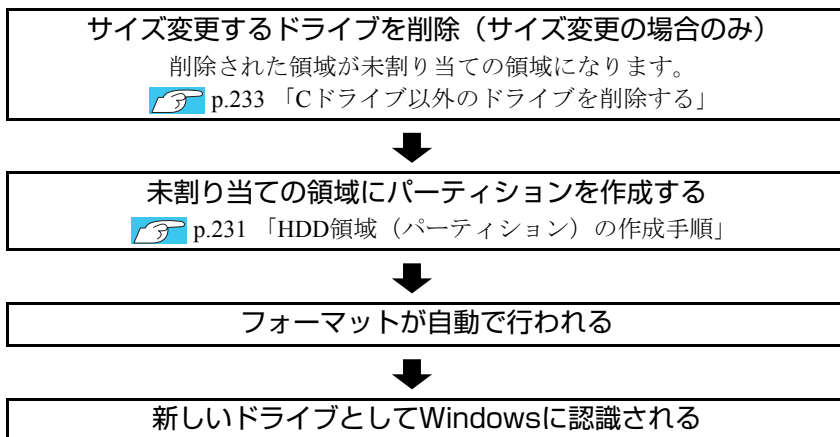
次のような場合にご覧ください。

- Cドライブ以外のドライブのサイズを変更する場合。
- Windowsの再インストール中にCドライブを分割して作成された「未割り当て」の領域をドライブにして使用する場合。
- 増設したHDDを初めて使用する場合。

Cドライブ（Windowsの入っているドライブ）の分割・変更を行う場合は、p.227「Cドライブを分割・変更する」をご覧ください。

### ドライブ作成・変更の流れ

ドライブの作成・変更は、Windowsの「ディスクの管理」で行います。  
ドライブの作成の流れは次のとおりです。



HDD内の未割り当ての領域にパーティションを作成すると、パーティションは、Windows上でドライブ（DやEなど）として利用できるようになります。

ドライブの作成方法は、p.231「HDD領域（パーティション）の作成手順」をご覧ください。

ドライブの削除方法は、p.233「Cドライブ以外のドライブを削除する」をご覧ください。

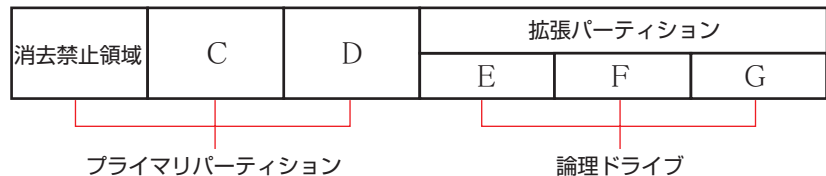
## 参考

パーティションとは

Windowsの「ディスクの管理」では、HDD領域のことを「パーティション」と呼びます。パーティションには、「プライマリパーティション」と「拡張パーティション」があります。

- 1つのHDDに作成できるパーティションは最大で4つです。
- 消去禁止領域もパーティションの1つです。
- パーティションを作成すると、自動的に3つ目まではプライマリパーティションとなり、4つ目は拡張パーティションとなります。
- 拡張パーティションには、論理ドライブをいくつも作成できます。

<パーティションの組み合わせの例>

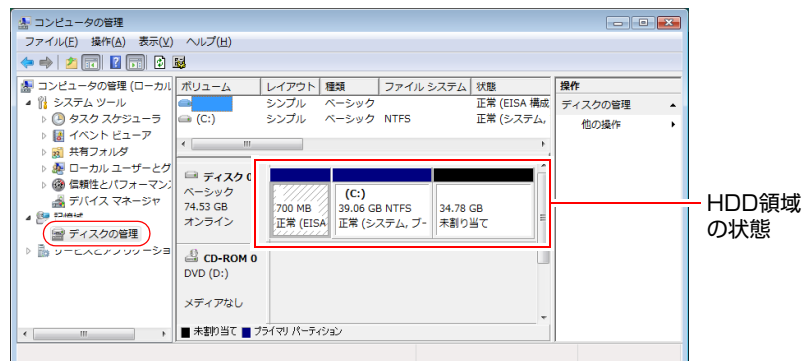


## HDD領域（パーティション）の作成手順

HDD領域（パーティション）を作成する手順は、次のとおりです。

- 1 「スタート」－「コントロールパネル」－「システムとメンテナンス」－「管理ツール」－「コンピュータの管理」をダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。

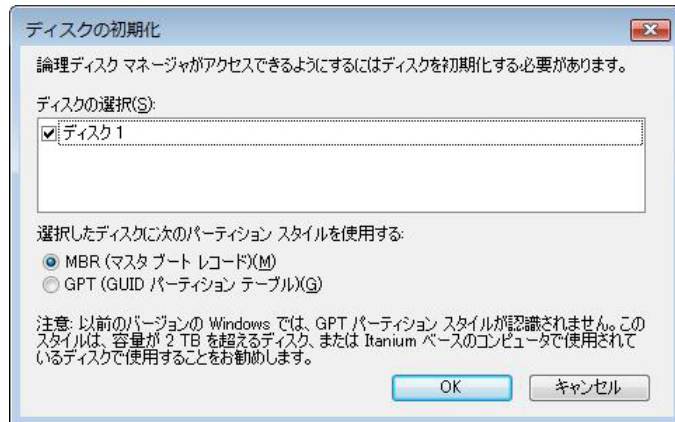
HDD領域の状態が表示されます。



<イメージ>

### 新しいHDDを増設した場合

「ディスクの初期化」画面が表示されます。[OK] をクリックして、ディスクの初期化を行ってください。



- 4 パーティションを作成したい「未割り当て」の領域を右クリックして、表示されたメニューから「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
- 5 「新しいシンプルボリュームウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 6 「ボリュームサイズの指定」と表示されたら、サイズを指定して、[次へ] をクリックします。
- 7 「ドライブ文字またはパスの割り当て」と表示されたら、ドライブ文字を選択して [次へ] をクリックします。
- 8 「パーティションのフォーマット」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 9 「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。

フォーマットが開始します。フォーマットが完了したら、HDD領域（パーティション）の作成は終了です。



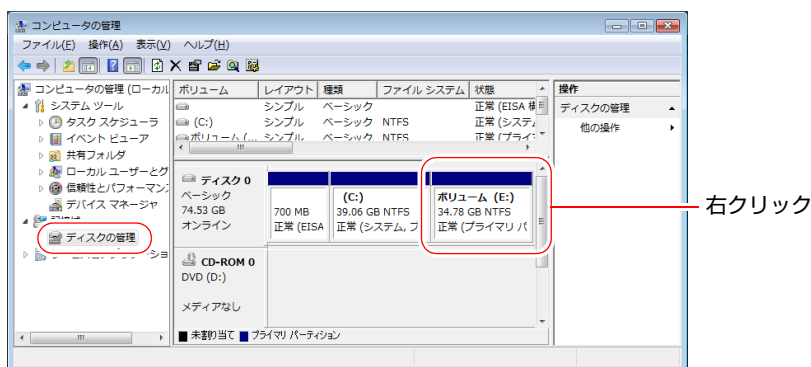
## ▶Cドライブ以外のドライブを削除する

Cドライブ以外のドライブ（Dドライブなど）のサイズを変更するには、変更するドライブを削除してから、作成しなおします。

ドライブを削除すると、ドライブ内のすべてのデータは削除されます。ドライブ内の重要なデータは、CドライブやCD-Rメディアなどにあらかじめバックアップを行ってください。


ドライブを削除する手順は、次のとおりです。

- 1 「スタート」－「コントロールパネル」－「システムとメンテナンス」－「管理ツール」－「コンピュータの管理」をダブルクリックします。
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。
- 3 「コンピュータの管理」画面が表示されたら、画面左の「ディスクの管理」をクリックします。  
HDD領域の状態が表示されます。



<イメージ>

- 4 削除したいドライブ（パーティション）の領域を右クリックして、表示されたメニューから「ボリュームの削除」をクリックします。
- 5 「・・・続行しますか？」と表示されたら [はい] をクリックします。  
パーティションを削除すると、「未割り当て」になります。「未割り当て」をパーティションとして使用したい場合は、パーティションの作成を行います。

 p.231 「HDD領域（パーティション）の作成手順」

# リチウム電池の交換

「BIOS Setupユーティリティ」で設定した情報は、メインボード上のリチウム電池により保持されます。

本機で使用するリチウム電池は、次のとおりです。

- CR2032（または同等品）

リチウム電池は消耗品です。コンピュータの使用状況により異なりますが、寿命は約3年です。

リチウム電池の残量が少なくなると、情報を保持できなくなり、「BIOS Setupユーティリティ」で設定した値が、何もしないのに変わってしまいます。このような場合は、リチウム電池を交換してください。



- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- 電源プラグをコンセントに差したままで作業をしないでください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。



- 内蔵リチウム電池の交換は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。作業は電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で作業をしないでください。落ちたり倒れたりして、けがをする危険があります。


## 交換手順

リチウム電池を交換する手順は、次のとおりです。交換作業は、本機を横置きにして行います。

- 1** 本機の電源を切り、本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。

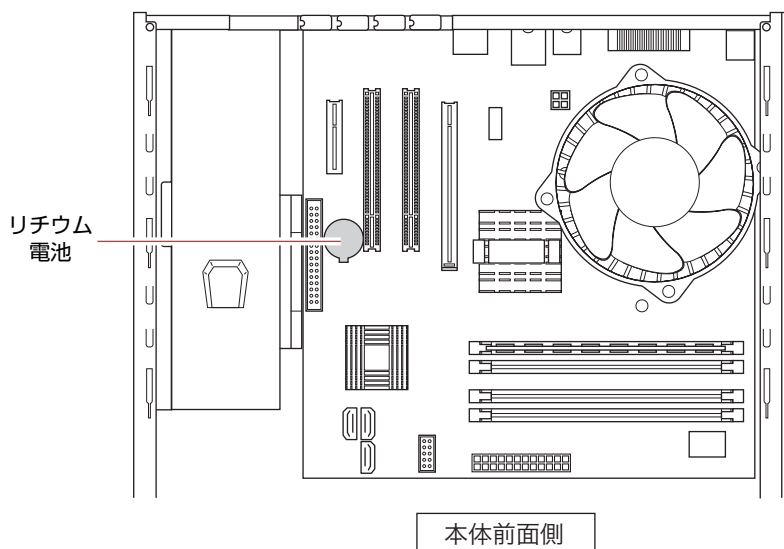
作業直前までコンピュータが動作していた場合は、内部が冷えるまで10分以上放置します。

- 2** 本体カバー、リンクバーを取り外します。


 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」

### 3 リチウム電池の位置を確認します。

リチウム電池は、メインボード上の次の位置にあります。



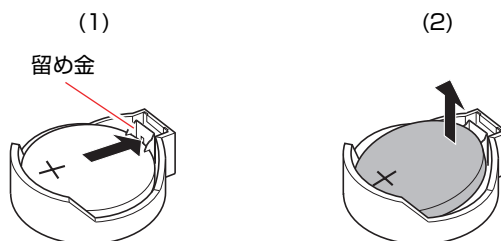
### 4 必要に応じて、作業の妨げになる拡張ボードを取り外します。

 p.136 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

### 5 リチウム電池を取り外します。

(1) 電池ホルダの留め金を押します。

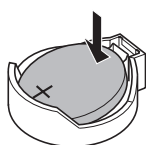
(2) リチウム電池が浮き上がったら、電池を抜きます。




### 6 新しいリチウム電池を取り付けます。




刻印面 (+ 側) が表側にくるようにして、新しいリチウム電池を取り付けます。

電池ホルダの留め金で固定されるとき、「カチッ」と音が鳴ります。



### 7 手順4で拡張ボードを取り外した場合は、もとどおりに取り付けます。

 p.136 「拡張ボードの取り付け・取り外し」

- 8** リンクバー、本体カバーを取り付けます。
- 9** コンピュータを使用できるように、本機のケーブル類をもとどおりに接続します。
- 10** 本機の電源を入れます。
- 11** 「EPSON」と表示後、黒い画面に「CMOS checksum error - Defaults loaded」と表示されたら、**Delete** を押して、「BIOS Setupユーティリティ」を実行します。  
 p.153 「起動方法」
- 12** 「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」を実行します。  
 p.157 「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」
- 13** 日付、時刻やそのほか変更する必要がある項目の再設定を行います。
- 14** **Esc** を押し、「Exit」メニュー画面－「Exit & Save Changes」で「Ok」を選択し、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。  
 p.161 「終了方法」

# CMOS RAMの初期化

CMOS RAMには、「BIOS Setupユーティリティ」で設定した各種情報などが保存されています。通常は、CMOS RAMを初期化する必要はありません。しかし「BIOS Setupユーティリティ」で設定したパスワードを忘れていたり、BIOSの設定を誤ったりして、本機が起動しなくなった場合には、CMOS RAMを初期化することで動作が可能になります。





- 作業するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火傷の原因となります。
- マニュアルで指示されている以外の分解や改造はしないでください。けがや、感電・火災の原因となります。
- 小さなお子様の手の届く場所で、内蔵リチウム電池の着脱、保管をしないでください。飲み込むと化学物質による被害の原因となります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。



- CMOS RAMの初期化は、本機の内部が高温になっている際には行わないでください。火傷の危険があります。本機の電源を切って10分以上待ち、内部が十分冷めてから作業を行ってください。
- 不安定な場所（ぐらついた机の上や傾いた所など）で作業をしないでください。落ちたり倒れたりして、けがをする危険があります。




- CMOS RAMを初期化すると、現在のBIOSの設定情報は初期値に戻ります。CMOS RAMを初期化する前に、BIOSの設定値を記録しておくことをおすすめします。  
 p.170 「BIOSの設定値」
- BIOSで管理者パスワードを設定し、HDDのアクセスを制限していた場合、CMOS RAMの初期化を行っても、HDDへのアクセス制限を解除することはできません。HDDへのアクセス制限を設定したHDDは、管理者パスワードを忘れると使用できなくなります。  
 p.158 「Passwordの設定」 - 「アクセス制限の設定」 - 「HDDへのアクセス制限」

CMOS RAMの初期化の手順は、次のとおりです。作業は、本機を横置きに行います。

- 1** 本機の電源を切り、本機に接続されているケーブル類（電源コードなど）をすべて外します。

作業直前までコンピュータが動作していた場合は、内部が冷えるまで10分以上放置します。

- 2** 本体カバー、リンクバーを取り外します。

 p.124 「本体カバーとリンクバーの取り外し・取り付け」

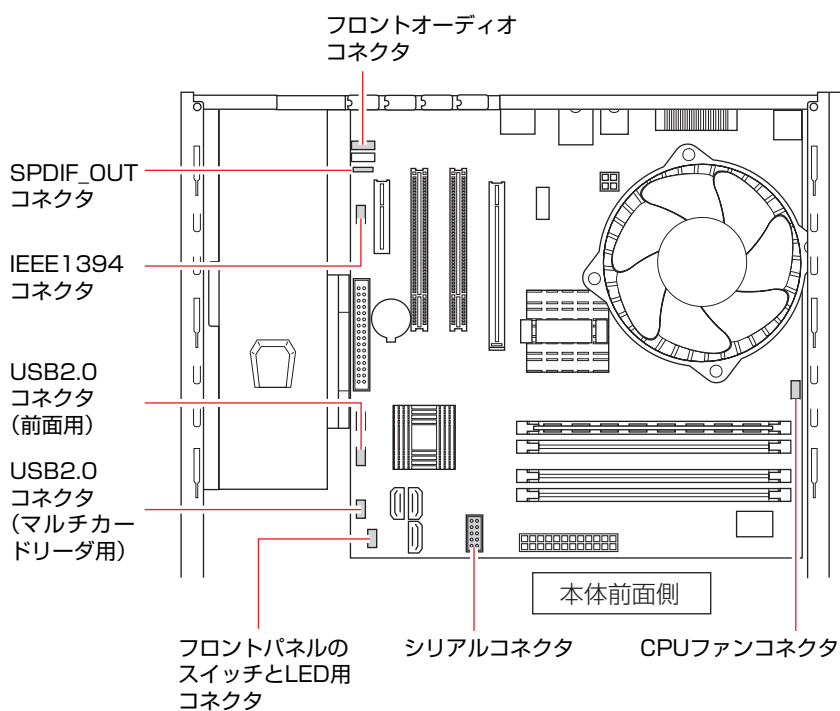
- 3** 必要に応じて、拡張の妨げになる拡張ボードを取り外します。  
 p.136 「拡張ボードの取り付け・取り外し」
- 4** リチウム電池を取り外します。  
 p.234 「リチウム電池の交換」手順5
- 5** 約1分間放置します。
- 6** リチウム電池を取り付けます。  
 p.234 「リチウム電池の交換」手順6
- 7** 手順3で拡張ボードを取り外した場合は、もとどおりに取り付けます。  
 p.136 「拡張ボードの取り付け・取り外し」
- 8** リンクバー、本体カバーを取り付けます。
- 9** コンピュータを使用できるように、取り外したケーブル類をもとどおりに接続します。
- 10** コンピュータの電源を入れます。
- 11** 「EPSON」と表示後、「CMOS checksum error - Defaults loaded」と表示されたら、**Delete** を押して、「BIOS Setupユーティリティ」を実行します。  
 p.153 「起動方法」
- 12** 「Exit」メニュー画面－「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」を実行します。  
 p.157 「Load Setup Defaults（初期値に戻す）」
- 13** 日付、時刻やそのほか変更の必要のある項目の再設定を行います。
- 14** **Esc** を押し、「Exit」メニュー画面－「Exit & Save Changes」で「Ok」を選択し、「BIOS Setupユーティリティ」を終了します。  
 p.161 「終了方法」

# コンピュータ内部のケーブル接続

本機の内部には何本かのケーブルがあり、メインボードなどと接続されています。通常はこれらのケーブルを外したり接続したりする必要はありません。誤ってこれらのケーブルを外してしまった場合には、次の図を参照して、正しく接続してください。



各種ケーブルは、本書で指示されている以外の配線をしないでください。配線を誤ると、ケーブルが焼損する場合があります。



# コンピュータを廃棄するときは

本機を廃棄するときは『サポート・サービスのご案内』（別冊）の「コンピュータの廃棄・譲渡について」をご覧ください。

## ▶HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前にHDDのデータを消去してください。

ドライバCDに収録されている「システム診断ツール」では、HDD内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、HDDのデータはもとには戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。



データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。HDDのデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

### 消去されるデータ

<2台のHDDを接続している場合>







S-ATAコネクタ1に接続されているHDDのデータのみが消去されます。2台目のHDDのデータを消去したいときは、HDDをS-ATAコネクタ1に接続してからデータの消去を行ってください。

<RAID機能を使用している場合>







RAIDを構成しているすべてのHDDのデータが消去されます。

### データの消去

HDD内のデータを消去する手順は、次のとおりです。

- 1** ドライバCDを光ディスクドライブにセットします。  
「自動再生」画面が表示された場合は、 をクリックして画面を閉じてください。
- 2** [スタート] - [▶] - [再起動] をクリックして、本機を再起動します。  
Windowsが起動できないときは、 +  +  を押して、コンピュータを再起動します。
- 3** 黒い画面の中央に「EPSON」と表示され、消えた後、「Kernel Loading・・・ Press any key to run PC TEST.」と表示されたら、どれかキーを押します。  
システム診断ツールが起動し、自動的に診断が開始します。
- 4**  +  を押して診断を中止した後、どれかキーを押します。



- 5** 選択項目画面が表示されたら、で「HD Erase」を選択してを押します。
- 6** 選択項目画面が表示されたら、で「Full Erase」を選択してを押します。
- 7** 選択項目画面が表示されたら、「No Verify」を選択してを押します。  
「!!WARNING!!」画面が表示されます。  
消去が開始されると、途中で止めることはできません。消去を中止する場合は、を押すと、「システム診断ツール」画面に戻ります。
- 8** キーボードで「Yes」と入力します。  
消去が始まります。  
消去には、しばらく時間がかかります。かかる時間はHDDの容量によって異なります（40GBのHDDの場合で約30分）。
- 9** 「Erase of HD0 :Passed Press any key to continue.」と表示されたら、リカバリツールCDを光ディスクドライブから取り出して、コンピュータの電源を切ります。  
これでデータの消去は完了です。

# 機能仕様一覧

CPU	プロセッサ	インテルCore 2 Duoプロセッサ、インテルPentium Dual Coreプロセッサ、インテルPentium Dプロセッサ、インテルPentium4プロセッサ、インテルCeleronプロセッサまたはインテルCeleron Dプロセッサ（購入時の選択による）
	ソケット	LGA775Socket
チップセット		インテルG965 Express+ICH8R
BIOS		AMI BIOS
セキュリティチップ (TPM)	対応規格	TPM 1.2
	コントローラ	Infineon SLB9635TT
メインメモリ		PC2-5300 (DDR2-667 SDRAM) を使用して最大3GBまで搭載可能
ビデオコントローラ/メモリ		Intel Graphics Media Accelerator X3000 / 8MB (最小)
サウンドコントローラ		チップセット内蔵 (インテル ハイ・デフィニション・オーディオ) リアルテック7.1chオーディオCODEC
記憶装置	HDD	1台内蔵 (S-ATA II 対応)
	光ディスクドライブ	1台内蔵 (種類は購入時の選択による)
	マルチカードリーダー	1台内蔵 (メモリースティック、スマートメディア、コンパクトフラッシュ、SDメモ리카ード、マルチメディアカード対応)
インタフェース	USB	6 : USB2.0 (前面側×2、背面側×4)
	LAN	1 : RJ-45 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T対応 自動認識
	サウンド	前面側 : ヘッドフォン出力コネクタ×1、マイク入力コネクタ×1 背面側 : フロントスピーカ/ライン出力コネクタ×1、センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ×1、リアスピーカ出力コネクタ×1、サイドスピーカ出力コネクタ×1、ライン入力コネクタ×1、マイク入力コネクタ×1
	ディスプレイ	1 : アナログRGB ミニD-SUB 15ピン
	IEEE1394	2 : 前面側4ピン、背面側6ピン
	キーボード	1 : IBM PS/2互換 ミニDIN 6ピン
	マウス	1 : IBM PS/2互換 ミニDIN 6ピン
	パラレル	1 : セントロニクス社準拠 D-SUB 25ピン マルチモード双方向 ECC/EPPサポート
	ドライブベイ	5.25型ドライブベイ 1 : 光ディスクドライブ1台を装着済み HDDベイ 2 : S-ATA HDD1台を装着済み
外部拡張スロット	PCI Express x16	1 : ボード長170mm×ボード幅69mmまで装着可能
	PCI Express x4	1 : ボード長170mm×ボード幅69mmまで装着可能
	PCI	2 : ボード長170mm×ボード幅64mmまで装着可能
キーボード		日本語対応106PS/2コンパクトキーボード (種類は購入時の選択による)
マウス		ホイール付USBオプティカルマウス (種類は購入時の選択による)
カレンダー時計		内蔵 (リチウム電池によりバックアップ)
電源容量		275W
入力電圧		AC100V±10% 50/60 Hz
温湿度条件		温度 : 10~35℃ 湿度 : 20~80% (ただし、結露しないこと)
外形寸法 (縦置き時)		本体 : 約98 (幅) ×401 (奥行) ×357 (高さ) mm (突起部、縦置きスタンド除く)
質量		本体 : 約8.6kg (本体のみ)
消費電力		393W (最大) / 5.0W (スリープ状態) / 4.0W (電源OFF時)

# 索引

## 数字

106PS/2コンパクトキーボード .....	58
キーボードユーティリティ .....	24
5.25型ドライブベイ .....	122
7.1ch .....	96

## A

Administrator .....	42
Adobe Reader .....	24
インストール .....	183
Advancedメニュー画面 .....	164

## B

BIOS .....	151
BIOS Setupユーティリティ .....	153
起動 .....	153
設定項目 .....	162
設定値 .....	170
BIOSアクセス制限 .....	
Passwordの設定 .....	158
Bootメニュー画面 .....	168

## C

Caps Lock .....	60
CDメディア .....	
書き込み .....	82
読み込み・再生 .....	80
CMOS RAMの初期化 .....	237
COAラベル .....	21
Compact Flash .....	85
CPU .....	22
Cドライブ .....	66
分割・変更する .....	227
Cドライブ以外のドライブ .....	
削除する .....	233
作成・変更する .....	230

## D

DDR2-533 SDRAM .....	128
DVD VIDEO再生ソフト .....	81
DVDメディア .....	
書き込み .....	82
読み込み・再生 .....	81

## E

Exit & Discard Changes .....	161
Exit & Save Changes .....	161
Exitメニュー画面 .....	170

## F

FD(フロッピーディスク) .....	
製品保護上の注意 .....	8

## G

gooスティック .....	24
----------------	----

## H

HDD設定変更サービス .....	66
HDDのデータ消去 .....	240
HDD領域 .....	66
分割・変更・作成 .....	226
HDD(ハードディスクドライブ) .....	65
購入時の状態 .....	66
データの消去 .....	240
取り付け・取り外し .....	146
取り付け・取り外し後の作業 .....	150
不具合 .....	203
ベイ .....	122
Hyper Threading Technology .....	119

## I

IDEケーブル .....	140
IDEコネクタ .....	139

- IEEE1394コネクタ ..... 26, 28, 119
- InCD ..... 84
- Informationキー ..... 61
- Intel Matrix Storage Manager ..... 23
- J**
- Java2 Runtime Environment ..... 24
- JWord Plugin ..... 24, 105  
     インストール ..... 185
- L**
- LANケーブル ..... 37, 99  
     接続 ..... 37
- LANコネクタ ..... 28, 37
- Low Profile ..... 135
- M**
- Mainメニュー画面 ..... 162
- Memory Stick ..... 86
- MS-IME ..... 59
- Multi Media Card ..... 87
- N**
- Nero 7 Essentials ..... 24  
     インストール ..... 184  
     使い方 ..... 83
- Next Trackキー ..... 61
- Norton Internet Security 90日版 ..... 23  
     インストール ..... 184
- Num Lock ..... 60
- O**
- OS ..... 15
- P**
- Passwordの設定 ..... 158, 169
- PCI Express ..... 122, 135
- PCお役立ち情報 ..... 48
- Play/Pauseキー ..... 61
- Powerメニュー画面 ..... 166
- Powerキー ..... 61
- Previous Trackキー ..... 61
- PS/2ポートアダプタ ..... 36
- R**
- RAID ..... 68
- S**
- S-ATA HDD ..... 65, 141
- S-ATA ケーブル ..... 141
- S-ATA コネクタ ..... 139
- S-ATA (Serial ATA) ..... 65
- Scroll Lock ..... 60
- SD Memory Card ..... 86
- SDカードスロット ..... 26, 88
- SDメモリーカード ..... 86
- Sleepキー ..... 53, 61, 117
- Smart Media ..... 85
- Stopキー ..... 61
- T**
- TPM(セキュリティ機能) ..... 225
- U**
- U1キー ..... 61
- U2キー ..... 61
- U3キー ..... 61
- USB ..... 91
- USB2.0コネクタ ..... 26, 27
- USB機器 ..... 91  
     接続と取り外し ..... 91  
     使う ..... 91

**V**

VGAケーブル	33
VGAコネクタ	27, 33
Volume Downキー	61
Volume Upキー	61

**W**

Wakeup On LAN	100
Windows	
インストール	178, 179
セットアップ	40
Windows Media Player	98
Windows RE	216
Windows Update	106
Windows Vista	23
インストール	178, 179
強制終了	56
セットアップ	42
Windows VistaリカバリDVD	23, 176
登録されているソフトウェア	23
Windows回復環境	216
Windowsキー	62
WinDVD	24, 81
インストール	184
WinDVD CD-ROM	24, 176

**あ**

アース線	38
アース端子	38
アイコン	16
アドミニストレーター	42
アプリケーションキー	62
アプリケーションの強制終了	56

**い**

インストール	
Adobe Reader	183
JWord Plugin	185
Nero 7 Essentials	184
Windows	178, 179
WinDVD	184
セキュリティソフトウェア	184
セキュリティチップユーティリティ	186, 225
不具合	198
本体ドライバ	182
インターネット	101
接続	101
注意	103
インテル 965G Expressチップセット用ドライバ	23
インフォメーションメニュー	23, 47

**お**

オーディオ機器の接続	96
お手入れ	222
お問い合わせ情報シール	21
オペレーティングシステム	15
音量の調節	98

**か**

解像度の変更	94
外部オーディオ機器	96
書き込み	
光ディスクメディア	82
拡張スロット	28, 122, 135
拡張ボード	
増設に関する不具合	212
取り付け・取り外し	136
取り付け・取り外し後の作業	138
各部の名称と働き	25
カスタマイズ	18

かな入力 .....	59	交換後の作業	
管理者 .....	42, 51, 177	光ディスクドライブ .....	145
<b>き</b>		コピーコントロールCD .....	77
キーボード .....	58	困ったときに .....	188, 189
接続 .....	35	コンパクトフラッシュ .....	85
不具合 .....	200	コンパクトフラッシュスロット .....	26, 88
キーボードコネクタ .....	27	コンピュータウイルス .....	103
キーボードユーティリティ .....	24	コンピュータ内部のコネクタ .....	239
アイコン .....	61	CPUファンコネクタ .....	239
キーロック表示ランプ .....	58	IEEE1394 コネクタ (前面) .....	239
起動順位の変更 .....	168	USB2.0 コネクタ (マルチカードリーダー) .....	239
機能キー .....	58	USB2.0 コネクタ (前面用) .....	239
機能仕様一覧 .....	242	シリアルコネクタ .....	239
強制終了 .....	56	フロント オーディオ コネクタ .....	239
Windows .....	56	コンピュータの廃棄 .....	240
アプリケーション .....	56	コンピュータ本体	
記録メディア .....	8	不具合 .....	193
<b>く</b>		コンピュータを購入時の状態にする .....	179
クリック .....	40, 63	コンピュータ名 .....	42
<b>け</b>		<b>さ</b>	
警告メッセージ .....	219	再インストール .....	174
ケーブル		必要なメディア .....	176
IDE .....	140	再起動 .....	55
S-ATA .....	141	再生	
周辺機器用電源 .....	140	CDメディア .....	80
ケーブル接続		DVDメディア .....	81
コンピュータ内部 .....	239	音声 .....	98
<b>こ</b>		サイドスピーカ出力コネクタ .....	27, 97
交換		サウンド機能 .....	96
光ディスクドライブ .....	142	サウンドコネクタ .....	26, 27, 96, 97
リチウム電池 .....	234	サウンドドライバ .....	23
		サウンドレコーダー .....	98
		サポート情報検索 .....	49
		サポート・サービスのご案内 .....	21, 188

## し

システム診断ツール .....	24, 190, 192
HDDのデータ消去 .....	240
システム診断を実行する .....	192
データの消去 .....	240
システムの拡張 .....	121
システムの復元 .....	214
シャットダウン .....	54
ジャンプスイッチ .....	140, 143
周辺機器	
増設に関する不具合 .....	212
電源ケーブル .....	140
終了方法 .....	53
通常 .....	53
電源を切る(シャットダウン) .....	54
使用可能なメモ리카ード .....	85
消去禁止領域 .....	66, 216, 226
使用できるマイク .....	97
省電力機能 .....	50
不具合 .....	199
情報バー .....	105
使用・保管時の注意 .....	7
初期設定ツール .....	45
初期値に戻す .....	157

## す

数値キー .....	58
スクロール .....	63
スタートボタン .....	16
スタートメニュー .....	16
スピーカ .....	96
接続 .....	34
不具合 .....	213
スピードステップ機能 .....	120
スマートメディア .....	85
スマートメディアスロット .....	26, 88

スリープ状態 .....	53, 114, 117
スロットカバー .....	137

## せ

制御キー .....	58
製品保護上の注意 .....	7
セーフモード .....	94, 214
セキュリティ機能 .....	225
セキュリティソフトウェア	
インストール .....	184
セキュリティ対策 .....	49
セキュリティチップユーティリティ .....	23
インストール .....	186, 225
設定 .....	179
セキュリティチップ(TPM) .....	225
不具合 .....	213
セキュリティロックスロット .....	28, 120
接続と取り外し	
USB機器 .....	91
設定値をもとに戻すには .....	157
セットアップ	
Windows .....	40
Windows Vista .....	42
セットアップ終了後の作業 .....	45
セットと取り出し	
メモ리카ード .....	88
センタースピーカ/サブウーファ出力コネクタ .....	27, 97
前面 .....	25

## そ

増設	
HDD .....	146
拡張ボード .....	136
メモリ .....	128
増設・交換後の作業	
メモリ .....	134

ソフトウェア .....	23
不具合 .....	208

## た

タスクバー .....	16
縦置きスタンド .....	30
縦置きにする場合 .....	30
タブ .....	16
ダブルクリック .....	63

## ち

チップセット .....	23
直接入力モード .....	59

## つ

通知領域 .....	16
通風孔 .....	28

## て

ディスクの管理 .....	186
ディスプレイ .....	94
接続 .....	33
設定 .....	95
不具合 .....	201
データ実行防止機能 .....	209
データの暗号化 .....	225
デスクトップ .....	16
電源コードの接続 .....	38
電源コネクタ .....	28
電源スイッチ .....	25
電源の入れ方 .....	41
電源プラン .....	112
電源ランプ .....	25
電源を切る .....	54
強制的 .....	56
電池ホルダ .....	235

添付されているソフトウェア .....	23
---------------------	----

## と

ドライバ .....	
インテル 965G Expressチップセット用 .....	23
サウンド .....	23
ドライバCD .....	23, 176
登録されているソフトウェア .....	23
ドライブベイ .....	122
ドライブ名 .....	177
ドラッグアンドドロップ .....	63
とらぶる解決ナビ .....	188
トラブルが解決しなかったら .....	49
トラブルが発生したら .....	188
取り付け・取り外し .....	
HDD .....	146
拡張ボード .....	136
本体カバー・リンクバー .....	124
メモリ .....	129
取り付け・取り外し後の作業 .....	
HDD .....	150
拡張ボード .....	138
「取り外し」アイコン .....	91
に .....	
日本語入力システム .....	59
日本語入力モード .....	59
入力キー .....	58
ね .....	
ネットワーク .....	99
接続 .....	37
不具合 .....	208
は .....	
パーティション .....	231



- ハードディスクドライブ(HDD) ..... 65
- 廃棄(コンピュータ) ..... 240
- ハイパー・スレディング機能 ..... 119
- 背面 ..... 27
- パスワード ..... 42, 158  
     設定 ..... 169
- バックアップ ..... 65, 179, 223
- パラレルコネクタ ..... 27, 119
- ハングアップ ..... 56
- ひ**
- 光ディスクドライブ ..... 25  
     交換 ..... 142  
     使う ..... 77  
     不具合 ..... 205
- 光ディスクドライブイジェクトボタン ..... 25
- 光ディスクメディア  
     書き込み ..... 82  
     製品保護上の注意 ..... 8
- ビデオドライバ ..... 23
- ビデオボード ..... 33, 138
- ビデオメモリ ..... 134
- 表示機能 ..... 93
- 表示色の変更 ..... 94
- 表示装置 ..... 95
- 標準ユーザー ..... 51
- ふ**
- ファイアウォール ..... 109
- フィッシング詐欺検出機能 ..... 111
- フォルダメニュー ..... 50
- 不具合  
     HDD ..... 203  
     インストール時 ..... 198  
     拡張ボード、周辺機器の増設 ..... 212  
     キーボード ..... 200
- 起動できない ..... 214
- コンピュータ本体 ..... 193
- 省電力機能 ..... 199
- スピーカ(サウンド) ..... 213
- セキュリティチップ(TPM) ..... 213
- ソフトウェア ..... 208
- ディスプレイ ..... 201
- ネットワーク ..... 208
- 光ディスクドライブ ..... 205
- マウス ..... 201
- マルチカードリーダー ..... 212
- メモリ ..... 211
- 復元ポイントを手動で作成する ..... 49, 215
- フロントスピーカ/ライン出力コネクタ ..... 27, 97
- フロントドア ..... 25, 26
- フロントパネル ..... 130
- へ**
- ヘッドフォン出力コネクタ ..... 26, 96
- ほ**
- ボタン ..... 16
- ホットキー ..... 58, 61
- ボリューム ..... 98
- 本機の終了方法 ..... 53
- 本体カバーの取り外し・取り付け ..... 124
- 本体ドライバ  
     インストール ..... 182
- ま**
- マイク入力コネクタ ..... 26, 27, 96, 97
- マウス ..... 63  
     製品保護上の注意 ..... 9  
     接続 ..... 36  
     使い方 ..... 40  
     不具合 ..... 201

マウスコネクタ .....	27	<b>ゆ</b>	
マウスポインタ .....	40	ユーザーアカウント .....	51, 52
マニュアルダウンロード .....	224	ユーザーサポートページ .....	48
マニュアルびゅうわ .....	48	ユーザー名 .....	42
マルチカードリーダー .....	26, 85	<b>よ</b>	
アクセスランプ .....	26	横置きにする場合 .....	31
不具合 .....	212	読み込み・再生	
マルチメディアカード .....	87	CDメディア .....	80
<b>み</b>		DVDメディア .....	81
右クリック .....	63	<b>ら</b>	
<b>め</b>		ライセンス認証 .....	44
メインボード .....	139	ライティングソフト .....	82
メーカー情報 .....	177	ライン出力コネクタ .....	27, 97
メモリ		ライン入力コネクタ .....	27, 97
仕様 .....	128	<b>り</b>	
スロット .....	122	リアスピーカ出力コネクタ .....	27, 97
増設 .....	128	リカバリ .....	174
増設・交換後の作業 .....	134	リチウム電池の交換 .....	234
取り付け・取り外し .....	129	リフレッシュレートの設定 .....	95
不具合 .....	211	リムーバブルディスク .....	90
メモリースティック .....	86	リモートブート .....	100
メモリースティックスロット .....	26, 88	領域の作成 .....	186
メモリカード		リンクバー .....	124
セットと取り出し .....	88	<b>ろ</b>	
<b>も</b>		ローマ字入力 .....	59
文字キー .....	58	録音	
文字を入力するには .....	59	音声 .....	98

# Memo

## 使用限定について

本製品は、OA機器として使用されることを目的に開発・製造されたものです。

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全性維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮頂いた上で本製品をご使用ください。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命維持に関わる医療機器、24時間稼働システムなど極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途にはご使用にならないでください。

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品は日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売しております。したがって、本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないこともあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 瞬時電圧低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

## 有寿命部品について

当社のコンピュータには、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファンなど）が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日約8時間、1ヶ月で25日間のご使用で約5年です。

上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。

なお、長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保障期間内であっても、部品交換（有料）が必要となります。

## JIS C 61000-3-2適合品

本製品は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

## PCリサイクルマークについて



PCリサイクルマーク付きの当社製品は、当社が無償で回収、再資源化いたします。詳細は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.epson.jp/ecology/>

## 著作権保護法について

あなたがビデオなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

テレビ・ラジオ・インターネット放送や市販のCD・DVD・ビデオなどで取得できる映像や音声は、著作物として著作権法により保護されています。個人で楽しむ場合に限り、これらに含まれる映像や音声を録画または録音することができますが、他人の著作物を収録した複製物を譲渡したり、他人の著作物をインターネットのホームページなどに掲載（改編して掲載する場合も含む）するなど、私的範囲を越えて配布・配信する場合は、事前に著作権者（放送事業者や実演家などの隣接権者を含む）の許諾を得る必要があります。著作権者に無断でこれらの行為を行うと著作権法に違反します。

また、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、ActiveX、BitLocker、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、インテル、Intelロゴ、Pentium、Celeron、Intel Core、Core Inside、Intel SpeedStepは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

PS/2はInternational Business Machinesの登録商標です。

Symantec、Symantecロゴ、Norton Internet SecurityおよびLiveUpdateはSymantec Corporationの登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKのロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。

Memory Stick、マジックゲート、Memory Stickのロゴは、ソニー株式会社の商標です。

Multi Media Card(tm)は、ドイツInfineon Technologies AG社の商標です。

SDロゴは商標です。

SmartMedia™、及びそのロゴは、株式会社 東芝の商標です。

そのほかの社名、製品名は一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

 **epsondirect.jp**



大豆油インキを  
使用しています。



このユーザーズマニュアルは  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

